

# 北海道議会時報

令和 3 年第 1 回臨時会  
令和 3 年第 2 回定例会

北海道議会事務局

# もくじ

議長就任挨拶	1
副議長就任挨拶	2
議会日誌	3
令和3年度北海道補正予算の概要	4
<b>第1回臨時会</b>	
概要	6
本会議	7
提出案件	13
<b>第2回定例会</b>	
概要	14
本会議	16
提出案件	39
意見案	42
<b>委員会の動き</b>	
議会運営委員会	51
常任委員会	56
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	73
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	82
<b>資料</b>	
第2回定例会において議決を経た条例の公布調	105
北海道議会議席表	106
4月・5月・6月・7月の出来事	107

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産





議長 小畠 保則

## 就 任 挨 拶

ただいまの選挙によりまして、皆様の御推举により議長の要職に就くことになりました。

誠に身に余る光栄であり、この重責を痛感している次第であります。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、当面する道政上の諸課題に適切に対処いたしますとともに、議会の公正、円滑な運営に全力を挙げ、道民の期待と信頼に応えるべく、最善の努力をしてまいる決意であります。

就任に際し、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げ、御挨拶といたします。

(6月15日本会議場において)



副議長 市橋 修治

### 就 任 挨 捶

このたび副議長に御推挙いただきました市橋修治でございます。

大変光栄なことと感謝申し上げ、謹んでお受けいたしたい、  
このように思っているところであります。

今後は、小畠議長とともに、道政の進展、そしてまた、議会運営の円滑化に全力を挙げて取り組む決意でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、皆様には、引き続き特段の御支援と御協力を賜りますようお願ひ申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(6月15日本会議場において)

# 議会日誌

## ▶ 4月

- 6日(火) 議会運営委員会  
各常任委員会  
7日(水) 各特別委員会

**本会議** (一般質問〈4人〉)

- 22日(火) 議会運営委員会

**本会議** (一般質問〈6人〉)

- 23日(水) 議会運営委員会

**本会議** (一般質問〈7人〉、予算特別委員会設置)

予算特別委員会 (正・副委員長の互選、2分科会を設置)

予算特別委員会第1・第2分科会 (正・副委員長の互選)

- 25日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

- 28日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

- 29日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

- 30日(水) 予算特別委員会 (各分科委員長報告)  
議会運営委員会

## ▶ 5月

- 10日(月) 議会運営委員会  
11日(火) 各常任委員会  
12日(水) 各特別委員会

- 13日(木) 議会運営委員会

### [第1回臨時会開会]

**本会議** (会期決定〈1日間〉、提出議案説明、質疑〈5人〉、総務副委員長報告、議案可決)

総務委員会

### [第1回臨時会閉会]

## ▶ 6月

- 1日(火) 各常任委員会  
2日(水) 各特別委員会 (北方領土対策特別委員会を除く)  
8日(火) 議会運営委員会  
9日(水) 北海道地方路線問題調査特別委員会  
14日(月) 議会運営委員会  
各常任委員会  
各特別委員会

- 15日(火) 議会運営委員会

### [第2回定例会開会]

**本会議** (会期決定〈18日間〉、正・副議長の辞職許可及び選挙、提出議案説明、質疑〈5人〉、議案可決)

- 17日(木) 議会運営委員会

**本会議** (議席の一部変更、各常任委員の選任、議会運営委員の選任、各特別委員の選任)

各常任委員会

各特別委員会

- 18日(金) 議会運営委員会

**本会議** (一般質問〈3人〉)

- 21日(月) 議会運営委員会

## ▶ 7月

- 1日(木) 予算特別委員会 (総括質疑)

- 2日(金) 議会運営委員会

各常任委員会

各特別委員会 (北海道地方路線問題調査特別委員会を除く)

**本会議** (各委員長報告、議案等可決、追加提出議案説明・同意議決、苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙、意見案7件可決、関係委員会の閉会中請願継続審査及び事務継続調査の決定)

### [第2回定例会閉会]

## 令和3年度北海道補正予算の概要

第1回臨時会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

### ○令和3年度北海道一般会計補正予算（第1号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 18, 768, 576	保 健 福 祉 費 265, 913
繰 入 金 3, 172, 905	經 濟 費 21, 675, 568
計 21, 941, 481	計 21, 941, 481

令和3年第1回臨時会で可決した一般会計補正予算は、総額約219億4,100万円。

歳出予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、営業時間短縮などの要請を行うことに伴い、協力した飲食店や大規模施設等に対して協力支援金を支給することとして77億2,900万円、要請を受けた飲食店等に対して、実地の見回りを行うこととし、こうした協力支援金や実地の見回りについて、感染状況に応じた機動的な対応が行えるよう、必要な経費をあらかじめ確保することとして総額141億2,400万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金187億6,800万円、繰入金31億7,200万円。

第2回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

### ○令和3年度北海道一般会計補正予算（第2号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 67, 848, 293	総 務 費 3, 172, 905
繰 入 金 3, 282, 857	保 健 福 祉 費 2, 132, 634
諸 収 入 304, 434	經 濟 費 69, 790, 045
繰 越 金 3, 660, 000	
計 75, 095, 584	計 75, 095, 584

令和3年第2回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約750億9,500万円。

歳出予算の主なものは、感染症の拡大防止のため、休業や営業時間短縮などの要請を行うことに伴い、協力した飲食店や大規模施設等に対して協力支援金を支給することとして304億4,600万円、ワクチン接種を促進するため、道直営の会場を設置・運営するなど、集団接種の取組を進めることとして14億9,300万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金678億4,800万円、繰入金32億8,200万円、繰越金36億6,000万円。

## ○令和3年度北海道一般会計補正予算（第3号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 53, 129, 570	総 合 政 策 費 494, 275
繰 入 金 221, 000	環 境 生 活 費 42, 686
道 債 △ 72, 000	保 健 福 祉 費 26, 286, 789
繰 越 金 1, 340, 000	経 済 費 26, 599, 421
	農 政 費 1, 285, 976
	警 察 費 △ 1, 418
	教 育 費 △ 89, 159
計 54, 618, 570	計 54, 618, 570

## ○令和3年度北海道特別会計補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
電 気 事 業 会 計	120, 650
工 業 用 水 道 事 業 会 計	278, 140
計	398, 790

令和3年第2回定例会で追加提案され可決した一般会計補正予算は、総額約546億1,800万円。

歳出予算の主なものは、緊急事態措置等に伴う酒類提供停止の影響に鑑み、酒類販売事業者に対して特別支援金を支給することとし、所要の予算措置を講じるとともに、飲食事業者や宿泊事業者等が行う感染防止対策の取組を支援することとして総額80億6,200万円、自宅療養者に対する健康観察体制の強化や生活支援を行うため、自宅療養者等支援事業費26億8,100万円、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する特例貸付の原資を追加するため、生活福祉資金貸付事業費補助金148億8,000万円、国の新たな補助制度の創設に対応し、今後の感染状況等を十分に踏まえながら、道民を対象とした旅行商品の割引等を機動的に実施することができるよう、観光誘客促進道民割引事業費197億500万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金531億2,900万円、繰越金13億4,000万円。

# 第 1 回 臨 時 会

## ►総額219億4,100万円余の令和3年度補正予算を可決◀

### 概 要

① 令和3年度補正予算案等を審議する第1回臨時会は、5月13日に招集され、会議録署名議員の指定等を行い、会期を5月13日の1日間と決定。

次に、議案第1号「令和3年度北海道一般会計補正予算（第1号）」が上程され、知事から提案説明があり、質疑を行った後、報告第1号「専決処分報告につき承認を求める件」を総務委員会に付託することを決定。委員会による付託議案審査のため本会議を休憩。

再開後、総務副委員長から付託議案についての報告があり、討論、採決を行い、報告第1号は委員長報告のとおり承認議決、議案第1号は異議なく原案可決し、同日閉会。

② 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し認定議決	否 決	
知 事	3	1		1			1
議員・委員会							
計	3	1		1			1

## 本会議

○5月13日（木） 午前10時3分開会、村田憲俊議長、令和3年第1回臨時会の開会を宣し、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、4月30日付を持って東国幹議員から辞職したい旨の願い出があり、同日許可したことを報告。

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今臨時会の会期を5月13日の1日間と決定。

**日程第3 議案第1号及び報告第1号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。議事進行の都合により、午前10時8分休憩。午後2時14分再開。議案第1号に関する質疑に入り、



**清水 拓也議員（自民）**から、

- 1 感染予防対策の実効性の確保等について
  - ・まん延防止等重点措置の適用を受けることとなった今日の状況に対する認識

- ・連日のように感染者数が過去最多を記録し、感染の拡大に歯止めがかからない状況を踏まえた今後の対策
- ・札幌市への緊急事態措置適用の要請に対する受け止め及び今後の対応
- ・日常的な情報発信について、情報発信効果の把握や将来予想の提示などを含め、情報発信の在り方を総合的に見直す必要があるとの考え方に対する見解

- 2 感染予防対策に係る基準等について

- ・飲食店に対する営業時間の短縮要請など、様々な意見や要望が寄せられている市町村の声に応えるための対応
- ・まん延防止等重点措置の適用を国に求める基準などを早急に明確化し、透明性の高い感染防止対策を展開する必要があるとの考え方に対する見解
- ・感染状況を効果的に抑え込むために設定した警戒ステージや指標について、感染力が強いとされる変異株が急速に拡大する新たな状況に即したものとするための見直しに向けた対応

- 3 ワクチン接種について

- ・高齢者のワクチン接種に支障を与えないため

の、関係する医療従事者のワクチン接種に対する取組及び今後の見通し

・高齢者のワクチン接種について、7月末という目標期限内の接種完了に向けた市町村に対する支援及び特に厳しい状況に置かれている道央圏における取組

- 4 医療提供体制の確保について

- ・病床が逼迫している道央圏の病床確保に向けた取組

- 5 保健所の対応について

- ・道立保健所の現在の状況及び報告のあった感染者急増時の緊急的な患者対応方針で、今後感染拡大の局面に対応していくことが可能なのか否か

- 6 学校における感染予防対策について

- ・変異株への対応など、学校における感染予防対策の支援に係る所見

- 7 事業者支援について

- ・4月以降の営業自粛要請等の影響で売上げ減となったにも関わらず、支援を受けることができない事業者にも支援が及ぶよう早急に対応すべきとの考え方に対する見解

- 8 機動的対応について

- ・機動的対応分の予算額を積算した考え方及び予算額の十分な確保に係る所見

- 9 今後の財源確保について

- ・まん延防止等重点措置の制度設計を踏まえ、国に対策予算の重点的な配分を求めるなど、必要な財源の確保に全力を挙げる必要があるとの考え方に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時55分休憩。午後2時57分再開し、



**沖田 清志議員（民主）**から、

- 1 まん延防止等重点措置と緊急事態宣言について

- ・札幌市が3月27日に道基準の警戒ステージ4相当に入っている状況において、同日を起点にまん延防止等重点措置を要請しなかったことに対する見解

- ・札幌市だけを重点措置の適用対象として要請した理由

- ・既に札幌市を除く石狩管内の地域で感染が拡大している現状を踏まえ、札幌市周辺の自治体を対象としたまん延防止等重点措置の要請

を行う見込み及び要請を行う場合の判断基準に対する見解

- ・まん延防止等重点措置の要請に向けた、人流を抑え込む措置の検討に係る所見
- ・まん延防止等重点措置の適用について、緊急事態宣言と同等の措置を行うのであれば、明確に緊急事態宣言を発し、制限と支援を一体化させて、感染拡大防止に向けた道筋をつけるべきとの考え方に対する見解
- ・新型インフルエンザ等対策特別措置法第4章、新型インフルエンザ等緊急事態措置の区域指定に対する見解及び国が権限を持つ区域指定について、指定に向けた意見反映や要請を積極的に行うべきとの考え方に対する見解

## 2 まん延防止等重点措置に係る協力支援事業について

- ・札幌市内の全飲食店への営業時短要請の後、協力支援金の計算方法など、制度内容を後づけで発表したことに係る所見
- ・まん延防止等重点措置を要請する以前の強い措置について、措置を講じるに当たって基にした根拠や基準及び今後同様の措置を講じる際に丁寧な対応を実施するのか否かに対する見解
- ・飲食店の時短要請に対する協力支援金について、まん延防止等重点措置の適用により強い措置を課しているのにも関わらず、協力支援金を適用前と同額にした理由
- ・時短要請の解除後も、一定程度事業が成り立つよう、協力支援金を増額すべきとの考えに対する見解
- ・酒類の提供を行わないという措置により、影響を受けているにも関わらず支援を受けることができない酒屋などの関連業者に対して、早急に支援策を講じるべきとの考え方に対する見解
- ・新型コロナウイルス感染症関連の失業が全国的に増えている中、1人でも救済するために個人事業者への支援を措置すべきとの考え方に対する見解
- ・時短営業の影響による個人事業者への支援に対して果たす責任
- ・まん延防止等重点措置の適用による、措置区域内の飲食店等に対する実地調査の目的
- ・措置区域内の飲食店等に対する実地調査を行

う前に、感染拡大防止に係る関連設備への負担軽減措置を講じるべきとの考え方に対する見解及び今後の対応

- ・実地調査の実働体制について、140名、70班の体制で効果的な調査が実施できるのかということに係る所見
- ・実地調査の際に無用なあつれきが起こらないよう、対応に慣れた人材を確保するための業者選定の考え方及び委託先職員の身分の取扱いに係る所見
- ・重点対策期間前に感染拡大の抑え込みに成功したとしても、対策期間満了の5月31日まで継続するのか、解除するのかに係る所見及び解除する際の判断基準

## 3 市町村との連携について

- ・4月19日時点でもん延防止等重点措置要請の目安を超えた札幌市について、5月5日の申請に至るまでに同市と協議した内容
- ・新型コロナウイルスの難局を乗り切るため、地域の声を酌み取って感染拡大防止に向けた対策を行うことに対する見解

## 4 道民向けの情報発信について

- ・まん延防止等重点措置の発出により、道民に多大な苦難を強いるのであれば、誰もが分かりやすく共感できるよう、道民に訴えかけるべきとの考え方に対する見解

## 5 新型コロナワクチンについて

- ・各自治体等に対するワクチン接種の推進に係る所見
- ・ワクチン接種を希望している道民が安心して円滑に接種できる体制を構築していくための各自治体に対する支援
- ・高齢者のワクチン接種について、道内の自治体の4割が、7月末終了には間に合わないという調査結果を踏まえた、今後の適切かつ円滑なワクチン接種の促進に向けた取組

## 6 検証の追加について

- ・今まで行ってきた新型コロナウイルス感染症への対策、対応の追加検証を早急に行い、次の対策につなげるべきとの考え方に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があって知事から答弁。議事進行の都合により午後3時58分休憩。

午後4時23分再開し、



## 赤根 広介議員（結志）から、

### 1 「北海道モデル」について

- ・緊急事態宣言とも言える極めて強い措置を講じざるを得ない現下の厳しい状況が、提唱した北海道モデルの成果と考

えているのか否かに係る所見

### 2 「まん延防止等重点措置」等の要請判断のタイミングについて

- ・ゴールデンウイーク中であっても、まん延防止等重点措置の対応に伴う必要な対策は、国に要請する前に議会で審議すべきであり、要請判断のタイミングも遅過ぎるとの考えに係る所見

### 3 「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」について

- ・極めて厳しい新型コロナウイルスの感染状況や逼迫する医療提供体制の現状に対する責任及び今道民に訴えること
- ・東京オリンピックのマラソンテスト大会を中心しなかった理由に対する合理的な根拠及び道民や事業者に自粛等を要請し、負担を強いているコロナ対策との整合性に係る所見
- ・札幌市民に外出自粛や道民に札幌市との往来自粛を求めながら、東京オリンピックのマラソンテスト大会を実施したことは、外出の自粛要請をはじめ、感染防止対策に対する道民の理解と協力が今後得難くなるとの考えに対する見解
- ・今回の補正予算で講じる措置により、全道への感染拡大を防止することができると考えているのか否かに係る所見
- ・札幌市近隣都市の飲食店への感染リスク拡散を防止するため、札幌市内の飲食店における酒類提供の停止措置を中止するか、全道域で停止するべきとの考えに対する見解
- ・新規感染者数など七つの指標の多くが、ステージ4 やステージ5に変更になっているにもかかわらず、道の警戒ステージの変更を行わない理由

### 4 「札幌市医療非常事態宣言」を踏まえた重点措置について

- ・札幌市医療非常事態宣言について、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置との副題はついているものの、

札幌市以外の道民に危機感は伝わらないとの考え方に対する見解

### 5 まん延防止等重点措置対応予算について

- ・飲食店等に対する時短要請等に備え、いわゆる腰だめとして計上された当初予算の執行状況

・飲食店等の想定店舗数について、4月27日時点と5月6日時点で想定店舗数が増加した要因

・飲食店における感染防止対策を徹底するための第三者認証制度、いわゆる山梨モデルの導入を図るべきとの考えに対する見解

・時短要請区域を拡大するための基準及び追加措置に伴い、議論の前提自体が変わることに対する認識

・機動的対応分の予算積み上げの考え方及び今後必要に応じて機動的に対策を講じるために必要な予算が確保されているのか否かに係る所見

・時短要請などの支援の対象外である、酒屋や農水産物などの食料品、生花店などの多くの事業者や生産者を支援するために早急な対応が必要との考えに係る所見

・「新しい旅のスタイル」事業を5月も継続する決定自体が、変異株による感染拡大のリスクに対する認識の甘さであるとの指摘に係る所見

・今後の「新しい旅のスタイル」事業の在り方について早急に判断し、事業者と道民に告知するとともに、キャンセルで生じる損失に対して補償も必要との考えに対する見解

### 6 有識者・専門家等の意見について

・まん延防止等重点措置適用の国への要請を決めるに当たり、有識者、専門家に求めた意見及び緊急事態宣言を検討すべきとの意見は出なかつたのか否かに係る所見

### 7 人流抑制について

・人流抑制のためのテレワークや時差出勤などについて、出勤者の削減目標が数日間で変わることは、事業者の混乱を招き、対策の連続性も失われるとの考えに対する見解

・テレワークや時差出勤などによる出勤者の7割削減の実現に向けた実効性の確保に係る所

## 見

### 8 入院医療体制について

- ・最高レベルであるフェーズ3の確保病床について、変異株の拡大により感染者増が危惧される中で減らした理由
- ・札幌市内の確保病床について、480床全てが使用されていない理由及び現実的に480床全て使用することは可能なのか否かに係る所見
- ・全道における1,809床の病床確保の期限及び実際に使用できる病床数
- ・医療提供体制の強化について、さらなる病床拡充の必要性及び限られた医療資源の効率的な運用などに係る所見
- ・新規感染者がほとんど市内で入院できない札幌市の状況について、全道域への感染拡大を防ぐため、近郊都市への広域搬送の停止を検討していることに対する事実及び事実だとした場合、札幌市の入院を必要とする感染者の扱いに係る所見
- ・救急搬送困難事案について、深刻なケースなど、札幌市を含めた道内の救急搬送の実態及びその改善に向けた取組
- ・4月26日の新型コロナウイルス感染症対策専門会議の開催状況をホームページに登載していない理由及び検討資料の内容と委員から出された意見

### 9 ワクチン接種について

- ・7月末までに完了させると表明している65歳以上の高齢者に対するワクチン接種について、全国で1日に100万回の接種を可能とするための道内での接種回数及び実現の可能性に係る所見
- ・市町村が主体のワクチン接種事務における、ワクチン接種予約の改善に係る所見
- ・ワクチン接種予約の改善などの課題を克服すれば、道内全市町村の65歳以上の高齢者に対するワクチン接種が7月末までに完了できるという認識に係る所見

### 10 医療従事者等への定期検査について

- ・全ての医療・介護従事者のPCR検査等の定期的な検査について、実現されない理由及び必要性に係る所見

### 11 今後の対応について

- ・PCR検査等の拡大やワクチン接種の加速化に向けた取組及び今後の緊急事態宣言の適用

## に係る所見

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があって知事から答弁。議事進行の都合により午後5時31分休憩。午後5時33分再開し、



**荒當 聖吾議員（公明）**から、

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・感染拡大が深刻化する事態に対する受け止め及び今後の取組

- ・本道における今後の感染拡大の見通しに係る所見
- ・まん延防止等重点措置の適用について、札幌市とその周辺自治体も含め、感染拡大防止に向けて思い切った取組を展開すべきとの考えに係る所見
- ・札幌市を中心とした医療の逼迫の実態に対する認識及び札幌市と連携した今後の取組に係る所見
- ・必要な病床数の確保や宿泊療養等の医療提供体制について、全道七つの第3次医療圏などで目標値を示すなど、十分な医療提供体制づくりに取り組むべきとの考えに係る所見
- ・一日も早くワクチンの接種を希望する道民が、安心かつ円滑に接種を可能とするための対応
- ・飲食店のみならず、取引等のある関連事業者に対して支援を拡大すべきとの考えに係る所見
- ・昨年11月から今年3月までのいづれかの月で、営業時間の短縮等の影響により売上が減少した事業者に対する特別支援金制度について、4月以降においても引き続き支援が必要との考えに係る所見
- ・交通事業者等の支援について、売上げもなく事業を縮小せざるを得ない事業者などに対し、融資以外の具体的な支援策を検討すべきとの考えに係る所見
- ・国の制度を踏まえ、今後の対策に必要な財源の確保に向けて全力で取り組む必要があるとの考えに係る所見

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後5時52分休憩。午後5時54分再開し、



### 真下 紀子議員（共産）から、

#### 1 感染状況と対策の評価と対応等について

- ・ゴールデンウィーク前に北海道は緊急事態宣言レベルという政府の分科会メンバーの意見に対する受け止め及びその上で札幌市内の特別対策にとどめるに至った根拠並びにその結果、感染抑止に効果を出せなかつたことに対する責任

- ・感染拡大を食い止められなかつたのは、札幌市内の特別対策としたためであり、変異株の特性や全道的な感染拡大の影響を踏まえなかつた判断の見誤りであることに対する見解
- ・飲食店の休業、時短要請、酒類提供禁止の感染拡大防止対策が感染防止にもたらした効果及び対策の適切性に係る所見
- ・飲食店等への時短要請だけでは、現下の感染拡大を食い止めるることは不十分との考えに対する見解
- ・時短要請に応じた事業者への支援金について、一刻も早く支援金を増額させるべきとの考えに係る所見
- ・持続化給付金や家賃支援給付金の再実施及び雇用調整助成金の特例措置の延長を早急に国に求めるべきとの考えに係る所見
- ・ゴールデンウィークまで延長した「新しい旅のスタイル」事業の実施時期の適切性及び事業を直ちに停止することに対する見解
- ・オリンピックのマラソンテスト大会のために、全道から札幌へ道職員を集めることは、感染対策に逆行する行為であることに対する見解
- ・東京五輪・パラリンピック開催の全国知事アンケートで、安全で確実な実施に向けた準備に取り組んでいると回答し、感染状況次第で中止、延期にすべきと回答しなかつたことに対する根拠
- ・基本的な感染対策の徹底が行われていれば、変異株が猛威を振るっていても、感染は拡大しないと認識しているのかということに係る所見

#### 2 補正予算編成のあり方等について

- ・機動的対応について、今後の感染拡大状況やまん延防止等重点措置の対応を継続した場合を踏まえ、支援金のさらなる増額に対応できる予算を提案すべきとの考えに係る所見

・市中の無症状感染者を発見するためのモニタリング検査拡充の必要性に対する認識

- ・大規模なモニタリング検査の拡大について予算計上を行わなかつた理由
- ・道独自対策として大規模なモニタリング検査に背を向け続ける理由
- ・大規模なモニタリング検査を実施し、無症状者の早期発見にこれまで以上に取り組むべきとの考えに係る所見
- ・医療従事者に対して定期的な検査をしてほしいという現場の切実な声に対する受け止め及び変異株の感染拡大を防止する観点から、幅広く定期検査に踏み出すべきとの考えに係る所見
- ・拡充した1,809床の病床が満床になった場合を想定した対応に係る所見
- ・全ての療養者が確実に毎日の健康観察を実施できる体制を確保するための取組及び自宅療養者、宿泊療養者に対する治療、投薬、酸素投与など、24時間往診体制を確立すべきとの考えに係る所見
- ・医療機関の経営の下支えとして、発熱外来運営経費助成、利子補給などの支援が必要との考えに対する見解

#### 3 感染防止対策実態調査等事業について

- ・飲食店中心の対策では変異株による感染拡大は抑止できないことに対する認識及び感染防止対策実態調査等事業が有効だと判断する根拠
- ・道職員ではなくアルバイトに委託されて見回る調査員に対する行政権限及び見回る調査員のウイルス検査の受検に係る所見
- ・受託予定と言われた派遣事業者について、新規事業として議会議決を行わず、民間事業者が契約に先行して求人、説明会を行っている現状に対する説明
- ・緊急随意契約だと言えば、契約が成立していないのに、民間事業者はやりたい放題となり、行政ルールを無視した議会軽視となることに対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。質疑を終結。

議案第1号の委員会付託を省略、報告第1号を総務委員会に付託し、議事進行の都合により午後

6時33分休憩。午後7時6分再開し、諸般の報告の後、

**日程第3 議案第1号**を議題とし、日程第3の議事を中止

**追加日程 報告第1号**を議題とし、日程第3にあわせ追加日程を一括議題とし、総務副委員長から総務委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、報告第1号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、報告第1号を問題とし、委員長報告（承認議決）のとおり決することについて、起立多数により承認議決。

次に、議案第1号を問題とし、原案のとおり決することについて、異議なく原案可決。

今臨時会に付議された案件は、すべて議了。

午後7時12分閉会。

## 提出案件

### 第1回臨時会において知事から提出のあった案件

#### 議案

提年月出日	番号	件名	付委員会	議年月日	議結果
3. 5.13	1	令和3年度北海道一般会計補正予算（第1号）	付託省略	3. 5.13	原案可決

#### 報告

提年月出日	番号	件名	付委員会	議年月日	議結果
3. 5.13	1	専決処分報告につき承認を求める件	総務	3. 5.13	承認議決
3. 5.13	2	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

## 第 2 回 定 例 会

議長に小畠保則議員（自民）、副議長に市橋修治議員（民主）を選出

►総額1,297億1,300万円余の令和3年度補正予算を可決◀

### 概 要

① 令和3年度補正予算等を審議する**第2回定例会**は、**6月15日に招集**され、会議録署名議員の指定等を行い、**会期を7月2日までの18日間**と決定。

次に、村田憲俊議長（自民）の辞職許可の後、議長選挙を行い、**小畠保則議員（自民）が当選**、引き続き、高橋亨副議長（民主）の辞職許可の後、副議長選挙を行い、**市橋修治議員（民主）が当選**した。

次に、**総額1,297億1,300万円余の令和3年度補正予算案及びこれに関連する議案等21件**が上程され、知事から提出議案に関する説明。

次に、**議案第1号「令和3年度北海道一般会計補正予算（第2号）」**について先議することに決定した後、**質疑**に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

その後、議案等調査のため、6月16日の本会議を休会することに決定して散会。

② 休会明けの6月17日、議席の一部を変更した後、**常任委員、議会運営委員及び特別委員**をそれぞれ議長指名により**選任**。

③ 6月18日から**一般質問**に入り、6月23日に一般質問を終結。直ちに**予算特別委員会を設置**し、**議案第11号を食と観光対策特別委員会**に、**議案第16号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会**にそれぞれ付託することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

次に各委員会付託議案等審査のため、6月24日から6月25日まで及び6月28日から7月1日までの本会議を休会することに決定して散会。

④ **予算特別委員会**は、6月23日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

6月25日から各分科会において各部所管の審査に入り、6月29日にこれを終了。6月30日に各分科委員長報告の後、7月1日に総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。討論、採決の結果、いずれも**原案可決**と決定。

⑤ 会期最終日の7月2日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、**北海道監査委員の選任につき同意を求める件の人事案件1件**が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、**同意議決**。

次に、**苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙**を行い、いずれも指名推選の方法をもって、**議長指名**により選出。

次に、**意見案第1号「地方財政の充実・強化を求める意見書」等7件**が提案され、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略し、討論の後、採決の結果、いずれも**原案可決**。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑥ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し 認定議決	否 決	
知 事	33	21	1				11
議員・委員会	7	7					
計	40	28	1				11

## 本会議

○6月15日（火） 午前10時4分開会、村田憲俊議長、令和3年第2回定例会の開会を宣し、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告。

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月2日までの18日間と決定。

**日程第3 議長辞職の件**を議題とし、村田憲俊議長の辞職を許可することを異議なく決定。

**日程第4 議長の選挙**に入り、議場を閉鎖。高橋亨副議長から出席議員数が98人である旨の報告後、立会人に船橋賢二議員（自民）、小岩均議員（民主）、白川祥二議員（結志）、荒當聖吾議員（公明）を指名。選挙の方法は、単記無記名投票で行い、点呼に応じて順次投票。開票の結果、投票総数98票、有効投票96票、白票2票、有効投票中、小畠保則議員（自民）95票、高橋文明議員（自民）1票で、小畠保則議員が議長に当選。議場の閉鎖を解き、議長から就任の挨拶。

**日程第5 副議長辞職の件**を議題とし、高橋亨副議長の辞職を許可することを異議なく決定。

**日程第6 副議長の選挙**に入り、議場を閉鎖。議長から出席議員数が98人である旨報告の後、議長選挙と同様に取り進め、開票の結果、投票総数98票、有効投票94票、無効投票1票、白票3票、有効投票中、市橋修治議員（民主）90票、内田尊之議員（自民）1票、沖田清志議員（民主）1票、梶谷大志議員（民主）1票、川尻秀之議員（自民）1票で、市橋修治議員が副議長に当選。議場の閉鎖を解き、副議長から就任の挨拶。

**日程第7 議案第1号ないし第21号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

日程第7のうち議案第1号を先議することについて異議なく決定。

議案第1号に関する質疑に入り、

**三好 雅議員（自民）**から、

1 協力支援金について  
・制度内容の複雑化により、事業者の方々から支援金の交付手続きが分かりにくいくとの声  
が寄せられている状況を踏まえた、支援金の申請事務の簡素化及び丁寧な情報の提供に向けた取組



・協力支援金の支給について、概算払い制度を設けるなど、支援金が一日も早く事業者の方々の手に届くよう配慮すべきとの考えに対する見解

2 飲食店等の見回りについて

・現在の見回り活動による成果及び要請に応じていただけない飲食店などへの対応

3 ワクチン接種について

・道独自の大規模集団接種会場の設置を今のタイミングで設けるに至った背景及び判断根拠  
・7月末までに高齢者へのワクチン接種を終わらせるための対策

・集団接種会場の設置場所や箇所数、対象自治体の範囲の決定に係る考え方及び十分な成果が得られることに係る所見

・市町村が進める集団接種等の取組に影響を与えないための医療人材の確保に係る所見  
・ワクチン接種を円滑に進めるための取組

4 システム整備について

・ワクチン接種総合システムの導入の狙い及び市町村との効率的な連携に係る所見

5 緊急事態宣言に基づく措置期間終了後の対応について

・このたびの補正予算を提案するに当たり、緊急事態宣言に基づく措置期間終了後の6月21日以降の対応

等について質問があり、知事から答弁。

**鈴木 一磨議員（民主）**から、

1 補正予算の財源について

・昨年度の決算剰余金の見込及び繰越金の計上により、年間の財政運営や財政調整基金の法定積立ての財源に不足が生じないのか否かに係る所見

・財政調整基金の確保に向けた今後の取組

2 感染防止対策協力支援金について

・今回の特定措置区域設定の考え方  
・特定措置区域とその他区域における感染動向及び要請に差をつけたことによる効果  
・現在の緊急事態宣言終了後の対応に係る所見  
・協力支援金の支給に関し、特定措置区域の飲食店などへの支援金と大規模施設や特定措置区域以外の飲食店などへの支援金において事業実施主体が異なる理由及び円滑な支給に向けた取組

- ・大規模施設において土日の休業が必要と判断した理由及び土日の休業による人流抑制の効果
  - ・今回の機動的対応分の積算の考え方及び仮に6月21日以降にまん延防止等重点措置なども含めて対策が延長された場合の対応
- 3 感染防止対策実態調査等事業費について
- ・営業時間の短縮や休業の要請の違反事例について、事業者の理解を得るための十分な説明の有無に対する認識
  - ・違反事例の対応で明らかになった課題及び今後の協力要請の対策
- 4 ワクチン接種体制構築支援事業費について
- ・ワクチン接種システムの改善について、国に対して実施した提案や要望及びこのシステムの導入が7月末までの高齢者接種の完了に与える効果
- 5 新型コロナウイルスワクチン集団接種促進事業費について
- ・本道においてワクチン接種が進んでいない要因の分析結果
  - ・ワクチン接種を進めるための職域接種の推進に向けた取組
  - ・職域接種や道直営の集団接種において果たす調整役としての役割
  - ・集団接種会場を札幌市のみとした考え方
  - ・道民の不安を解消するため、集団接種会場の設置箇所を今後追加することに係る所見
  - ・集団接種会場の現場の混乱を招かないための、対象者の振り分けなど、具体的な基準の提示に係る所見
  - ・市町村の集団接種支援について、ワクチン接種を進めるための医療従事者の確保に向けた取組及び決意

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後1時46分休憩。午後1時48分再開し、

### **赤根 広介議員（結志）から、**

- 1 感染再拡大防止対策と感染防止協力支援金等の機動的対応について
  - ・一定程度、ワクチン接種が進み、集団免疫獲得までの間、もう二度と感染再拡大を起こさせないために講じる対策
  - ・緊急事態宣言終了後の6月21日以降の対応を



決め、国と早急に協議すべきとの考えに係る所見

- ・5月13日に開催された臨時会の議決の翌日、緊急事態宣言の措置区域へ追加されたことは、道内の感染状況を見誤り、適時的確な新型インフルエンザ等対策特別措置法の適用を国に求めてこなかった結果との考えに対する見解
- ・機動的対応分として計上している予算を一旦取り下げ、緊急事態宣言が終了する6月21日以降の対策内容等を明確にした上で、今定例会中に追加提案すべきとの考えに対する見解

### 2 ワクチン接種について

- ・道直営の集団接種について、対象者を札幌、江別、恵庭、千歳の4市に居住する高齢者とし、特定措置区域である石狩管内の他の市町村や、札幌市に隣接している小樽市が対象とならない理由
- ・集団接種の予約枠に余裕が生じた場合、対象を全道へ拡大することに係る所見
- ・道の集団接種会場の設置などによる1日当たりの接種回数
- ・12歳以上をワクチン接種対象とし、11月までに接種を完了させる場合の1日当たりの接種回数及び実現の可能性に係る所見
- ・今後も接種を加速していく必要があることを踏まえ、早急に国と配達方法を調整し、改善すべきとの考えに対する見解
- ・人との接触を伴い、感染リスクが高いと思われる自治体職員を念頭に、優先接種を進めるべきとの考えに係る所見
- ・市町村の集団接種会場の設置状況や派遣実施医療機関の状況及び対象期間が4月1日からとなっているにもかかわらず、5月の臨時会で医療従事者の派遣に対する時間外・休日の報酬等の措置をしなかった理由

### 3 療養体制について

- ・一日も早い体制強化が求められる自宅療養体制の整備に関する予算は、先議案件ではないことに対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。



### 田中 英樹議員（公明）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・今後の本道の感染状況の見通しに係る所見
  - ・感染防止対策協力支援金支給事業について、一刻も早い事業執行と支援金を必要とする全ての方々に対し、早期に支援が届くようにすべきとの考えに係る所見
  - ・本道における高齢者のワクチン接種の見通しに係る所見及びワクチン接種の実施主体である市町村に対して積極的に支援すべきとの考えに係る所見
  - ・道独自のワクチン集団接種会場について、札幌市をはじめ、地方においても引き続き設置すべきとの考えに係る所見
  - ・8月以降の集団接種会場の設置など、本格的なワクチン接種に向けた取組
  - ・ワクチンの職域接種における取組の加速化に向けた今後の対応
  - ・ワクチンの本格接種に向けて、医師や看護師などの確保に積極的に取り組むべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時31分休憩。午後2時32分再開し、

### 菊地 葉子議員（共産）から、

- 1 協力支援金について
  - ・事業者への時間短縮要請や休業要請に対する協力支援金が実態に見合ったものになっているとの考えに係る所見
  - ・協力支援金の金額が少なくて、もうやっていけないとの声がまことにあふれている深刻な実態の受け止め
  - ・協力支援金の拡充について、政府にさらなる支援強化を求めるべきとの考えに係る所見
  - ・事業者に支援の情報が行き渡るための周知徹底に向けた取組
  - ・緊急事態宣言の延長による支援金の申請において、書類の省略など、申請手続の簡素化に向けた取組
- 2 飲食店等に対する見回り等について
  - ・時短営業や休業要請が守られない背景には、協力支援金の不十分さがあるとの認識
  - ・飲食店の見回りによる感染防止対策の効果及

び飲食店等の見回り経費を事業者支援に使ってと寄せられている声に対する受け止め

- ・新型インフルエンザ等対策特別措置法による過料について、過料を科すことによる感染防止対策の効果
- 3 道直営のワクチン集団接種について
  - ・65歳以上のワクチン接種について、全ての対象者に対する7月末までの2回目接種終了に係る所見
  - ・道民に大規模接種の周知を行う方法及び道民に対して早期に情報提供を行うべきとの考えに係る所見
  - ・道直営の大規模接種対象自治体の多くが既に独自のワクチン予約システムを構築している状況を踏まえ、二重予約など、自治体との連携不足による混乱を回避するための対応及び市町村との情報連携に係る所見
  - ・効率的な接種と接種者の負担を軽減するべく、これまでの大規模接種先進事例を踏まえた会場の動線確保に係る所見
  - ・ワクチン接種の予約について、対象年齢や地域を分けて予約するなど、きめ細やかな対応が必要との考えに係る所見及び予約をウェブのみとし、インターネット環境のない高齢者に考慮した受付としなかった理由

### 4 財源の確保について

- ・既定経費の減額に対する考え方及び今後の追加需要に対する財源確保に向けた取組

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。質疑を終結。

委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

議案等調査のため、6月16日の本会議を休会することに決定し、午後2時55分散会。

○ 6月17日（木） 午前10時2分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議席の一部変更の件**を議題とし、別紙配付議席表のとおりとすることを決定。

**日程第2 常任委員の選任**を議題とし、配付の名簿のとおり次の委員を選任。

### ○総務委員（12人）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 吉田 祐樹（自民） | 中川 浩利（民主） |
| 武田 浩光（民主） | 渡邊 靖司（自民） |
| 浅野 貴博（自民） | 沖田 清志（民主） |

中山 智康（結志） 森 成之（公明）  
富原 亮（自民） 村田 憲俊（自民）  
竹内 英順（自民） 伊藤 条一（自民）

#### ○総合政策委員（11人）

佐藤 伸弥（結志） 内田 尊之（自民）  
笠木 薫（民主） 菊地 葉子（共産）  
荒当 聖吾（公明） 畠山みのり（民主）  
三好 雅（自民） 三津 丈夫（民主）  
松浦 宗信（自民） 藤沢 澄雄（自民）  
喜多 龍一（自民）

#### ○環境生活委員（11人）

阿知良寛美（公明） 太田 憲之（自民）  
滝口 直人（自民） 渕上 純子（民主）  
道見 泰憲（自民） 笠井 龍司（自民）  
池本 柳次（結志） 須田 靖子（民主）  
高橋 亨（民主） 大谷 亨（自民）  
神戸 典臣（自民）

#### ○保健福祉委員（11人）

笛田 浩（民主） 桐木 茂雄（自民）  
木葉 淳（民主） 村田 光成（自民）  
田中 英樹（公明） 久保秋雄太（自民）  
中野 秀敏（自民） 真下 紀子（共産）  
滝口 信喜（結志） 平出 陽子（民主）  
角谷 隆司（自民）

#### ○経済委員（11人）

梶谷 大志（民主） 安住 太伸（自民）  
寺島 信寿（公明） 宮下 准一（自民）  
山根 理広（民主） 加藤 貴弘（自民）  
田中 芳憲（自民） 広田まゆみ（民主）  
大河 昭彦（結志） 千葉 英守（自民）  
和田 敬友（自民）

#### ○農政委員（11人）

船橋 賢二（自民） 志賀谷 隆（公明）  
鈴木 一磨（民主） 植村 真美（自民）  
白川 祥二（結志） 菅原 和忠（民主）  
村木 中（自民） 稲村 久男（民主）  
中司 哲雄（自民） 本間 獣（自民）  
高橋 文明（自民）

#### ○水産林務委員（11人）

佐藤 稔洋（自民） 池端 英昭（民主）  
檜垣 尚子（自民） 壬生 勝則（民主）  
花崎 勝（自民） 佐々木俊雄（自民）  
市橋 修治（民主） 金岩 武吉（結志）  
吉田 正人（自民） 川尻 秀之（自民）  
(欠員 1名)

#### ○建設委員（11人）

千葉 英也（自民） 新沼 透（結志）  
星 克明（自民） 松本 将門（民主）  
中野渡志穂（公明） 小岩 均（民主）  
丸岩 浩二（自民） 梅尾 要一（自民）  
北口 雄幸（民主） 八田 盛茂（自民）  
小畠 保則（自民）

#### ○文教委員（11人）

吉川 隆雅（自民） 藤川 雅司（民主）  
小泉 真志（民主） 佐々木大介（自民）  
大越 農子（自民） 宮川 潤（共産）  
清水 拓也（自民） 松山 丈史（民主）  
赤根 広介（結志） 安藤 邦夫（公明）  
遠藤 連（自民）

**日程第3 議会運営委員の選任**を議題とし、配付の名簿のとおり次の委員を選任。

#### ○議会運営委員（14人）

村木 中（自民） 松山 丈史（民主）  
武田 浩光（民主） 佐々木大介（自民）  
村田 光成（自民） 渡邊 靖司（自民）  
浅野 貴博（自民） 安住 太伸（自民）  
壬生 勝則（民主） 荒当 聖吾（公明）  
白川 祥二（結志） 菅原 和忠（民主）  
加藤 貴弘（自民） 千葉 英也（自民）

**日程第4 特別委員の選任**を議題とし、配付の名簿のとおり次の委員を選任。

#### ○産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員（17人）

田中 芳憲（自民） 道見 泰憲（自民）  
小泉 真志（民主） 星 克明（自民）  
安住 太伸（自民） 菊地 葉子（共産）  
池端 英昭（民主） 桐木 茂雄（自民）  
笠井 龍司（自民） 吉川 隆雅（自民）  
北口 雄幸（民主） 広田まゆみ（民主）  
森 成之（公明） 池本 柳次（結志）  
高橋 亨（民主） 村田 憲俊（自民）  
遠藤 連（自民）

#### ○北方領土対策特別委員（17人）

中野 秀敏（自民） 壬生 勝則（民主）  
植村 真美（自民） 渡邊 靖司（自民）  
大越 農子（自民） 田中 英樹（公明）  
新沼 透（結志） 藤川 雅司（民主）  
太田 憲之（自民） 千葉 英也（自民）  
須田 靖子（民主） 三津 丈夫（民主）  
平出 陽子（民主） 松浦 宗信（自民）  
千葉 英守（自民） 高橋 文明（自民）

(欠員 1名)

○新幹線・総合交通体系対策特別委員（16人）

吉田 正人（自民）	荒當 聖吾（公明）
檜垣 尚子（自民）	内田 尊之（自民）
松本 将門（民主）	山根 理広（民主）
阿知良寛美（公明）	菅原 和忠（民主）
佐藤 稔洋（自民）	梅尾 要一（自民）
三好 雅（自民）	佐々木俊雄（自民）
梶谷 大志（民主）	赤根 広介（結志）
滝口 信喜（結志）	川尻 秀之（自民）

○人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員（16人）

白川 祥二（結志）	丸岩 浩二（自民）
寺島 信寿（公明）	鈴木 一磨（民主）
滝口 直人（自民）	中野渡志穂（公明）
畠山みのり（民主）	加藤 貴弘（自民）
久保秋雄太（自民）	吉田 祐樹（自民）
笹田 浩（民主）	稻村 久男（民主）
中山 智康（結志）	八田 盛茂（自民）
中司 哲雄（自民）	喜多 龍一（自民）

○少子・高齢社会対策特別委員（16人）

松山 丈史（民主）	浅野 貴博（自民）
笠木 薫（民主）	佐々木大介（自民）
宮下 准一（自民）	渕上 紗子（民主）
宮川 潤（共産）	中川 浩利（民主）
船橋 賢二（自民）	村木 中（自民）
安藤 邦夫（公明）	大河 昭彦（結志）
藤沢 澄雄（自民）	竹内 英順（自民）
本間 熱（自民）	神戸 典臣（自民）

○食と観光対策特別委員（16人）

沖田 清志（民主）	清水 拓也（自民）
木葉 淳（民主）	武田 浩光（民主）
村田 光成（自民）	小岩 均（民主）
花崎 勝（自民）	佐藤 伸弥（結志）
志賀谷 隆（公明）	真下 紀子（共産）
金岩 武吉（結志）	富原 亮（自民）
角谷 隆司（自民）	大谷 亨（自民）
伊藤 条一（自民）	和田 敬友（自民）

○北海道地方路線問題調査特別委員（16人）

喜多 龍一（自民）	三津 丈夫（民主）
寺島 信寿（公明）	鈴木 一磨（民主）
菅原 和忠（民主）	桐木 茂雄（自民）
中野 秀敏（自民）	三好 雅（自民）
沖田 清志（民主）	赤根 広介（結志）
佐藤 伸弥（結志）	真下 紀子（共産）
千葉 英守（自民）	吉田 正人（自民）

本間 熱（自民） 高橋 文明（自民）

午前10時6分散会。

○6月18日（金） 午前10時4分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第21号を議題とし、一般質問に入り、

八田 盛茂議員（自民）から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

・人の移動などにより感染拡大が予想された4月、5月の時期の感染に対する見通しと判断及び結果として厳しい制約を受ける緊急事態宣言の対象地域となったことに対する受け止め

・今後の道民との信頼と感染症対策に対する決意及び道民への分かりやすい明確なメッセージ

・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除になり、まん延防止等重点措置区域に移行することに伴う今後の対応

・道民の命と暮らしを守るための感染防止に向けた取組

・道内全ての市町村における、7月末までの高齢者へのワクチン接種完了に向けた対応

・高齢の方々の次の段階のワクチン接種について、それぞれの地域に即した方法で、より多くの方々が円滑に接種を受けるための取組

・飲食店や商業施設等に重点を置いた対策の継続が感染抑止対策として有効であるという根拠を分かりやすく示し、関係者の納得を得られるよう丁寧に説明すべきとの考え方に対する見解

・感染予防対策の実効性を高めるため、事業者の感染予防対策の実施状況を第三者が認証する制度、いわゆる第三者認証制度の設計について、導入の見通しを含めた見解

・長引くコロナ禍の中で、困難な経営状況にある観光事業者や飲食関連事業者など、道内の中小企業の経営継続に向けた今後の支援

・新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源の確保に向けた今後の取組

2 道政の諸課題について

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた考え方を明確に示し、道や事業者、道民の方々など、多様な主体が一体となった取組の推進に係る所見
  - ・国の新たな戦略を踏まえた、本道農業におけるカーボンニュートラル等の実現に向けた取組
  - ・カーボンニュートラルの実現に向けて、北海道スマート農業推進方針を実効性あるものとする取組
  - ・北海道におけるSociety5.0推進計画の実現にむけて、外部有識者の力を役立てるための取組
  - ・幌延深地層研究計画について、日本原子力研究開発機構から示された深度500メートルにおいて実施される研究内容が今後の地層処分に与える意義及び確認会議を経た今後の対応
  - ・今年度の北方四島交流等事業のうち、5月から7月の事業実施が見送られたことに対する受け止め及び元島民の方々の要望を踏まえた今後の対応
  - ・幾春別川総合開発事業について、計画変更を示した国に対する受け止め及び今後の対処
  - ・縄文遺跡群の世界遺産登録について、遺跡の適切な保存、活用に向けた今後の取組
  - ・東京オリンピックについて、マラソンのテスト大会における検証結果を踏まえ、感染防止対策が実効性あるものとするための関係機関との緊密な連携及び様々なメディアを通して世界の方々に北海道の魅力を伝えていくことに係る所見
  - ・ヤングケアラー等への支援について、道内における実態を早急に把握し、必要な対応を検討すべきとの考えに対する見解
  - ・本道水産業の振興について、安全、安心な水産物を供給する役割を担っていくためには、漁業生産の早期回復を図るとともに、消費拡大など、コロナ禍における影響を最小限にとどめるための迅速な対応が必要との考えに係る所見
  - ・道産木材の利用拡大などに向けた取組
- 3 教育問題について
- ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態措置が続く厳しい状況の中で、課

題となっている子どもたちの学力や体力の向上、望ましい学習・生活習慣の確立に向けた取組

- ・地域それぞれの魅力やよさを生かしながら地学協働の体制を整えるなど、新たな視点で魅力ある高校づくりを進める必要があるとの考えに係る所見
- ・本道教育の実現について、ウイズコロナという厳しい状況の下、北海道教育推進計画で策定した目標の実現に向けた取組

#### 4 公安問題について

- ・新型コロナウイルス感染症に関する特殊詐欺等、道民の不安定な心理状況を背景とする様々な犯罪等の防止に向けた取組

等について質問があり、議事進行の都合により午前10時47分休憩。午前10時49分再開し、知事、水産林務部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時45分休憩。午後1時4分再開し、



**藤川 雅司議員（民主）**から、

- 1 知事の政治姿勢について
  - ・新型コロナウイルス感染症について、第4波まで感染の再拡大を許し、道民の命、暮らし、医療、経済、学業などを窮地に追いやっている点に対する結果責任に対する受け止め
  - ・今後、国と道の利益が相反する場面において、道民の命と暮らしを最優先に国と対峙する覚悟
  - ・厳しい財政危機を乗り越えるための、今後の財政の健全化に対する見解
  - ・人口減少問題について、減少要因に対する施策の効果分析及び今後の対策
  - ・人口減少の要因の一つである、若年世帯の所得が十分に確保されていない状況を踏まえた若年層の雇用確保策
  - ・他県と同様に地方創生交付金を活用し、道内大学や高専で学ぶ人材が地元企業で正規雇用により就職できるための奨学金返還支援制度を創設すべきとの考えに係る所見
  - ・重要土地等調査規制法の成立により様々な人権侵害が懸念されることに対する見解及び法の対象となる道内の重要施設数、今後対象となる土地所有者が重要施設に対して機能を妨害する行為を行った事例の有無

## 2 行財政運営について

- ・北海道総合計画の素案の策定に当たり、道民や企業、団体、N P O等から酌み取った意見や反映した意見及び今後の見直し案の策定には、コロナ禍を踏まえた、よりきめ細やかな意見反映が求められることに対する所見

## 3 地方創生の推進について

- ・北海道総合計画の素案について、S D G sとの関連を踏まえた目標設定や具体的な施策を見直した例
- ・今後の各種計画の策定、改定に当たっては、S D G sの要素を反映し、その結果を可視化すべきとの考えに係る所見
- ・道民や企業に出勤者の7割抑制を呼びかけた真意及び府内における今後のテレワークの推進に向けた取組

## 4 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等について

- ・道民の命と健康を守ることを第一に考えるのであれば、これまでの対応の遅れは率直に認め、その反省の上で道民に対して様々な要請をすべきとの考えに係る所見
- ・6月21日からの緊急事態宣言の解除の理由と、札幌市のみをまん延防止等重点措置の対象とした根拠
- ・札幌市でのまん延防止等重点措置に伴う要請の内容とその判断根拠
- ・札幌市を除く全道各地に対する継続した要請の内容及びまん延防止等重点措置適用に伴う事業者への支援策
- ・営業時間短縮の要請に協力せず個別指導を行った事業者から寄せられた声
- ・営業時間短縮の要請に協力しない事業者に対する店舗名の公表を含めた今後の対応
- ・これまでの協力支援金の適切性に対する認識及び事業者支援のさらなる拡充の必要性に係る所見
- ・ワクチン接種について、高齢者優先接種終了時期が急遽7月末と提示されたほか、優先接種の対象者が変更されるなどの混乱に対する認識及び各自治体での円滑な接種に向けた取組
- ・道民の暮らしと命を守る警察職員や消防職員をはじめ、学校や保育所等の職員へのワクチン優先接種を早急に始めるべきとの考えに係

る所見

- ・新たな変異株による脅威に対し、スクリーニング検査の強化など、さらに検査体制を拡充する必要性
- ・人の動きの活発化が想定される観光シーズンに講じる感染防止対策に係る所見
- ・保健所と医療機関が連携した自宅療養者の健康管理体制を早急に構築すべきとの考えに係る所見
- ・医療体制が逼迫した際にも円滑に宿泊療養施設に入所できるよう、施設の増設や使用方法の早急な改善に係る所見
- ・定期的なP C R検査体制について、検査対象を障がい者支援施設など他の福祉施設にも拡充すべきとの考えに係る所見
- ・学びの保障について、家庭におけるオンライン学習の環境整備に対する支援の必要性に係る所見
- ・これまで行ってきた道民や事業者への要請や支援、発出時期など、今後に生かされる検証をもっとしっかりと行うべきとの考えに係る所見

## 5 医療・福祉政策について

- ・男性版産休取得推進に対する所見及び今後の取組
- ・がん対策の推進について、高額となる場合もある治療費への不安解消はもとより、就労支援をはじめ、がん患者の方々が自分らしく生きられる社会の実現に向けた今後の取組

## 6 経済と雇用対策について

- ・4月開始のモデル事業である「新しい旅のスタイル」について、政策判断は明らかな間違いであり、厳に反省すべきとの考えに係る所見
- ・優先すべきは、安心、安全が確保される事業展開への道民の理解であり、あわせて、官民が連携した持続可能な観光事業を普及させる取組であることに係る所見
- ・コロナ禍に起因する雇用調整の可能性がある事業所数と解雇見込み労働者数の動向に対する実態把握及び長期化するコロナ禍で、既存の再就職支援には限界があることから、新たな対策について検討の必要があるとの考えに係る所見
- ・生活困窮学生支援について、道独自の調査の

- 進捗と具体的な学生支援の方針に係る所見
- ・国の支援金に上乗せした個人事業者への支援が必要との考えに係る所見
  - ・道の特別支援金や国の月次支援金のいずれも対象とならない事業者に対して、救済するための対象範囲の拡大や新たな支援策が必要との考えに係る所見
  - ・コロナ対策の補助金について、商工団体などに属していない事業者には適用されない支援事業が公平で公正な事業であるとの考えに係る所見
  - ・商工団体などに属していない事業者の方々も支援の対象となる感染症対策補助金の創設に係る所見

## 7 エネルギー政策について

- ・高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査について、NUMOに対し、対話の場が開催されないのであれば、その間の文献調査は中止または凍結を求めるなど、具体的な対応を行うべきとの考えに係る所見
- ・幌延深地層研究計画について、追加掘削の必要性及び計画延長につなげないとの確約が得られなければ、追加掘削には反対すべきとの考えに係る所見
- ・2050年までのゼロカーボン北海道の実現や、国全体の再生可能エネルギーの主力電源化に向けて、省エネや新エネの開発、導入の実績を踏まえた今後の具体的な取組

## 8 防災・減災対策について

- ・各市町村の避難行動要支援者の個別避難計画作成の現状認識及び早期策定に向けた対応

## 9 交通政策について

- ・JR北海道の路線問題について、巨額の減収と鉄道ネットワークの維持に係る所見
- ・今年度実施した観光列車の導入支援の目的及びJR北海道が単独では維持困難線区としている黄色線区の維持につなげていかなければならぬことに対する認識
- ・JR北海道に対し、黄色8線区の維持を強く求めるべきとの考えに係る所見
- ・北海道新幹線の札幌開業に伴う並行在来線の在り方について、道内の各自治体の財政基盤が脆弱な中での並行在来線の維持に係る所見

## 10 第1次産業振興について

- ・本道の米生産について、安定的な生産、供給

- を確保するための対策及び国内外における北海道米の消費拡大に向けた具体的な取組
- ・公務員獣医師の確保に向けて、臨床獣医師との格差のない待遇改善や国が行う修学資金貸付助成を含め、奨学支援など、実効性のある道独自の対策を強めるべきとの考えに係る所見
  - ・道産木材の安定供給について、世界的に木材が不足し、価格が高騰するウッドショックの影響により道産木材の需要が拡大しつつある中での今後の具体的な対策
  - ・漁獲量の減少により、事業継続が危ぶまれる漁業従事者への個別補償や漁業協同組合への補償などの救済措置を具体的に講じるべきとの考えに対する見解及びコロナ後に安定的な漁獲量を確保するための漁業振興策に係る所見
  - ・紋別沖での毛ガニ漁船の衝突事故や立て続けに発生した洋上での事故・事件の発生を受けて、安全操業の確立に向けて実施した取組及び今後の具体的な対策

## 11 人権等政策について

- ・北海道人権施策推進基本方針の見直しについて、道が定めたあらゆる方針や計画、文書などを総点検した内容の反映方法
- ・人権施策について、理解促進や啓発にとどまらず、現実に困り、不便を強いられている方々の実態に即した支援や救済策などを、具体的で実効性あるものにしていく必要性に係る所見
- ・本道が人権施策に力を入れているとアピールするため、北海道人権宣言を行うべきとの考えに係る所見
- ・DV被害に対する現状認識及びDV被害を防止するための今後の取組

## 12 環境政策について

- ・地球温暖化防止対策条例改正の考え方や見直しの範囲、成果などに係る所見及び条例の改正と併せて、温暖化推進計画の見直しの必要性に対する認識
- ・2050年までのゼロカーボン北海道の実現に向けた課題に対する対応スケジュール
- ・風力発電など、再生可能エネルギーの普及を加速させる必要性に係る所見
- ・二酸化炭素の排出抑制に対する事業者への協

## 力に係る所見

### 13 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

- ・開催の条件に係る所見

### 14 北海道・北東北の縄文遺跡群の活用について

- ・イコモスによる評価結果の勧告に対する受け止め
- ・本道の活性化に資する積極的な取組や保全など、その先の運用に対する同時並行した取組
- ・世界遺産登録予定である遺跡群とその他の道内の価値ある遺跡との今後の連携に対する取組

### 15 直轄事業負担金について

- ・新桂沢ダム、三笠ぼんべつダムの総事業費増額となる4度目の計画変更内容に対する受け止め及び国に対して実施した確認
- ・今回の基本計画変更に伴う直轄事業負担金の増額について、国に対して毅然とした対応をすべきとの考えに係る所見
- ・基本計画変更への意見案に「徹底したコストの縮減と適切な事業の監理により、総事業費を減額すること。」を盛り込んだ意図に係る所見

### 16 北方領土返還の取組について

- ・墓参やビザなし交流など、高齢化する元島民に寄り添った今後の取組を早期に示すべきとの考えに係る所見
- ・停滞する対ロ外交に対する認識及び早期打開に向けた政府への要望

### 17 教育課題について

- ・教育の機会均等、教育格差是正、いじめ問題等の課題解決に向けた取組
- ・コロナ禍で思うような学びを進められない児童生徒及び日々子どもたちに向き合う学校職員への思い
- ・市町村における学校職員の在校等時間の公表実態と公表していない市町村に対する公表期限及び出退勤管理システム導入に対する評価
- ・中央教育審議会が示した標準授業時数を上回る計画をした学校に対する指導助言や改善内容及び改善されない学校に対する具体的な取組
- ・社会問題として取り上げられているヤングケアラーに対する認識及びヤングケアラーに対する迅速な支援体制の構築

等について質問があり、議事進行の都合により午後1時45分休憩。午後1時47分再開し、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、総合政策部長、総合政策部交通企画監、環境生活部長、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時1分休憩。午後3時3分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後3時44分休憩。午後4時16分再開し、



## 金岩 武吉議員（結志）から、

### 1 知事の基本姿勢について

- ・新ひだか町と日高山脈を挟んで隣接する中札内村に至る、静内中札内線の事業中止問題の経過に対する受け止め及び

#### この問題に対する現状認識

- ・静内中札内線の事業中止に対する、日高、十勝両圏域の住民の方々の思いに対する受け止め
- ・静内中札内線の先行きに対する受け止め
- ・静内中札内線の工事中止から今日までの検討の経緯と結果
- ・日高側の既存道路の活用について、地域の意向の聞き取りや地元の役場との共同検討に係る所見
- ・静内中札内線の課題について今後日高側、中札内側と話し合う必要性に対する見解
- ・新ひだか町側の静内中札内線の活用について、道路の活用方法に知恵を絞った検討が必要との考えに対する見解
- ・持続可能な鉄道網の確立に向けた鉄道担当部局を設置することについて、鉄道廃止の大きな山場を越えた今頃になっての設置に対する感想
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットを見据えた担当局長の設置について、サミット終了後の担当局長のポスト廃止に係る所見
- ・アドベンチャートラベルについて、関係部と連携し、新しい観光分野として強化していくことが望ましいとの考えに対する見解
- ・食料供給基地である北海道の課題について、地球温暖化で気温の上昇が北上することによるマイナス面の影響が産業経済活動にとって、大きな研究課題であることに対する受け止め
- ・鉄道を廃止し、人も物資も交通手段をバスやトラックに切り替えることがこれからの北海

道にとって本当にふさわしいものかどうか、もう一度考え直す必要性に係る所見

- ・静内中札内線の道路事業について、どのような利用が望ましいのか、新ひだか町の意向や国の考えも含めて、いま一度検討することに対する見解
- ・鉄道やバス、タクシー等の交通機関がなくなると、農林水産物の普及販売や販路拡大及び道内、国内、海外からの観光客を受け入れる観光事業にも支障を来すとの考えに係る所見
- ・社会福祉施設や医療機関におけるクラスターの発生を防止し、罹患した患者に対しては適切な医療を提供することが、道民の命と健康を守るために課せられた責任であることに係る所見
- ・第2期北海道創生総合戦略の見直しとあわせ、人口ビジョンについても見直した上で、実現可能な戦略として策定する必要があるとの考えに係る所見
- ・北海道創生総合戦略の数値目標の見直しについて、本道からの転出と本道への転入を均衡させるなどの数値目標についても見直す認識に係る所見

## 2 道政の諸課題について

- ・エネルギー・環境政策について、ゼロカーボン北海道を実現するため、2030年度までに排出量を2013年度比で35%削減という目標を引き上げる可能性もあるとのインタビューの回答に対する削減目標の取扱い及び条例改正のスケジュール
- ・2030年における目標電源構成比率に係る所見
- ・観光振興について、どうみん割を実施することに伴う「新しい旅のスタイル」の理念の活用に係る所見及び執行上の取扱い
- ・今年度の観光産業対策について、観光を取り巻く厳しい状況を踏まえた観光産業対策を具体的に明らかにする必要があるとの考えに対する見解
- ・ヤングケアラー支援について、実態調査の実施と道条例制定を急ぎ、支援体制を構築する必要があるとの考えに係る所見
- ・農業振興について、米については在庫米を政府備蓄米に振り向けるなど、国が調整機能を果たすべきとの考えに対する見解
- ・公文書管理条例の制定に関する答弁後の9か

月間に検討した内容及び結論

## 3 教育行政について

- ・新型コロナウイルス感染症のクラスター発生校におけるオンライン学習の実施状況や指導内容及び休業措置等の発動基準
- ・昨年作成されたICT活用授業モデルの各学校での利用状況及び今後の浸透に向けた取組等について質問があり、議事進行の都合により午後4時57分休憩。午後4時59分再開し、知事、総合政策部地域振興監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後5時55分散会。

**○6月21日（月）** 午後1時18分開議、諸般の報告の後、知事から、6月18日の本会議における金岩武吉議員（結志）の質疑並びに一般質問に関する答弁について、発言取消しの申出があり、申出のとおり許可することについて、異議なく決定

## 日程第1 議案第2号ないし第21号を議題とし、一般質問を継続。



**檜垣 尚子議員（自民）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・札幌市のみならず、他の市町村に対しても一定の対策を実施するという方針が決定されるまでの間に行われた検討や対策の範囲等が拡大強化されることとなった理由及びこれまでの支援状況等も含めた支援金措置に係る所見
- 2 幼児教育推進のための連携体制について
  - ・北海道幼児教育振興基本方針に掲げた各種施策の検討や実行に当たっての道と道教委との連携及び施策の着実な進捗に係る所見
  - ・振興局、教育局と連携しながら、全ての市町村で各地域の実情に応じた幼少連携・接続の取組が進むよう、情報提供や研修基地としての機能を高めるべきとの考えに対する見解
- 3 視覚に障がいのある子どもたちへの早期の取組について
  - ・視覚に障がいやその疑いのある子どもの早期発見に向けた対応及び早期支援に向けた取組
- 4 地域枠制度の活用について
  - ・医師の地域枠制度について、道の制度利用者が計画の半数程度にとどまるなど、憂慮すべ

- き状況を招いた要因及び今後の対処
- 5 北海道循環器病対策推進計画について
- ・社会全体に大きな影響を及ぼす循環器病に対する課題の認識及び今後の対策
- 6 H P Vワクチンについて
- ・H P Vワクチンに対する理解促進に向けた取組
- 7 コロナ下における女性支援について
- ・新型コロナウイルス感染症の長期化による、女性に寄り添った相談支援等を推進する国の動きを踏まえた今後の取組
  - ・コロナ下における地域での女性支援に対する取組
- 8 原子力防災体制について
- ・今年度の原子力防災訓練の予定を含めた今後の原子力防災対策に向けた取組
- 9 食産業の振興について
- ・台湾への輸出拡大について、道産品P Rなどのために台中市内に設置した北海道チャレンジショップや北海道チャレンジサポートカフェの取組の成果及び取組の結果明らかになった課題
  - ・コロナ禍を踏まえた台湾への輸出拡大に係る本年度の取組
  - ・台湾における道産品の輸出拡大など、北海道ブランドを生かした経済交流の展開に係る所見
  - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による道産食品を取り巻く現状及び課題に対する認識
  - ・コロナ禍における道産食品の販路確保に対する今後の取組

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時10分休憩。午後2時12分再開し、



### **笠木 薫議員（民主）から、**

- 1 知事の政治姿勢と新型コロナウイルス対策について
  - ・新型コロナウイルス対策について、人々の人生までをも左右させてしまう対策や道独自の対応に対する瑕疵や問題、反省点及び当選してから2年間の政治判断に対する思い
  - ・新型コロナウイルス終息への道筋をつかむための道民の対応に係る所見

- ・知事のワクチン接種について、リスクマネジメントの観点から、優先接種すべきとの考えに係る所見
  - ・緊急事態宣言の終了後の6月21日以降、札幌市以外の石狩管内、旭川市、小樽市の9市町村において、酒類提供は午後8時まで、9時閉店とする時短要請の急な決定に至る経緯
  - ・休業要請に応じた飲食店の事業者への支援について、出入り・取引業者への支援も含めた今日以降の支援
  - ・休業要請に応えた事業主への支援金の支払いについて、5月31日までの要請と6月1日から20日までの要請に対する支援金の受付、支払い状況、支払い完了の見通し
- 2 札幌一極集中是正と地方重視の道政について
- ・札幌圏への一極集中が明らかになった今回の国勢調査を踏まえた、北海道全体の健全な発展に向けた今後の取組
  - ・人口流出のダム機能を果たす役目が課せられている道内の主要都市に対し、施策展開を重点的に実施した実績やこれまでの経過及び地方都市のダム機能を高めるための今後の取組
  - ・地域おこし協力隊の採用など、地域への新しい人の流れをつくる様々な取組について、リーダーシップとコーディネートの機能を發揮していくことに対する見解
- 3 旭川大学の公立化と優佳良織工芸について
- ・北海道づくりの観点から、新学部の設置も含めた旭川大学の公立化に向けた支援に係る所見
  - ・北海道の歴史において、文化伝承という観点から優佳良織工芸を存続させていくことに対する認識
  - ・北海道の観光文化行政として、優佳良織工芸館、国際染織美術館、雪の美術館の位置づけ及び今後講ずることができる支援策に対する認識
- 4 J R 「黄色8線区」の維持について
- ・J R北海道への今後の具体的な支援に対する国への対応
  - ・コロナ禍が大きな影響を与えかねず、単独では維持困難とされる黄色8線区について、存続に向けた対策に係る所見
  - ・国が今後3年間で支援する1,302億円の中に黄色線区の支援は含まれていないというJ R北

## 海道の見解に対する所見

- ・黄色8線区を鉄道として存続させるため、8線区で年間発生している赤字を解決し、JR北海道と国と地域で路線を維持していく仕組みを3年間で構築するというJR北海道の決意に対する国とJR北海道への対応
- ・黄色8線区を維持するための仕組みに係る所見及び決意

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、経済部長及び経済部観光振興監から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。議事進行の都合により午後3時4分休憩。午後3時32分再開し、



**船橋 賢二議員（自民）** から、

### 1 防災対策について

- ・平成30年北海道胆振東部地震を振り返った、これからの防災対策の在り方に対する所感
- ・日本海溝・千島海溝沿いの地震・津波対策について、津波浸水想定を必要としている市町村への早期提供に向けた現在の対応状況

- ・国の巨大地震に係る対策検討ワーキンググループにおける防災対策などの議論を踏まえた今後の取組
- ・地震や津波から身を守るための取組及び今後の対策に対する認識と見解

### 2 水害対策について

- ・市町村が避難情報を的確に発令し、住民が速やかに避難行動を取れるための取組
- ・開発から10年以上経過した北海道防災情報システムについて、地域住民の避難情報をはじめ、これまで以上にタイムリーで、的確な情報の伝達に向けて改善された内容
- ・全国知事会で決定された、災害時の死者・行方不明者の氏名等公表に係るガイドラインについて、道としても速やかに独自基準を定める必要があるとの考えに対する見解

### 3 各種災害への備えと対応について

- ・市町村や都道府県を超えた応援・受援体制の広域的な対応に係る所見
- ・避難行動要支援者名簿の有効活用について、各地において関係者による情報共有などの連携が必要であるとの考えに係る所見
- ・避難行動要支援者の個別避難計画策定の現状と今後の対応

- ・避難行動要支援者に対する福祉避難所について、複数施設の指定に向けたさらなる検討と対策が必要であるとの考えに係る所見

- ・河川の維持管理について、多種多様な新技術などを積極的に研究し、より環境に配慮した河川管理などを早急に検討すべきとの考えに係る所見

- ・農業被害への備えについて、国際的な競争力を高めるためにも、被害を極力最小限にとどめるために十分な対策が必要不可欠であるとの考えに対する今後の対応

- ・自然災害が発生した際、被災した農地や施設などに対する的確で早期復旧に向けた、これまでの教訓や経験などを踏まえた取組

- ・大規模災害発生時に備えた航空搬送拠点臨時医療施設、いわゆるSCUの整備に対する現在の状況及び道内5か所の空港以外に対するさらなるSCUの整備に対する見解

- ・これから災害対応に対する、防災関係機関との連携強化に向けた取組
- ・厳冬期における大規模な災害に対する備え及び取組内容

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、保健福祉部長、建設部長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時16分休憩。午後4時18分再開し、



**中野渡 志穂議員（公明）** から、

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・デルタ株をはじめとした変異株への備えや障がい者支援施設の職員を対象としたPCR検査の拡充などに対する今後の取組

- ・新型コロナウイルスの感染者の急増に伴う自宅療養者の増加について、自宅療養者が必要な支援を受けることができる体制を構築すべきとの考えに係る所見

- ・ワクチン接種の実施主体である市町村に対し、医師確保等も含めて積極的に支援すべきとの考えに係る所見

- ・道独自の集団接種会場について、8月以降の本格的なワクチン接種に係る所見

- ・集団接種会場でのワクチン接種について、道民誰もが居住地に関係なく、接種できるようすべきとの考えに係る所見

### 2 経済対策について

- ・コロナ禍を乗り越えるとともに、中長期的な視点からの本道経済の活性化に向けた取組の展開に係る所見
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、厳しい経営環境に置かれている中小企業の経営支援に対する今後の取組
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、資金繰りが厳しい事業者に対する金融支援に係る所見
  - ・新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う世界的な経済環境の変化を捉えた、海外との経済交流に対する今後の取組
- 3 カーボンニュートラルの取組について
- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた、地球温暖化防止対策条例の見直しに対する今後のスケジュールを含めた対応
  - ・北海道地球温暖化対策推進計画における脱炭素化や再生エネルギーの活用、森林等の二酸化炭素吸収源の確保などの目標値の設定に係る所見
  - ・インフラ・建設分野のカーボンニュートラルの推進について、新たな技術開発や革新的建設機械の導入などに早急に取り組むことが必要との考えに係る所見
- 4 保健福祉問題について
- ・子どもの発達障がいの診断が可能な医療機関や、各医療機関における新規外来受診までの待機期間などの実態調査の結果に係る所見
  - ・発達障がいの子どもが身近な地域で適切な診療や療育を受けることができる体制の確保に向けた今後の取組
  - ・子宮頸がんワクチンについて、子宮頸がんを予防する効果やワクチン接種後の副反応等に関する正しい知識や情報を伝えていくための取組
- 5 縄文世界文化遺産について
- ・北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録について、ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスの勧告に対する受け止め
  - ・縄文遺跡群の活用について、国内外へ向けた魅力発信や価値を継承する人材の育成などに対する今後の取組
- 6 北海道博物館について
- ・ポストコロナにおいて、北海道博物館が本道

の文化振興の役割と機能を發揮していくための取組

## 7 女性支援について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により支援を必要としている方々に対し、必要な支援を届けるための取組
- ・女性特有のニーズや気持ちに寄り添い、悩みを抱える方々が相談しやすい専用窓口や専門的なケアなど、一步踏み込んだ取組の必要性に係る所見

## 8 米の需給緩和について

- ・令和2年産米の需給緩和について、道内における飼料用米などへの作付転換の状況やそれを踏まえた対応

## 9 教育問題について

- ・学校での健康教育の取組について、関係機関との連携や外部人材の活用などの具体的な取組
- ・児童生徒の健康教育の充実に向けたこれまでの取組
- ・児童生徒の健康教育の充実に向けた今後の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時13分散会。

**○6月22日（火）** 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第2号ないし第21号を議題とし、一般質問を継続。**



**星 克明議員（自民）** から、

- 1 デジタル人材の育成について  
・本道のデジタル人材育成の現状に対する評価及びアフターコロナの経済回復に向けた、デジタル人材の育成に対する

見解

## 2 觀光振興について

- ・このたびのアドベンチャートラベル・ワールドサミットがリアル開催からバーチャル開催に変更されたことによる、当初の目的を達成するための方策及びアクティビティーや自然、文化を発信する取組
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット

のバーチャル開催に向けたコンテンツのクオリティーに対する見解

- ・今年のアドベンチャートラベル・ワールドサミットがリアル開催となっていた場合、北海道アウトドアガイドがアドベンチャートラベルのガイドを務めることに係る所見
- ・アドベンチャートラベル・トレード・エーションが求めるガイドの水準を北海道アウトドアガイドが満たしているか否か
- ・北海道アウトドアガイドに対する今後の方向性や支援に対する見解

### 3 政策課題解決に向けた大学、研究機関との連携について

- ・新型コロナウイルス感染症対策の観点で、北海道大学と連携して取り組むことに係る所見及び今後の対応
- ・道総研の多様かつ高度な研究開発機能や技術指導機能などをフルに活用するための今後の対応

### 4 聴覚障がい特別支援学校における教育について

- ・聴覚障がい教育に係る高い専門性の維持と向上に向けた取組

### 5 ワクチン接種について

- ・今後のさらなるワクチン接種の拡大に向け、救急業務から退いた救急救命士の希望者にワクチン接種に係る所要の研修を履修させ、ワクチン接種に参画させることが医療従事者の確保に寄与するとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部次世代社会戦略監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部観光振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午前10時33分休憩。午前10時36分再開し、

**小泉 真志議員（民主）** から、

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ワクチンの優先接種に対するガイドラインを策定すべきとの考えに係る所見

- ・医療的ケアを必要とする子どもの保護者が新型コロナウイルスに感染した場合、もしくは、濃厚接触者となった場合の、子どものケアに対する受入れ体制の構築に係る所見
- ・コロナ禍における措置や対応について、北海道の感染を抑え込むことができてこなかった

のは、公平性が担保されない措置を進めてきたためであるとの考えに係る所見

- ・コロナ禍において困窮する学生等の実態に対する認識及び今後の具体的な支援

### 2 太陽光発電施設と地域環境の調和について

- ・道内の太陽光発電施設等の設置に関する現状認識と今後の対策及び現在、法令等の適用を受けずに、景観の問題など、様々な影響をこうむっている方々に対して救済措置が必要との考えに係る所見

### 3 防災・減災対策について

- ・災害時にほかの自治体から応援を効果的に受け入れるための受援計画について、人手が少なく、手が回らない市町村における受援計画の策定に向けた支援
- ・地方防災会議の女性委員について、本道の自治体において女性参画が進んでいない現状を踏まえた今後の取組
- ・避難所について、障がい者に対しての災害支援が不十分な現状に対する認識及び今後の対応

### 4 弱視の早期発見について

- ・屈折検査を導入し、1%から2%の弱視を発見している地域に比べ、僅か0.3%しか発見できていない本道の実態に対する認識
- ・視力検査の適切な実施に向けた市町村に対するこれまでの支援及び今後の支援に係る所見

### 5 不合理な校則の見直しについて

- ・不合理な校則を見直すための項目を学校管理規則に明記すべきとの考えに係る所見
- ・主権者教育の観点からも、校則の改廃ルールを校則に明記すべきとの考えに係る所見
- ・全ての道立高校に、高校の制服の男女の区別をなくし、性別にかかわらず選択できることを校則に明記するよう要請すべきとの考えに係る所見
- ・性的マイノリティーの児童生徒が抱える課題とその対応等に係る所見

### 6 子どもアドボケイトの育成について

- ・児童虐待の防止につなげるため、親権者や児童相談所以外の第三者が子どもの本音を聞き取り、その後の対応に反映させる意見表明支援員、いわゆる子どもアドボケイトの育成に対するこれまでの取組状況及び今後の方向性に係る所見



**小泉 真志議員（民主）** から、

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ワクチンの優先接種に対するガイドラインを策定すべきとの考えに係る所見

- ・医療的ケアを必要とする子どもの保護者が新型コロナウイルスに感染した場合、もしくは、濃厚接触者となった場合の、子どものケアに対する受入れ体制の構築に係る所見
- ・コロナ禍における措置や対応について、北海道の感染を抑え込むことができてこなかった

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により、午前11時35分休憩。午後1時2分再開し、



**佐々木 大介議員（自民）** から、

- 1 道職員の出勤抑制について  
・新型コロナウイルス感染症対策における道職員の出勤抑制に対する取組方針

- 2 スマート道庁の推進について  
・スマート道庁の推進や道民サービスの質の向上に向けた取組

3 市町村のワクチン一般接種における優先順位について

- ・市町村の一般接種における優先順位に係る所見及び今後の市町村との連携

4 輸入材価格の高騰について

- ・道発注工事における輸入材価格高騰の影響及び今後の対応  
・輸入材の価格が高騰する中で、今後の道産木材の利用定着や安定供給に向けた取組

5 米政策について

- ・国から要請を受けた、主食用米から飼料用米などへの作付転換に対するこれまでの取組  
・一部の産地で進んでいない米の作付転換が、米の需給に与える影響及び今後の対応  
・北海道米の全国的な知名度アップや輸出拡大など、北海道米の消費拡大等に対する取組

6 洋上風力発電の促進区域の指定について

- ・再エネ海域利用法に基づく促進区域となり得る有望な区域の選定に向けた今回の国への情報提供について、有望な区域として次の段階に進める可能性がある区域の有無及び有望な区域に選定されるために求められる条件や課題に対する見解  
・洋上風力発電の導入に必要な系統整備の課題に対する送電事業者との連携及び国に対する具体的な提案内容  
・道内における洋上風力発電の促進区域の指定に向けた取組のスケジュール

7 データセンターの誘致について

- ・経済産業省が策定した半導体・デジタル産業戦略の公表を受けた、データセンターの誘致

に対する今後の取組

8 コロナ禍における子育てへの影響について

- ・コロナ禍における出産控えや出生数の減少に伴う保育施設や小児医療などへの影響を的確に把握し、必要な対策や支援を行っていくことに対する今後の対応

9 成人式について

- ・コロナ禍において、多くの市町村が実施時期の変更や実施方法の見直しなどを行っている成人式について、今後成人式の実施を予定している市町村に対する働きかけに対する見解

10 警察署の新設について

- ・今後交通量や交流人口の増加が見込まれている札幌北警察署の管轄区域や地域の状況に対する受け止め及び今後の警察署の新設に対する評価

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部長、農政部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後1時42分休憩。午後1時44分再開し、



**山根 理広議員（民主）** から、

1 動物愛護管理法の一部改正について

- ・北海道動物の愛護及び管理に関する条例の施行から現在までの責務としての取組と実績

- ・動物取扱業に対する災害発生時の対応について、ペットショップなどに対して日頃から指導が必要との考えに対する認識  
・改正動物愛護管理法に基づく業務について、動物取扱業の立入検査を行う獣医師職員の定員割れが続く状況では、支障が出るとの考えに係る所見

2 配偶者からの暴力について

- ・新型コロナウイルス感染症の長期化によるストレスによって、女性への暴力やDV被害が増加、深刻化している状況に対する認識及び支援  
・DV被害者へ円滑な支援を提供するためには、支援に携わる関係機関等が協力し、それぞれの強みを生かした取組が必要との考えに係る所見

- ・DV被害の相談件数の推移、主な相談内容及び相談後の対応  
・最初に被害者から相談を受け、対応に当たる

- 婦人相談員等の資質の向上に向けた取組
- 3 障害福祉サービス等の報酬改定について
- ・農福連携を含めた施設外就労に関する、障がい福祉サービス等の報酬改定に対する認識及び今後の対応
- 4 百貨店への緊急事態宣言の在り方について
- ・百貨店等の大型商業施設について、来店人数の制限や感染防止の徹底を行うなど、条件付で休業要請等の対象から外すべきとの考えに係る所見
  - ・生活必需物資の範囲の明確化について、関係団体と協議が必要との考えに係る所見
  - ・営業時間の短縮要請に応じた百貨店等の大型商業施設に対し、道独自の支援策が必要との考えに係る所見
- 5 公共交通の自動運転検討及びMa a Sについて
- ・鉄道における自動運転に係る所見
  - ・Ma a Sの実証実験で得られた成果を生かし、コロナ後を見据えた取組を進めることが重要なとの考えに係る所見
- 6 民泊の推進について
- ・北海道住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例の改正の趣旨
  - ・民泊の推進に向けた今後の取組
- 7 教育問題について
- ・教育職員の在校等の時間縮減に向けた、実効性ある働き方改革に対するこれまでの取組と成果
  - ・北海道の緊急事態宣言適用に伴う、私立を含めた高校での分散登校やオンライン学習の取組実態の把握状況
  - ・分散登校やオンライン授業を実施していく上で各学校から寄せられた課題及び課題解決に向けた支援に対する対応

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部長、経済部長、経済部観光振興監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時38分休憩。午後3時1分再開し、

### **宮下 淳一議員（自民）から、**

- 1 農業振興について
  - ・札幌市を中心とした都市近郊農業の振興に向けた取組
- 2 海外悪性伝染病対策について
  - ・高病原性鳥インフルエンザを



- 未然に防ぐために実施した対応及び海外悪性伝染病の侵入防止に向けた今後の取組
- 3 ネイパルの活用について
- ・道立青少年体験活動支援施設、いわゆるネイパルについて、次年度から始まる新たな指定管理期間に向けた今後の活用及び発展に係る所見
- 4 幼児教育施設における園内研修の充実について
- ・各幼児教育施設において、保育の実践を学ぶ園内研修に対する支援
- 5 学校における働き方改革について
- ・平成30年に策定したアクション・プランとの大きな違い及び特に重視している内容
  - ・様々な地域特性があり、各学校や地域の状況も異なる中での、各学校における働き方改革の推進に係る所見
  - ・働き方改革に対する考え方及び支援に向けた取組
- 6 警察署の長寿命化診断結果について
- ・長寿命化に適さないと診断された警察署の改築等に向けた取組状況及び老朽化が進行していく警察署の更新に対する見解
- 7 北海道交通安全計画について
- ・次期北海道交通安全計画に掲げる施策に対する実効性の確保
- 等について質問があり、知事、環境生活部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後3時35分休憩。午後3時38分再開し、
- 
- ### **池端 英昭議員（民主）から、**
- 1 特定地域づくり事業協同組合制度の活用について
    - ・地域の担い手が確保され、都市部への人口流出の歴止めとして期待される特定地域づくり事業協同組合制度の拡大に係る所見
  - 2 新型コロナウイルス感染症について
    - ・誹謗中傷を抑止する目的の条例など、新型コロナウイルス感染症防止条例の制定に係る所見
    - ・札幌市厚別区に整備した集団接種会場について、特定措置区域と措置区域に指定されている石狩市、北広島市、当別町及び新篠津村が集団接種の対象から外れた理由及び集団接種会場が現在の1か所で十分と考えているのか
- 31 -

否かに係る所見

- ・今後のワクチン接種について、無用な混乱を招かないよう、基本的な指針を道が示すべきとの考えに係る所見
- ・企業活動を停滞させないため、1,000人以下の企業でも職域接種ができる仕組みや取組の後押しが必要との考えに係る所見
- ・北海道どさんこプラザと道内外の百貨店で行われる北海道物産展で使えるプレミアム商品券の事業について、事業内容の決定理由及び道民向けの今後の事業実施に係る所見
- 3 北海道型運輸連合の構築について
  - ・シームレス交通戦略の実現に向け、十勝をモデル地域としたこれまでの実証実験の成果を踏まえた今後の取組
- 4 若者活躍プロジェクトについて
  - ・北海道若者活躍プロジェクトにおける道の役割及び人材確保対策推進本部による人材確保に向けた連携事業2020との関わりに係る所見
- 5 人口減少対策について
  - ・本道が持続可能な地域として存続するための、人口減少対策における今後の具体的な取組の提示に係る所見
- 6 農福連携について
  - ・各振興局に設置した、農福連携に取り組もうとする福祉事業者の相談窓口について、現在の課題及びその克服に向けた取組
- 7 食産業の振興について
  - ・北海道全体の振興に結びつける強力な推進力にするためにも、体系的にまとめた組織を構築し、発展させていくという考えに係る所見
- 8 新幹線発生土について
  - ・これから大量に発生するトンネル掘削土に対する認識及び今後の対応

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部食産業振興監及び農政部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時35分散会。

○6月23日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第2号ないし第21号を議題とし、一般質問を継続。**



**太田 憲之議員（自民）**から、

1 「ゼロカーボン北海道」実現に向けての構築分野の取組について

- ・住宅分野におけるゼロカーボン北海道の実現に向けた取組の推進に係る所見

- ・省CO<sub>2</sub>やゼロカーボンに向けた動きを踏まえた、道有施設の整備における脱炭素化に向けた取組

2 高速道路における最高速度規制の見直しについて

- ・高速道路における最高速度の時速120キロメートルへの引上げに対する認識と現在の取組状況

3 交通安全に対する環境整備について

- ・横断歩道の交通安全対策について、海外とは異なり、横断歩道で車側が一時停止をしない状況に対する今後の取組

4 北海道教育推進計画の策定について

- ・次期北海道教育推進計画の策定に対する観点

5 ふるさと納税について

- ・ふるさと納税制度を活用した道立学校ふるさと応援事業に対する温かい支援の輪をさらに広げていくためには、寄附者の意向に沿った制度運用となるように改善の検討が必要との考え方に対する見解

6 学校における読書活動の推進について

- ・高等学校における学校図書館の整備充実に係る所見及び今後の取組

7 新型コロナウイルス感染症対策等について

- ・新型コロナウイルス関連融資制度について、借入返済金の負担増により、企業の経営を維持できず、廃業や経営破綻につながることが懸念される状況に対する今後の把握及び対応
- ・新型コロナウイルス感染症の影響下で行われた選挙において実施した取組

- ・特例郵便等投票制度、正式名称・特定患者等の郵便等を用いて行う投票方法の特例に関する法律を活用し、投票の権利行使できない状況をなくしていくための今後の取組

等について質問があり、知事、建設部建築企画監、教育長、選挙管理委員長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午前10時36分休憩。午前10時38分再開し、



### 寺島 信寿議員（公明）から、

#### 1 経済活性化について

- ・デジタル化の動きが加速する中、東京、大阪に集中するデータセンターの国内最適配置を進めている国の動きを捉えた、本道へのデータセンターの誘致に対する見解

- ・北海道産業振興条例について、スケジュールを含めた今後の見直しに係る所見
- ・道産食品の販路拡大について、指標となる北海道食の輸出拡大戦略の見直しに係る所見
- ・ポストコロナ時代に向けた設備投資を行うに際し、企業に資本性劣後ローン制度の活用を推進するための対応及び資本性劣後ローンや道の企業体质強化貸付を使いやすい制度にしていくための対応

#### 2 観光問題について

- ・ポストコロナを展望した観光振興に係る所見
- ・ポストコロナに向けて、国際的な舞台で活躍する有識者などから成る観光戦略会議のような組織を立ち上げ、今後の戦略を策定することに係る所見
- ・新千歳空港など、道内7空港の空港民間委託の現状に対する認識及び具体的な今後の支援等に係る所見
- ・北海道経済の大きな柱である観光産業を立て直すための道内空港の活性化に向けた今後の対応

#### 3 循環器病対策について

- ・健康寿命の延伸等を図るために脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法、いわゆる循環器病対策基本法の制定に対する受け止め
- ・都道府県が策定する循環器病対策推進計画などの既存の計画に基づいた、循環器病対策に関連する施策に対する取組
- ・子どもから高齢者まで、全ての道民の健康づくりを促進するなど、循環器病対策を総合的に推進すべきとの考えに係る所見

#### 4 北海道有機農業推進計画について

- ・今年度改定することとしている、第4期北海道有機農業推進計画の策定に係る所見

#### 5 幾春別川総合開発事業について

- ・事業費の見直しやコスト削減などに今後も一

### 層取り組むべきとの考えに係る所見

#### 6 行政のデジタル化について

- ・令和3年4月に設置した次世代社会戦略局の役割及び北海道のデジタル化に向けた取組
- ・市町村のデジタル化の推進に係る所見
- ・デジタル技術に関する高度な知識やスキルを持つ専門人材の育成確保に向けた取組及び今後の取組の推進に係る所見
- ・今般策定した北海道Society5.0推進計画における、オープンデータの取組の位置づけ及び今後の取組

等について質問があり、知事、総合政策部次世代社会戦略監、総合政策部交通企画監、保健福祉部長及び経済部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時18分休憩。午前11時20分再開し、



### 渡邊 靖司議員（自民）から、

#### 1 水産物の輸出について

- ・道産水産物の輸出を拡大するための取組

#### 2 森林づくりの推進について

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた森林整備に対する今後の取組

#### 3 子どもの安全安心の確保について

- ・児童虐待防止対策体制総合強化プランの1年前倒しを受けた児童相談所職員の任用に係る所見

- ・児童虐待のみならず、多様化している家庭内暴力に対応していくための児童相談所職員の増員及び資質向上に係る所見

- ・地域において子どもの安全、安心を確保するための、市町村、保育園、幼稚園、学校、警察及び民間機関である児童家庭支援センターなどに対する支援に向けた取組

- ・子どもの安全、安心の確保に向けた、市街地に出没するヒグマ対策に係る所見

#### 4 建設業の振興について

- ・就業者の高齢化や人材確保の厳しい状況が続く建設産業の担い手の確保や育成に向けた取組及び今後の対応

#### 5 丘珠空港の利活用について

- ・本道経済の発展や道民の安心、安全を確保するための丘珠空港が果たす役割に対する認識

## 及び滑走路の延伸の必要性に係る所見

等について質問があり、知事、保健福祉部少子高齢化対策監、水産林務部長及び建設部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時52分休憩。午後1時2分再開し、



### 浅野 貴博議員（自民）から、

#### 1 少子化対策について

- ・コロナ禍を受けた札幌市の周産期医療をめぐる状況の悪化が、本道の少子化をさらに加速させる要因になり得るとの

#### 考え方に対する認識

- ・札幌市内におけるハイリスク妊婦や新型コロナウイルス陽性妊婦の受け入れ体制の整備の現状及び札幌市や北大をはじめとする高次医療機関との今後の連携
- ・6月3日に成立した改正育児・介護休業法により、男性版産休制度とも言うべき出生時育児休業が新設されたことに対する認識
- ・改正育児・介護休業法の意義の周知及び大企業と比較して代替人材の確保が困難と思われる中小企業への支援に向けた今後の取組

#### 2 ワクチンの優先接種について

- ・警察官や知事など、全道民の安全を守る職員に対するワクチンの優先接種に対する認識及び今後の取組

#### 3 新型コロナウイルス感染症の後遺症対策について

- ・情報発信の在り方の見直しや市町村との連携など、企業をはじめ、社会全体に幅広く理解を広める取組が求められるとの考えに対する認識及び今後の取組

#### 4 事業者支援について

- ・行政の十分な支援を受けることができない様々な業種の事業者に対する支援に向けた今後の取組

#### 5 コロナ禍における地域公共交通の維持確保について

- ・年々バス利用者が減少している地域のバス事業者が置かれている現状に対する認識
- ・コロナ禍におけるバス路線の維持に向けた今後の取組

#### 6 一次産業の振興について

- ・政府の規制改革推進会議が答申で触れた、農家や漁業者に対して不公正な行為がないように農協や漁協を指導するなどの内容に対する

## 認識

- ・コロナ禍の収束時期が見通せない状況において、今後の米価の安定化や例年8月に生産者に対して支払われる概算金など、現場の不安な声に対する認識
  - ・道産米の需要拡大及び米価安定に向けた取組
  - ・留萌管内で発生した果樹の凍霜害の状況に対する認識及び今後の支援
  - ・本道における日本酒出荷量の減少及びそれによる地域経済への影響に対する認識
  - ・道産日本酒のコンテスト企画について、大会の仮称である「HOKKAIDO SAKE AWARDS 2021」に対する意見の受け止め及び大会の成功や道産日本酒、道産酒米の振興に係る所見
  - ・鳥獣被害の防止に向けたハンターの育成数やエゾシカの推定生息数等の具体的な数値目標について、捕獲従事者育成等事業の実施により目標達成を目指しているのかということに係る所見
  - ・エゾシカの処理について、市町村との連携や捕獲したエゾシカの回収、運搬、残滓処理に関するハンターの利便性向上が重要であるとの考えに対する認識及び今後の取組
  - ・密漁対策について、改正漁業法による流通段階への罰則規定をさらに周知し、漁獲、流通の双方から強く密漁を牽制すべきとの考えに対する認識及び今後の取組
- 7 留萌管内における洋上風力の誘致について
- ・留萌管内に洋上風力を誘致することに対する課題の認識及びその解決と地域における理解促進、誘致実現につなげていくことに係る所見
- 8 地域連携特例校について
- ・存続の瀬戸際に立たされている地域連携特例校に対する今後の協力に係る所見
  - ・コロナ禍が収束するまでの間、地域連携特例校に関する再編基準について特段の配慮をしてほしいと寄せられた強い声に対する認識
- 等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部長、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長、農政部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後1時52分休憩。午後1時54分再開し、



### 安住 太伸議員（自民）から、

#### 1 感染症に強い地域社会の構築について

- ・新型コロナウイルスとの闘いに慣れや自暴自棄的とも見える行動が出始めているように

も見受けられる現状及び1年を超えて、今なお闘いが続く中での道民の心情に寄せる思いと状況に対する認識

- ・新型コロナウイルスと闘い続ける道民に勇気と希望を与える熱い言葉を発信することに係る所見

- ・廃業の危機に瀕する飲食店への支援について、感染経路遮断のための方策を基準化し、新型コロナウイルスの感染リスクを極小化するための取組を実践している店舗として認証すること及び基準を満たす場合に限り補助金等を支払うことを体系化すべきとの考えに係る所見

#### 2 ポストコロナの北海道づくりに向けた挑戦について

- ・ゼロカーボン北海道推進協議会設立に際し、産業界や経済界から受けた要請や感じ取った反応及び成果を出すための具体的な行動

- ・北海道が国の地球温暖化対策を先導するため必要な視点と対策について、EUが企業を強制的にカーボンニュートラルへと駆り立てる仕組みを法制化したことに対する受け止め及び今後の対処

- ・林業現場の慢性的な人手不足について、北森カレッジにおいて若者のニーズに応え得る取組を進めることができが人手不足対策として急務であるとの考えに係る所見

- ・ゼロカーボン北海道の達成の鍵は、具体的に産業界を巻き込み、輸入しているエネルギーを道産資本のエネルギーに置き換える輸入置換と道産エネルギー産出時の余剰分を輸出する輸出促進であるとの考えに係る所見

- ・気候変動に伴う、現実化しつつある食料危機に対する認識及びこの先の本道農業生産における生産力の大幅な拡大に向けた取組の加速化に係る所見

- ・コロナを乗り越える観光の「新北海道スタイル」提唱とその取組支援について、飲食店と同様に基準化及び認証すると同時に、事業者

にも積極的に取組を求めるべきとの考えに係る所見

- ・ポストコロナ社会で必要とされる教育の在り方及びそれを具現化していくための取組

等について質問があり、知事、経済部長、経済部観光振興監、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後2時31分休憩。午後3時2分再開し、



### 千葉 英也議員（自民）から、

#### 1 地球温暖化対策について

- ・2050年カーボンニュートラル宣言による、今年4月の国の温室効果ガス削減目標の引き上げに対する認識

- ・道内における再生可能エネルギーの導入状況及び北海道の導入ポテンシャルを生かし、再生可能エネルギーの拡大を目指すための今後の取組

- ・道内各地域における再生可能エネルギーの拡大に向けた取組状況

- ・2050年二酸化炭素排出ゼロを表明する道内の各自治体の数を一つでも多く募ることに対する認識及び道内各市町村に対する脱炭素化の拡大に係る所見

#### 2 水素社会の実現について

- ・水素社会の形成に向けた機運醸成や、道内における水素利活用の推進、産学官における取組及び北海道水素イノベーション推進協議会における活動状況

- ・民間の取組に対する道のバックアップ体制について、道内各地における水素社会の実現に向けた取組を形あるものにしていくための協働及び支援に係る所見

- ・道内における水素社会の実現に向けた、2050年カーボンニュートラル宣言以降の取組

#### 3 洋上風力発電に係る民間活力の活用について

- ・ゼロカーボン北海道の実現のためには、洋上風力発電導入促進に向けた取組も大変重要なと考えに対する認識

- ・北海道において新しい産業を構築するには、道内において民間企業が再生可能エネルギー分野へ挑戦しやすい環境をつくることが必要との考えに係る所見

- ・温室効果ガスの排出量を劇的に減らすための課題解決に向けた、産学官民が一体となったスピード感のある取組に係る所見

- 4 北海道若者活躍プロジェクトについて
  - ・2016年6月の第2回定例道議会一般質問後の取組及び今後の取組
- 5 航空宇宙産業における人材育成・雇用創出について
  - ・超小型人工衛星「ひろがり」のミッション成功に係る所見及び航空宇宙産業のさらなる活性化や世界水準の人材育成、雇用創出に向けた今後の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長及び経済部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時36分休憩。午後3時39分再開し、



**菊地 葉子議員（共産）から、**

- 1 新型コロナウイルス感染症対策等について
  - ・札幌市に隣接する小樽市、石狩管内に対する感染リスクの検討に係る所見及びまん延防止等重点措置適用対象地域を札幌市に限定し、リバウンド等の感染拡大を抑止できると考える根拠
  - ・東京オリンピック開会式での1万人の観客の入場を見据えたイベントの上限緩和をする一方、札幌市においては、学校の部活動の原則休止や行事の中止、延期など、道民には引き続き行動制限を要請するという、二重基準の対策にした根拠
  - ・ワクチン接種について、裏づけのない目標や期日に踊らされることなく、希望する人全ての接種に向けて実態に即したロードマップを示すべきとの考えに係る所見
  - ・第5波への備えとして、感染対策をワクチン頼みにせず、高齢者施設、医療機関などに対する頻回、定期的な検査とともに、無症状感染者、初期症状感染者を見つけ出し、保護することに対する取組
- 2 女性支援について
  - ・新型コロナウイルス感染対策に伴う外出自粛や雇用不安による女性へのDVなどの被害に対する実態の把握及び支援につながる取組
  - ・生理の貧困に対する認識及び今後の取組
- 3 コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピックの開催について
  - ・札幌会場に必要な医師、看護師、消防職員、消防団員、救急車等の配置数及びコロナ対応

- で深刻な札幌市の医療逼迫状況を踏まえた配置数に係る所見
- ・医療提供の問題について、テスト大会における検証結果なども踏まえた大会組織委員会との議論に係る所見
  - ・医療負荷はなく、感染拡大につながらない大会と判断する根拠
  - ・大会組織委員会に対する情報や具体的な手立てについての要請や申請の有無
  - 4 北海道総合計画の見直しについて
    - ・各国のSDGsの達成状況と日本の順位に対する受け止め及び日本が評価されていない原因
    - ・コロナ禍で危機に対する脆弱性が明らかになった、貧困をなくす、ジェンダー平等の実現、LGBTQなど多様性の尊重等の課題に対し、政策、施策の充実が急務であるとの考えに対する見解及びこれらの施策が正面から展開されてこなかった理由
    - ・北海道総合計画の見直し案で、デジタル化等の推進が本道の危機を克服するとうたっている理由
    - ・デジタル化等の施策の推進とともに、SDGsの達成に向けた施策の推進が掲げられている北海道総合計画について、デジタル化とSDGsの理念との合致内容及び施策の推進が計画の達成に必要な理由
    - ・道の個人情報保護条例における、行政が保有する情報を秘匿化する匿名加工情報及び匿名化作業の外部委託の取扱い
    - ・改正個人情報保護法よりも踏み込んだ規定を持つ、道の個人情報保護条例に対する評価及び今後全国共通の仕組みを国から求められたとしても、道独自の優れた規定は一律に廃止せず、生かす条例づくりこそ必要との考えに係る所見
  - 5 地方交通について
    - ・北海道新幹線札幌延伸に伴う並行在来線について、踏み込んだバス転換案を示した理由及び並行在来線は維持すべきとの考えに係る所見
  - 6 教育問題について
    - ・廃校による少子化と過疎化への影響に対する認識
    - ・公立高等学校配置計画案による留辺蘂高校の

募集停止について、計画案公表後に寄せられた存続を求める声を踏まえて、廃校を撤回すべきとの考えに係る所見

- ・道立高校の校則における、ツープロック禁止などの規定が文部科学省の生徒指導提要で言う必要かつ合理的範囲と考えるのか否かに係る所見
- ・道立高校の校則の内容について、道教委が自ら実態を調査し、把握するべきとの考えに係る所見
- ・校則の在り方等について、校則改正に当たっては、生徒の参加を保障し、生徒が自由に意見を表明する機会を確保した上で行うべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長、環境生活部長、環境生活部東京オリンピック連携推進監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本会議に27人の委員をもつて構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

#### ○予算特別委員（27人）

木葉 淳（民主）	植村 真美（自民）
滝口 直人（自民）	星 克明（自民）
村田 光成（自民）	大越 農子（自民）
渕上 綾子（民主）	壬生 勝則（民主）
阿知良寛美（公明）	田中 英樹（公明）
宮川 潤（共産）	白川 祥二（結志）
新沼 透（結志）	菅原 和忠（民主）
中川 浩利（民主）	藤川 雅司（民主）
桐木 茂雄（自民）	佐藤 稔洋（自民）
丸岩 浩二（自民）	三好 雅（自民）
吉田 祐樹（自民）	佐々木俊雄（自民）
沖田 清志（民主）	赤根 広介（結志）
中司 哲雄（自民）	藤沢 澄雄（自民）
竹内 英順（自民）	

議案第11号を食と観光対策特別委員会に、議案第16号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会にそれぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため6月24日から6月25日まで及び6月28日から7月1日までの本会議を休会することに決定し、午後4時36分散会。

○7月2日（金） 午後4時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第2号ないし第21号**を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、保健福祉委員長、食と観光対策特別副委員長、農政委員長、建設委員長、新幹線・総合交通体系対策特別委員長、文教委員長及び総合政策委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、真下紀子議員（共産）から議案第3号、第4号、第16号及び第19号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第3号、第4号、第16号及び第19号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第2号、第5号ないし第15号、第17号、第18号、第20号及び第21号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

**日程第2 議案第22号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第22号を問題とし、異議なく同意議決。

**日程第3 苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙**に入り、指名推選の方法をもつて議長指名により次の議員を選出。

#### ○苫小牧港管理組合議会議員（1人）

梅尾 要一（自民）

#### ○石狩東部広域水道企業団議会議員（3人）

木葉 淳（民主）	植村 真美（自民）
田中 芳憲（自民）	

#### ○石狩湾新港管理組合議会議員（5人）

檜垣 尚子（自民）	山根 理広（民主）
佐藤 稔洋（自民）	花崎 勝（自民）
池本 柳次（結志）	

#### ○石狩西部広域水道企業団議会議員（2人）

武田 浩光（民主） 丸岩 浩二（自民）

#### 日程第4 意見案第1号ないし第7号を議題と

し、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から意見案第3号及び第5号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、意見案第3号及び第5号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、意見案第1号、第2号、第4号、第6号及び第7号を問題とし、いずれも異議なく原案可決。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から、申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを異議なく決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後4時45分閉会。

# 提 出 案 件

## 第2回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 結 事 果
3. 6.15	1	令和3年度北海道一般会計補正予算（第2号）	付託省略	3. 6.15	原案可決
3. 6.15	2	令和3年度北海道一般会計補正予算（第3号）	予 算	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	3	令和3年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	予 算	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	4	令和3年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	予 算	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	5	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	6	北海道税条例等の一部を改正する条例案	総 務	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	7	特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	8	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案	保健福祉	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	9	北海道保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	保健福祉	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	10	北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案	保健福祉	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	11	北海道住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例の一部を改正する条例案	食と観光対策	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	12	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案	農 政	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	13	北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	建 設	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	14	北海道営住宅条例の一部を改正する条例案	建 設	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	15	国立研究開発法人森林研究・整備機構営特定中山間保全整備事業等負担金等徴収条例を廃止する条例案	農 政	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	16	新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合交通体系対策	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	17	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	18	訴えの提起に関する件	文 教	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	19	特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件	建 設	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	20	工事委託契約の締結に関する件	総合政策	3. 7. 2	原案可決
3. 6.15	21	工事委託契約の締結に関する件	総合政策	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 2	22	北海道監査委員の選任につき同意を求める件	付託省略	3. 7. 2	同意議決

## 報 告

提 出 年 月 日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 結 事 果
3. 6. 15	1	令和 2 年度北海道縹越明許費縹越計算書報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	2	令和 2 年度北海道事故縹越し縹越計算書報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	3	令和 2 年度北海道公共下水道事業会計予算縹越計算書報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	4	令和 2 年度北海道流域下水道事業会計予算縹越計算書報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	5	令和 2 年度北海道電気事業会計予算縹越計算書報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	6	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	7	土地信託の事務処理状況に関する件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	8	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	9	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	10	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
3. 6. 15	11	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

## 第2回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

### 意 見 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 事 果
3. 7. 1	1	地方財政の充実強化を求める意見書	三好 雅議員外 4人	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 1	2	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書	三好 雅議員外 4人	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 1	3	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	三好 雅議員外 3人	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 2	4	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	水産林務委員長 佐藤 稔洋	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 2	5	国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書	建設委員長 千葉 英也	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 2	6	義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書	文教委員長 吉川 隆雅	3. 7. 2	原案可決
3. 7. 2	7	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書	文教委員長 吉川 隆雅	3. 7. 2	原案可決

# 意 見 案

## 意見案第1号

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

3年2定  
三好 雅議員外4人提出  
令和3年7月2日 原案可決

新型コロナウイルスにより、今、地方自治体には新たに多くの行政需要が発生している。ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化を余儀なくされた市民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められている。

また、医療・介護など社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要がこれまで以上に高まりつつあることに加え、近年多発している大規模災害やデジタル・ガバメント化への対応も迫られている。

このような環境下にある地方一般財源総額について、政府はいわゆる「骨太方針2021」において、令和6年度の地方財政計画まで、令和3年度の地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保するとしている。しかし、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われる中、令和4年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されている。

このため、令和4年度の政府予算編成と地方財政計画の策定に当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すべきであることから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 地方財政計画の策定に当たっては、社会保障、防災、環境、地域交通、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保を図ること。
  - 2 新型コロナウイルス対策に係る、ワクチン接種、感染症対応業務等の体制強化や、他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化事業が十分に行えるよう、確実な財源措置を図ること。
  - 3 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが地方自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障関連経費の拡充を図ること。
- また、人材を確保するための地方自治体の取組を支える財政措置を講ずること。
- 4 デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化については、地方自治体の実情を踏まえるとともに、目標時期の延長や一定のカスタマイズを可能とするなど柔軟に対応すること。
  - 5 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保を図ること。
  - 6 会計年度任用職員制度について、引き続き所要額の調査を行うなどして、地方財政計画の歳出に確実に計上すること。
  - 7 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を行い、より林業需要の高い地方自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。
  - 8 地域間の財源の偏在是正のため、引き続き偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に取り組むこと。

また、各種税制の廃止、減税を検討する際には、地方自治体の財政運営に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがな

いよう対応を図ること。

9 地方交付税の財源保障機能・財源調整機能の強化を図ること。

10 地方交付税の法定率を引き上げるなど、引き続き、臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣  
内閣官房長官  
経済財政政策担当大臣  
地方創生規制改革担当大臣

} 各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第2号

### 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

〔3年2定  
三好 雅議員外4人提出  
令和3年7月2日 原案可決〕

民法第750条は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と規定し、夫婦同姓を義務づけている。

本年6月、最高裁判所において、民法第750条の規定が憲法に違反するかどうかが争われた特別抗告事件について、平成27年12月の判決に続き、合憲とする決定が示された。しかしながら、この決定においては、氏制度の在り方は国会で論ぜられ、判断されるべき事柄だとした。

平成30年2月に内閣府が公表した「家族の法制に関する世論調査」の結果では、「選択的夫婦別姓制度の導入に賛成」が42.5%、「導入に反対」29.3%、「夫婦は必ず同じ名字（姓）を名乗るべきだが、婚姻前の姓を通称として使えるように法律を改めることはかまわない」が24.4%となっており、様々な意見が存在している。

選択的夫婦別姓制度の議論に当たっては、夫婦同姓が社会的に定着していることに十分留意する必要があり、夫婦が異なる姓を名乗ることによる子どもへの影響など、別姓制度に関する入念な調査及び検討は、決して欠かされてはならない。

よって、国においては、国民の価値観の多様化及び世論の動向等を踏まえ、選択的夫婦別姓制度に係る議論を社会に開かれた形で十分に行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
法務大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第3号

### 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための 意見書

〔 3年2定  
三好 雅議員外 3人提出  
令和3年7月2日 原案可決 〕

現在、教育の現場では、「誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学び」の実現を目指す「G I G Aスクール構想」の一環で、児童生徒に1人1台の情報端末の貸与、並びに校内の高速ネットワーク整備が進められている。

また、これらのハード面の取組に加えて、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実や、「特別な配慮を必要とする児童生徒の学習上の困難の低減に資するもの」として、「デジタル教科書」の導入も進められようとしている。

「G I G Aスクール構想」に対しては、I C Tを活用したオンラインでの授業や宿題の配付、さらにデジタル教科書やデジタルドリルの活用など、各人の状況に合わせた学習を推進することにより、多様な学びの実現と教員の負担軽減などへの期待が高まっている。

一方で、全ての教員が情報端末を活用した一定レベルの授業を行うことができるよう個人情報の取扱い及び管理も含めた教職員の資質の向上が求められる。また、デジタル教科書・教材は、学校から貸与された端末を使い、学校のシステムに接続する必要があり、例えば、転校先でも復習や学びが継続できる環境を整備しておくことも重要である。

さらに、デジタル教科書のみを使用した場合には、学習の基本能力である「読解力」の低下につながる可能性が懸念される。そこで、各自治体において、S o c i e t y 5.0 時代を生きる子どもたちにふさわしい教育を推進するため、学校教育にI C Tを浸透させ、さらなる教育の充実を図るためにデジタルトランスフォーメーション（以下、「D X」という。）の実現に向けて取り組んでいくべきである。

よって、国においては、次の事項について迅速に対応するよう強く求める。

#### 記

- 1 情報端末の利活用や取扱い、個人情報の保護など、教育D Xに対応する教職員研修の在り方について検討を進めること。
- 2 システムやソフトウェアの整備、情報端末や通信設備の修繕や定期更新など、教育D Xに関する学校教育予算の充実・確保とその在り方について検討を進めること。
- 3 様々な会社の情報端末とデジタル教科書と個人認証システムの互換性を確保するための、統一規格について検討を進めること。
- 4 よく聞き、よく読み、よく書くなどの生涯学び続けるための基本的な「学ぶスキル」を身につける上で、紙面の活用と対面学習の併用を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第4号

### 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

〔3年2定  
水産林務委員長 佐藤 槟洋提出  
令和3年7月2日 原案可決〕

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

さらに、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進など、全国一の森林資源を有する北海道が森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要である。

道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化が実現できるよう、施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 森林の多面的機能を持続的に発揮し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な再造林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- 森林資源の循環利用を通じて、林業・木材産業の成長産業化を実現するため、ICT等の活用による林業イノベーションの推進、生産・流通体制の強化、都市の木造化などによる道産木材の販路拡大、森林づくりを担う人材の育成などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
環境大臣  
復興大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第5号

### 国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書

〔 3年2定  
建設委員長 千葉 英也提出  
令和3年7月2日 原案可決〕

北海道は、豊かで美しい自然環境や広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食など、多様な魅力を有しており、国内外より訪れる観光客の増加が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、本道の経済は食産業や観光業、農林水産業など幅広い分野において、大きな打撃を受けているほか、道路交通を取り巻く環境においては、激甚化・頻発化する自然災害に伴う交通障害をはじめ、道路施設の老朽化、多発する交通事故など、様々な課題を抱えている。

今後は、ポストコロナを見据えた新たな未来に向けた取組を加速することが必要であり、そのためには、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する地域（生産空間）が持つ潜在力が最大限発揮されるよう、平常時・災害時を問わない北海道を支える基盤の確立に向け、安定的な物流・人流の確保・活性化に資する広域道路ネットワークの早期形成や機能向上が必要不可欠である。加えて、積雪寒冷の本道においては、安定的な除雪の体制確保など、冬期間の住民の安全・安心を図ることが必要である。

こうした中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、道路整備・管理に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要である。

よって、国においては、国土の根幹をなす高規格道路から国民の日常生活に最も密着した市町村道に至る道路ネットワークの計画的・体系的整備の必要性や、ポストコロナを見据えた物流・観光をはじめとする経済回復に資する道路の重要性などを踏まえ、より一層の道路整備の推進や維持管理の充実・強化に向けて、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、道路関係予算の所要額を確保すること。
- 2 「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を確保すること。
- 3 新広域道路交通計画に基づき、高規格道路については、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化といった機能強化を図ること。  
また、高規格道路と並行する国道とのダブルネットワークの構築などによるリダンダンシーの確保や道路の防災対策などによる耐災害性の強化を推進するほか、重要物流道路のさらなる指定を図ること。
- 4 国土強靭化の事業計画に基づく橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の充実を図ること。
- 5 冬期交通における安全性の確保、通学路などの交通安全対策、無電柱化の推進、安全で快適な自転車利用環境の創出、北海道観光の振興に向けた道路交通環境の整備など、地域の暮らしや経済活動を支える道路の整備や管理の充実を図ること。
- 6 泊発電所周辺の道路は、複合災害発生時における避難道路としての機能も有していることから、こうした道路の事業について、国の負担割合を引き上げるとともに、早急な整備と適切な管理を図るために必要な予算を別枠で確保すること。
- 7 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和　年　月　日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
国土交通大臣  
国土強靭化担当大臣

} 各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第6号

### 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

〔 3年2定  
文教委員長 吉川 隆雅提出  
令和3年7月2日 原案可決〕

義務教育の機会均等・水準確保及び無償制度は、全ての国民に対し、義務教育を保障するための憲法の要請に基づく国的重要な責務であり、我が国の教育制度の根幹となっている。

中でも、義務教育費国庫負担制度は、全ての子どもたちに一定水準の教育機会をひとしく保障するものであり、次代を担う人材を育成するという社会の基盤づくりに必要不可欠なものである。

しかしながら、義務教育費国庫負担法の改正により、平成18年度から義務教育費の国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたことに伴い、地方公共団体においては、地方交付税等への依存度が高まり、教育財政が圧迫されている状況にある。

とりわけ、広大な地域に小規模校が数多く存在し、また、離島など多くの僻地を有する本道においては、教育財政の逼迫等により、教育水準の全国との格差や市町村間での格差が生じるなど、本道の教育水準のさらなる低下が憂慮されるほか、学力・体力の向上をはじめ、いじめや不登校など多様化・複雑化する生徒指導上の課題への対応や、近年増加傾向にある教育上特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな指導の充実等に支障を来すことが懸念される。

技術革新や産業構造の変化、グローバル化の進展など社会が劇的に変化し、複雑で予測困難となってきている中、令和3年1月の中央教育審議会答申では、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、その姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」としたところであり、本道においても、中央教育審議会答申で示された理念の実現に向け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめとする社会の急激な変化の中であっても、全ての地域において質の高い教育を実現し、子どもたちの資質・能力を確実に育成していく必要がある。

よって、国においては、公教育に地域間格差を生じさせないため、次に掲げる事項について、地方交付税等を含む義務教育費予算の確保・拡充を図られるよう強く要望する。

#### 記

- 1 義務教育費国庫負担制度の堅持
  - 2 少人数学級の一層の充実
  - 3 地域の教育課題や令和の日本型学校教育に対応するための教職員定数の改善
  - 4 教科書の無償給与の堅持並びに学校施設費、就学援助費及び教材費等の充実
  - 5 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた外部人材の配置やＩＣＴ環境の整備などに関する財政及び制度的措置
  - 6 学校における感染症対策や教育活動保障のための財政措置の継続
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

## 意見案第7号

### 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

〔3年2定  
文教委員長 吉川 隆雅提出  
令和3年7月2日 原案可決〕

私学は、建学の精神と独自の教育理念の下、時代の変化や社会の要請に応じた特色ある教育を実践し、我が国の公教育の発展に大きな役割を果たしてきた。

しかしながら、我が国は、少子高齢化社会の到来というこれまで経験したことのない厳しい時代を迎えており、私学においても、児童生徒の急激な減少と、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応等により、経営環境はより一層厳しさを増している。

近年ますます国際化・高度情報化が進展する社会において、我が国が持続的に成長・発展を遂げていくためには、新しい時代が求める能力や知力を有するグローバル人材の育成が急務であり、私学は、こうした人材育成のために、これまで以上に自主性や多様性を發揮しながら、社会的役割を果たしていく必要がある。

国は、昨年から年収590万円未満世帯を対象とした私立高等学校等の授業料の実質無償化を実現し、公私間の格差是正に努めてきたところであるが、私学経営は依然として厳しい経営を余儀なくされており、その安定性・健全性を高めることが何よりも重要なっている。

よって、国においては、こうした私学が置かれている厳しい経営環境や公教育における社会的役割に加え、今般の新型コロナウイルス感染症の教育現場に与えている影響にしっかりと目を向け、次に掲げる事項について支援の一層の充実強化を図るよう、強く要望する。

#### 記

- 1 私立学校振興助成法の趣旨を踏まえた「経常的経費2分の1補助」の実現
  - 2 公私間の納付金負担格差の縮小を是正とさらなる保護者の負担軽減施策の拡充
  - 3 学校施設の耐震化に対する公立学校と同水準の支援
  - 4 公私を区別しないICT環境の整備促進
  - 5 都道府県が実施する私学助成制度に対する財源措置の一層の充実強化
  - 6 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止及び感染防止対策の徹底と授業及び学校行事等の影響に対する支援措置の充実強化
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 小畠保則

## 委員会の動き

### 議会運営委員会

○4月6日(火) 開議 午前11時32分  
散会 午前11時33分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

開議に先立ち、4月1日付の人事異動に伴う幹部職員の紹介。

- ① 道議会におけるクールビズの実施について  
・本年も配付資料のとおり実施することに決定。

○5月10日(月) 開議 午後2時13分  
散会 午後2時16分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 議員の辞職許可について  
・東国幹議員から、4月30日付をもって議員を辞職したい旨の願い出があり、議長は、同日許可したことを報告。  
・辞職許可後の各派の所属議員数は、自民党・道民会議52名、民主・道民連合27名、北海道結志会9名、公明党8名、日本共産党3名となることを報告。
- ② 辞職に伴う議席について  
・東国幹議員の辞職許可後の議席について、配付の議席表のとおり空席とすることに決定。
- ③ 臨時会の招集について  
・総務部長から、招集日を5月13日(木)とすること及び招集告示案件について説明があり、これを了承することに決定。  
・会期については1日間とすることに決定。  
・運営方法については、補正予算については委員会付託を省略、専決処分報告につき承認を求める件は、所管の総務委員会に付託し、委員会審査の後、それぞれ議決する扱いとすることに決定。  
・各種委員会の説明員については、従前より、付議事件と関係のない説明員は、本会議に出席を求めない扱いとする。  
・新型コロナウイルス感染症対策について、前

会と同様に、各自マスクの着用や手洗い、手指消毒を行っていただくこと、感染リスクを回避する行動のさらなる徹底や発熱や咳があるなど体調が悪い場合には、外出を控えるなど、引き続き、感染拡大の防止に向けた協力を願う。

- ・本会議については、これまでと同様に、1時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うことから、議場内に残ったまでの休憩を加えることとする。

○5月13日(木) 開議 午前9時16分  
散会 午後6時52分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 提出議案の事前説明について  
・総務部長から説明。
- ② 議案第1号に関する質疑について  
・質疑について5名の通告があったことを報告。  
・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について  
・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について  
・午前10時開会とする。  
(午前9時19分散会、午後6時50分再開)
- ⑤ 委員会付託議案の審議状況について  
・総務委員会において審査を終了したことを報告。
- ⑥ 再開後の本会議について  
・総務委員会に付託されていた報告第1号を日程に追加し、日程第3とあわせ、一括議題として副委員長の報告を行い、議決することとする。
- ⑦ 再開後の議事順序について  
事務局長説明のとおりとする。
- ⑧ 特別委員会のインターネット等の中継について  
・北海道地方路線問題調査特別委員会から、6月9日(水)に開催する委員会において、インターネット等の中継を行いたい旨申出があり、これを了承することとする。
- ⑨ 本会議は準備でき次第、再開する。

○6月8日(火) 開議 午後1時3分  
散会 午後1時5分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 会派役員の異動について
  - ・配付資料のとおり各会派から届け出があったことを報告。
- ② 令和3年第2回定例会について
  - ・総務部長から招集日を6月15日(火)とする旨発言があり、これを了承。
  - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
  - ・会期について18日間とすることに決定。
  - ・日程について、次のとおり取り進めることを決定。

[第2回定例会]

6月15日	本会議(提案説明)
6月16日	休会
6月17日	本会議(常任・議運・特別委員選任)
6月18日	本会議(一般質問)
6月21日～6月22日	本会議(一般質問)
6月23日	本会議(一般質問、予算特別委員会設置)
6月24日～6月25日	休会
6月28日～7月1日	休会
7月2日	本会議

- ③ 第31期後期の各委員会の委員配分及び正副委員長配分について
  - ・配付の委員会別各会派配分表のとおりとすることに決定。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・今定例会についてもマスクの着用や手洗い、手指消毒を行っていただくこと、感染リスクを回避する行動のさらなる徹底や発熱や咳があるなど体調が悪い場合には、外出を控えるなど、引き続き、感染拡大防止に向けた協力を願う。
  - ・本会議については、これまでと同様に、1時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うことから、議場内に残ったまでの休憩を加えることとする。

○6月14日(月) 開議 午前9時16分  
散会 午前9時19分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 第2回定例会の提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から説明。
  - ・先議要請があった議案第1号の補正予算については、明日の本会議において先議することに決定。
  - ・質疑について5名の通告があったことを報告。
  - ・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることに決定。
  - ・先議の方法については、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、本会議を一旦休憩し、再開後質疑を行い、委員会付託を省略し、議決する扱いとすることに決定。
- ② 一般質問の通告書について
  - ・提出は6月16日(水)の正午までとする。
- ③ 予算特別委員会について
  - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付の協議事項に記載のとおりとする。
  - ・委員名簿の提出は、6月21日(月)の正午までとする。
- ④ 休会について
  - ・議案等調査のため、6月16日(水)は本会議を休会し、6月17日(木)に再開することに決定。
- ⑤ 6月15日の本会議議事順序について
  - ・明日の委員会において協議する。

○6月15日(火) 開議 午前9時15分  
散会 午前9時23分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 会派役員の異動について
  - ・自民党・道民会議から6月14日付で届出があり、配付資料のとおり各派役員名簿を整理したことを報告。
- ② 議長並びに副議長の辞職願について
  - ・本日付をもって、村田憲俊議長並びに高橋亨副議長から辞職願の提出があった旨報告の後、議長並びに副議長から挨拶。

- ・辞職願は、本日の本会議において許可することに決定。
  - ・辞職願を許可した場合、本日の本会議において選挙を行うことに決定。
- ③ 議長、副議長の選挙について
- ・選挙の方法は、投票により行い、単記無記名とすることに決定。
  - ・投票用紙は、議長選挙は黄色、副議長選挙は桃色とし、所定の用紙以外の投票用紙が投函された場合は、無効投票とする。
  - ・氏名の記載に当たっては、名字と名前を正確に記入するよう、各派において所属議員に周知願う。
  - ・立会人の選出については、各会派から1名ずつ計4名を理事の中から選出することとし、本日の本会議で次の委員を議長が指名することに決定。
- 船橋 賢二（自民） 小岩 均（民主）  
白川 祥二（結志） 荒當 聖吾（公明）
- ・投票の方法は、氏名の点呼に応じ、議長席に向かって右側から登壇の上、投票箱に投函し、左側より降壇することとする。
  - ・白票については、投票総数に参入するが、有効投票には参入しない。
- ④ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑤ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。

**○6月17日（木）** 開議 午前9時17分  
散会 午前9時20分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- 開議に先立ち、小畠保則議長並びに市橋修治副議長から挨拶。
- ① 議席の一部変更について
- ・配付の議席表のとおり、本日の本会議において、議席の一部を変更することに決定。
- ② 特別委員の辞任許可について
- ・7特別委員会の委員全員から、それぞれ委員辞任の願い出があり、議長が本日許可した旨報告。
- ③ 常任委員、議会運営委員及び特別委員の選任について

- ・配付の名簿のとおり、本日の本会議において選任することに決定。
- ④ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑤ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 閉会にあたり総務部長及び委員長から挨拶。
- 
- 一 委員改選後一**
- 6月17日（木）** 開議 午前10時12分  
散会 午前10時17分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

委員会条例第8条第2項の規定に基づき、臨時に白川祥二議員（結志）が委員長の職務を行い、開議に先立ち、小畠保則議長及び市橋修治副議長から挨拶。

- ① 正・副委員長の互選について
- ・委員長に村木中委員（自民）、副委員長に松山丈史委員（民主）を選出。
  - ・正・副委員長から挨拶。



村木中委員長



松山丈史副委員長

- ② 理事会について
- ・自民党・道民会議及び民主・道民連合は各2名、北海道結志会及び公明党は各1名の計6名の理事を選出し、その協議により運営することに決定。
  - ・各会派の理事は、委員長指名により次の委員を選出。
- |           |           |
|-----------|-----------|
| 加藤 貴弘（自民） | 村田 光成（自民） |
| 菅原 和忠（民主） | 武田 浩光（民主） |
| 白川 祥二（結志） | 荒當 聖吾（公明） |
- ③ 諸派の本委員会及び理事会の出席について
- ・議会運営に関する決定事項により、委員外議員として、出席を認めることに決定。本日か

ら菊地葉子議員（共産）が出席する。

- ④ 委員席及び委員外議員席について
  - ・ただいま着席のとおりとすることに決定。
- ⑤ 一般質問について
  - ・20名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
  - ・一般質問の進め方については、  
6月18日（金）は1番から3番までの3名、  
6月21日（月）は4番から7番までの4名、  
6月22日（火）は8番から13番までの6名、  
6月23日（水）は14番から20番までの7名の予定で取り進めることに決定。

閉会にあたり総務部長から挨拶。

- 6月18日（金） 開議 午前9時15分  
散会 午前9時16分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 本日の本会議について
  - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問の順位1番から3番までの3名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

- 6月21日（月） 開議 午後零時17分  
散会 午後零時18分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 発言取消しの申出について
  - ・6月18日の本会議における知事の答弁に関し、配付のとおり、発言取消しの申出があり、本日の本会議において許可することに決定。
- ② 本日の本会議について
  - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問の順位4番から7番までの4名を行う。
- ③ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
  - ・午後1時開会とする。

- 6月22日（火） 開議 午前9時15分  
散会 午前9時16分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 本日の本会議について
  - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問の順位8番から13番までの6名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

- 6月23日（水） 開議 午前9時16分  
散会 午前9時20分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 一般質問について
  - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問の順位14番から20番までの7名を行う。
- ② 予算特別委員会について
  - ・本日、一般質問終了後設置する。
  - ・分科会の委員数は、配付の協議事項に記載のとおり決定した旨報告。
  - ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。
- ③ 議案の各委員会付託について
  - ・配付資料のとおり付託することに決定。
- ④ 休会について
  - ・各委員会付託議案等審査のため、6月24日から25日まで及び28日から7月1日までは本会議を休会することとし、7月2日（金）に再開することに決定。

- ⑤ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑥ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。
- ⑦ 7月2日の本会議開議時刻について
  - ・午後1時開会とする。

- 6月30日（水） 開議 午後4時17分

散会 午後 4 時18分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 予算特別委員会の総括質疑について
  - ・現在、議了していない状況にあり、予算特別委員長から議了までには、さらに時間を要するため、明日も時間をいただきたい旨、申入れがあったことを報告。
  - ・予算特別委員長の申入れについては了承することとし、今後の日程については、配付の変更日程案のとおり取り進めることに決定。
- ② 7月 2 日の本会議開議時刻について
  - ・午後 4 時開会予定とする。

○7月 2 日（金） 開議 午後 3 時15分  
散会 午後 3 時20分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について
  - ・各委員会付託議案は、全て（予算 3 件、総務 3 件、保健福祉 3 件、食と観光対策 1 件、農政 3 件、建設 3 件、新幹線 1 件、文教 1 件、総合政策 2 件、以上20件）議了したことを報告。
- ② 追加提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から説明。
  - ・総務部長から説明のあった議案第22号の人事案件については、本日の本会議で議決する。
- ③ 議員から選出する一部事務組合議会議員の補欠選挙について
  - ・議長に対し、管理者及び企業長から、議員辞職により欠員が生じたため、補欠選挙願いたい旨それぞれ申出があり、各派会長会議において協議を行い、配付の名簿のとおり推薦があった旨報告。
  - ・本日の本会議において、選挙を行うことに決定。
  - ・選挙の方法は指名推選によることとし、指名の方法は議長において指名することに決定。
- ④ 意見案の取り扱いについて
  - ・意見案第 1 号ないし第 7 号の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑤ 繼続調査の申し出について

- ・配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることに決定。
- ⑥ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑦ 令和 3 年第 3 回定期例会の招集予定日について
  - ・総務部長から、9月 14 日（火）を予定している旨発言があり、これを了承。
- ⑧ 本会議開議時刻について
  - ・午後 4 時開会とする。

## 常任委員会

### 総務委員会

○4月6日(火) 開議 午後1時10分  
散会 午後1時33分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

#### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

#### 議事

- 地方税法の改正に伴う北海道税条例の一部改正の専決処分に関する報告聴取の件  
[財政局長報告]

- 令和3年度の防災に関する主な取組に関する報告聴取の件  
[危機管理監報告]

#### 質問

- 宮下 深一委員(自民)  
～機構改革に関する情報発信等について

○5月11日(火) 開議 午後1時13分  
散会 午後1時41分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

#### 議事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
- 北海道防災総合訓練の実施に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]

#### 質問

- 宮下 深一委員(自民)  
～出勤者数削減に向けた取組等について

○5月13日(木) 開議 午後6時45分  
散会 午後6時47分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

#### 付託案件の審査

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

#### 議事

- 付託議案審査の件

○6月1日(火) 開議 午後1時18分  
散会 午後1時50分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

#### 議事

- 押印・書面規制・対面規制の見直しの進め方に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政局長報告]

#### 質疑

- 山根 理広委員(民主)  
～押印・書面規制・対面規制の見直しの進め方について

#### 質問

- 山根 理広委員(民主)  
～コロナ禍における防災航空活動について
- 佐藤 伸弥委員(結志)  
～新型コロナウイルス感染症に係る諸課題について

○6月14日(月) 開議 午前10時16分  
散会 午前11時3分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

#### 議事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[総務部長説明]
- 令和2年度北海道職員の公務員倫理の確立及び保持に関する状況並びに講じた施策に係る報告聴取の件  
[人事局長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

#### 質問

- 浅野 貴博委員(自民)  
～危機対策関連職員に対する感染防止対策につ

いて  
～防衛施設等周辺の重要土地の取得に対する規制等について

○ 6月17日（木） 開議 午前10時30分  
散会 午前11時1分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

### 正・副委員長の互選

- 委員長に吉田祐樹委員（自民）、副委員長に中川浩利委員（民主）を選出



吉田祐樹委員長



中川浩利副委員長

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

### 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
〔総務部長、道警察本部総務部長、会計管理者兼出納局長、人事委員会事務局長、監査委員事務局長説明〕

○ 7月2日（金） 開議 午前10時12分  
散会 午前10時48分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

### 付託案件の審査

- 議案第5号  
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第6号  
北海道税条例等の一部を改正する条例案

(原案可決)  
議案第7号  
特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 請願の審査

請願第2号  
北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の待遇の改善（平等化）を求める件 (継続審査)

### 議事

- 付託議案審査の件
- 新防災情報システムの運用開始に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 太平洋沿岸の津波浸水想定に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

### 質問

- 浅野 貴博委員（自民）  
～有害鳥獣対策について  
～今後の道職員の定年のあり方について

### 総合政策委員会

○ 4月6日（火） 開議 午後1時18分  
散会 午後2時10分  
第4委員会室  
委員長 中山 智康（結志）

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- 新たな過疎法の概要等に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

### 質問

- 梅尾 要一委員（自民）  
～北海道総合計画の見直し等について

～新型コロナウイルス感染症への対応について

- 笠木 薫委員（民主）

～新型コロナウイルス感染症対策について

- 村田 憲俊委員（自民）

～北海道総合計画の見直し等について

○5月11日（火） 開議 午後1時19分

散会 午後2時35分

第4委員会室

委員長 中山 智康（結志）

## 議事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件

[計画局長説明]

- 次期連携地域別政策展開方針の策定に関する報告聴取の件

[地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

- 「札幌市医療非常事態宣言」を踏まえた重点措置に関する報告聴取の件

[政策局次長報告]

## 質疑

- 丸岩 浩二委員（自民）

～「札幌市医療非常事態宣言」を踏まえた重点措置について

## 質問

- 中川 浩利委員（民主）

～新型コロナウイルス感染症対策について

○6月1日（火） 開議 午後1時19分

散会 午後2時14分

第4委員会室

委員長 中山 智康（結志）

## 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議事

- 北海道苦情審査委員の令和2年度活動状況に関する報告聴取の件 [知事室次長報告]

- 北海道過疎地域持続的発展方針（素案）に関する報告聴取の件

[地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

- 北海道における緊急事態措置に関する報告聴

取の件

[政策局次長報告]

## 質疑

- 丸岩 浩二委員（自民）

～北海道における緊急事態措置について

- 中川 浩利委員（民主）

～北海道における緊急事態措置について

○6月14日（月） 開議 午前10時14分

散会 午前10時37分

第4委員会室

委員長 中山 智康（結志）

## 議事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部長説明]

- 北海道総合計画の見直しに関する報告聴取の件 [計画局長報告]

- 令和2年度政策評価（公共事業評価）の結果に関する報告聴取の件 [計画局長報告]

- 次期北海道SDGs未来都市計画（案）に関する報告聴取の件 [計画局長報告]

- 北海道グローバル戦略の見直しに関する報告聴取の件 [国際局長報告]

- 委員交代に伴う引継事項に関する件 [決定]

○6月17日（木） 開議 午前10時30分

散会 午前10時50分

第4委員会室

委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 正・副委員長の互選

- 委員長に佐藤伸弥委員（結志）、副委員長に内田尊之委員（自民）を選出



佐藤伸弥委員長



内田尊之副委員長

- 理事会設置の件 [決定]

- 理事選出の件 [決定]

## 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]  
1. 前委員会からの引継事項の件 [決定]  
1. 所管事務概要説明聴取の件  
[総合政策部長、選挙管理委員会事務局長説明]

○ 7月2日（金） 開議 午前10時16分  
散会 午前10時39分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 付託案件の審査

- 議案第20号  
工事委託契約の締結に関する件  
（原案可決）
- 議案第21号  
工事委託契約の締結に関する件  
（原案可決）

## 議 事

1. 付託議案審査の件  
1. 令和4年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [計画局長説明]  
1. 顧問の任命に関する報告聴取の件  
[次世代社会戦略局長報告]  
1. 北海道過疎地域持続的発展方針（案）に関する報告聴取の件  
[地域創生局長兼官民連携推進室長報告]  
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 質 問

1. 荒当 聖吾委員（公明）  
～ほっかいどう応援団会議について

## 環境生活委員会

○ 4月6日（火） 開議 午後1時13分  
散会 午後2時11分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

## 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

1. 「令和3年春の全国交通安全運動」の実施に関する報告聴取の件  
[くらし安全局長報告]

## 質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）  
～「令和3年春の全国交通安全運動」の実施について

## 質 問

1. 太田 憲之委員（自民）  
～新地球温暖化対策推進計画の推進について  
1. 真下 紀子委員（共産）  
～スポーツ振興について

○ 5月11日（火） 開議 午後1時10分  
散会 午後3時29分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

## 議 事

1. 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[環境生活部長説明]

## 質 問

1. 植村 真美委員（自民）  
～北海道・札幌マラソンフェスティバルについて  
1. 赤根 広介委員（結志）  
～オリンピック・パラリンピックと関連イベントなどについて  
1. 太田 憲之委員（自民）  
～地球温暖化対策推進計画について  
～P C B廃棄物の処理について  
～動物愛護管理センターについて  
1. 真下 紀子委員（共産）  
～北海道・札幌マラソンフェスティバル2021等について  
～放射能廃棄物のP C Bについて

○ 6月1日（火） 開議 午後1時13分  
散会 午後2時44分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 議 事

1. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関するイコモス勧告等に関する報告聴取の件  
[文化局長報告]
1. 道内における聖火リレーの実施方法の変更に関する報告聴取の件  
[東京オリンピック連携局長報告]

### 質 疑

1. 太田 憲之委員（自民）  
～「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関するイコモス勧告等について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～道内における聖火リレーの実施方法の変更について

### 質 問

1. 渕上 綾子委員（民主）  
～オリンピックについて
1. 広田 まゆみ委員（民主）  
～ゼロカーボンの実現について

○ 6月14日（月） 開議 午前10時9分  
散会 午前11時48分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 議 事

1. 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[環境生活部長説明]
1. 北海道人権施策推進基本方針（改定案）に関する報告聴取の件  
[くらし安全局長報告]
1. 「令和2年交通事故及び飲酒運転の状況等に関する年次報告」に関する報告聴取の件  
[くらし安全局長報告]
1. 第11次北海道交通安全計画（案）に関する報告聴取の件  
[くらし安全局長報告]
1. 令和2年度北海道消費生活条例の施行状況に

### 関する報告聴取の件

- [くらし安全局長報告]
1. 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

### 質 疑

1. 渕上 綾子委員（民主）  
～北海道人権施策推進基本方針（改定案）について
1. 藤沢 澄雄委員（自民）  
～北海道人権施策推進基本方針（改定案）について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～北海道人権施策推進基本方針（改定案）について

### 質 問

1. 赤根 広介委員（結志）  
～廃棄物処理に係る諸課題について

○ 6月17日（木） 開議 午前10時31分  
散会 午前10時53分  
第12委員会室  
委員長 阿知良寛美（公明）

### 正・副委員長の互選

1. 委員長に阿知良寛美委員（公明）、副委員長に太田憲之委員（自民）を選出



阿知良寛美委員長



太田憲之副委員長

1. 理事会設置の件  
[決定]
1. 理事選出の件  
[決定]

### 開 議 前

1. 委員会運営方法の件  
[了承]

### 議 事

1. 議席決定の件  
[決定]
1. 前委員会からの引継事項の件  
[決定]

- 所管事務概要説明聴取の件  
[環境生活部長説明]

○7月2日(金) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時34分  
第12委員会室  
委員長 阿知良寛美(公明)

### 請願の審査

請願第3号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に  
係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める  
件  
(継続審査)

### 議事

- 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質問

- 滝口直人委員(自民)  
～交通安全の推進について
- 渕上綾子委員(民主)  
～東京2020大会における人権施策推進基本方針  
のアピールについて

## 保健福祉委員会

○4月6日(火) 開議 午後1時14分  
散会 午後1時52分  
第6委員会室  
委員長 沖田清志(民主)

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件  
[了承]

### 議事

- 令和3年度(2021年度)北海道食品衛生監視  
指導計画の概要に関する報告聴取の件  
[健康安全局長報告]

### 質問

- 村田光成委員(自民)  
～新型コロナウイルス感染症対策について
- 宮川潤委員(共産)  
～精神疾患および障がい者施策について

○5月11日(火) 開議 午後1時10分  
散会 午後5時4分  
第6委員会室  
委員長 沖田清志(民主)

### 議事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・  
要望の概要説明聴取の件  
[保健福祉部長説明]
- 道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
に関する報告聴取の件  
[地域医療推進局長報告]
- 「札幌市医療非常事態宣言」を踏まえた重点措  
置に関する報告聴取の件  
[感染症対策局長報告]
- 感染者情報の公表の見直し(原案)に関する  
報告聴取の件  
[感染症対策局長報告]
- 新型コロナウイルス感染症に関する検査体制  
の状況及び感染者急増時の緊急的な患者対応  
方針に関する報告聴取の件  
[感染症対策局医療体制担当局長報告]

### 質疑

- 村田光成委員(自民)  
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
について
- 武田浩光委員(民主)  
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
について
- 滝口信喜委員(結志)  
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
について
- 志賀谷隆委員(公明)  
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
について
- 宮川潤委員(共産)  
～道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応  
について
- 村田光成委員(自民)  
～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 武田 浩光委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 滝口 信喜委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症対策について

### 質 問

1. 志賀谷 隆委員（公明）  
～生活困窮対策について

**○6月1日（火）** 開議 午後1時14分  
散会 午後3時17分  
第6委員会室  
委員長 沖田 清志（民主）

### 議 事

1. 北海道における緊急事態措置に関する報告聴取の件 [感染症対策局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症「病床・宿泊療養施設確保計画」に関する報告聴取の件 [感染症対策局医療体制担当局長報告]
1. 道立病院における令和2年度下半期の医療事故等の発生状況に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]

### 質 問

1. 村田 光成委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 武田 浩光委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 滝口 信喜委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 志賀谷 隆委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症対策について

**○6月14日（月）** 開議 午前10時8分  
散会 午前10時47分  
第6委員会室  
委員長 沖田 清志（民主）

### 議 事

1. 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説

- |  |                    |
|--|--------------------|
| 明聴取の件                                  | [保健福祉部長説明]         |
| 1. 北海道循環器病対策推進計画策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 |                    |
|  | [健康安全局長報告]         |
| 1. 北海道受動喫煙防止対策推進プラン（仮称）（素案）に関する報告聴取の件  |                    |
|  | [健康安全局長報告]         |
| 1. 感染者情報の公表の見直し（案）に関する報告聴取の件           | [感染症対策局長報告]        |
| 1. 感染者急増時の緊急的な患者対応方針（修正版）に関する報告聴取の件    |                    |
|  | [感染症対策局医療体制担当局長報告] |
| 1. 委員交代に伴う引継事項に関する件                    |                    |
|  | [決定]               |

**○6月17日（木）** 開議 午前10時30分  
散会 午前10時55分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 正・副委員長の互選

1. 委員長に笹田浩委員（民主）、副委員長に桐木茂雄委員（自民）を選出



笹田浩委員長



桐木茂雄副委員長

- |            |      |
|------------|------|
| 1. 理事会設置の件 | [決定] |
| 1. 理事選出の件  | [決定] |

### 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

### 議 事

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 議席決定の件        | [決定]              |
| 1. 前委員会からの引継事項の件 | [決定]              |
| 1. 所管事務概要説明聴取の件  |                   |
|                  | [保健福祉部長、道立病院部長説明] |

**○7月2日（金）** 開議 午前10時13分  
散会 午後零時35分

第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 付託案件の審査

議案第8号

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)

議案第9号

北海道保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

(原案可決)

議案第10号

北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 請願の審査

請願第8号

精神障がい者の運賃割引を求める件 (継続審査)

請願第15号

北海道重度心身障がい者医療給付事業への精神障がい者の適用と新型コロナウイルス感染症から障がい者の命と暮らしを守る対策を求める件 (継続審査)

### 議事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道社会福祉審議会委員推薦の件 [決定]
1. 令和2年度「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」に係る施策の推進状況に関する報告聴取の件 [福祉局障がい者福祉担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務概要継続調査申し出の件 [決定]

### 質問

1. 村田 光成委員（自民）  
～ひきこもり支援について
1. 平出 陽子委員（民主）

- ～江差高看パワハラ問題等に関する第三者調査委員会について
- ～道立高看教員採用資格・職務等について
- 1. 滝口 信喜委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
- 1. 田中 英樹委員（公明）  
～障害福祉サービスに関する研修について
- 1. 真下 紀子委員（共産）  
～ワクチン接種について
- ～高等看護学院における不適切事務等について

## 経済委員会

○4月6日（火） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時31分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

1. 清水沢発電所発電式出席報告の件 [委員長報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）の推進状況に関する報告聴取の件 [食関連産業局長報告]
1. 北海道雇用・人材対策基本計画に基づく「令和3年度推進計画」に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]
1. 「新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画」の変更に関する報告聴取の件 [企業局次長報告]

### 質問

1. 菊地 葉子委員（共産）  
～中小法人・個人事業者対象の一時支援金について

○5月11日（火） 開議 午後1時9分  
散会 午後1時55分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

## 議 事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[経済部長説明]
- 「札幌市医療非常事態宣言」を踏まえた重点措置に関する報告聴取の件  
[経済部次長報告]

## 質 問

- 渡邊 靖司委員（自民）  
～感染防止対策協力支援金について
- 小泉 真志委員（民主）  
～蔓延防止等重点措置に伴う北海道経済への影響について

○ 6月1日（火） 開議 午後1時11分  
散会 午後1時48分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

## 議 事

- 北海道における緊急事態措置に関する報告聴取の件  
[経済部次長報告]
- 企業局の消費税追加納付に関する報告聴取の件  
[企業局次長報告]

## 質 疑

- 渡邊 靖司委員（自民）  
～企業局の消費税追加納付について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～企業局の消費税追加納付について

## 質 問

- 菊地 葉子委員（共産）  
～緊急事態措置の実施について

○ 6月14日（月） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時42分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

## 議 事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[経済部長、企業局長説明]
- 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

の結果概要に関する報告聴取の件

[経済部次長兼経済企画局長報告]

- 「北海道グローバル戦略」の見直しに関する報告聴取の件  
[経済企画局国際経済担当局長報告]
- 特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更に関する報告聴取の件  
[企業局次長報告]

- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

## 質 疑

- 菊地 葉子委員（共産）  
～特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更について

○ 6月17日（木） 開議 午前10時31分  
散会 午前11時5分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

## 正・副委員長の互選

- 委員長に梶谷大志委員（民主）、副委員長に安住太伸委員（自民）を選出



梶谷大志委員長



安住太伸副委員長

- 理事会設置の件  
[決定]
- 理事選出の件  
[決定]

## 開 議 前

- 委員会運営方法の件  
[了承]

## 議 事

- 議席決定の件  
[決定]
- 前委員会からの引継事項の件  
[決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
[経済部長、企業局長、労働委員会事務局長]

説明]

○7月2日(金) 開議 午前10時8分  
散会 午前10時56分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志(民主)

### 議事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
- 「令和2年度食関連企業経営意識調査」の結果に関する報告聴取の件  
[食関連産業局長報告]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質疑

- 山根 理広委員(民主)  
~「令和2年度食関連企業経営意識調査」の結果について

### 質問

- 広田 まゆみ委員(民主)  
~脱炭素社会における経済政策について

## 農政委員会

○4月6日(火) 開議 午後1時12分  
散会 午後1時33分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏(自民)

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議事

- 令和3年度ホッカイドウ競馬の開催概要に関する報告聴取の件 [競馬事業室長報告]
- 農畜産物等の輸出の現状に関する報告聴取の件  
[食の安全推進局長報告]

### 質問

- 中野渡 志穂委員(公明)  
~農業における女性の活躍について

○5月11日(火) 開議 午後1時7分  
散会 午後1時39分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏(自民)

### 開議前

- 委員の議員辞職報告

### 議事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 理事の一部変更の件 [決定]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[農政部長説明]
- 春耕期における農作業の進捗状況等に関する報告聴取の件  
[生産振興局技術普及支援担当局長報告]

### 質問

- 松本 将門委員(民主)  
~農業改良普及事業の推進について
- 中野渡 志穂委員(公明)  
~道産そばの消費拡大について

○6月1日(火) 開議 午後1時12分  
散会 午後1時49分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏(自民)

### 議事

- 新型コロナウイルス感染症の農業への影響に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
- 令和2年度北海道地方競馬特別会計に係る決算見込みに関する報告聴取の件  
[競馬事業室長報告]

- 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件  
[生産振興局長報告]

### 質疑

- 滝口 直人委員(自民)  
~新型コロナウイルス感染症の農業への影響について  
~令和2年度北海道地方競馬特別会計に係る決算見込みについて

## 質 問

- 中野渡 志穂委員（公明）  
～コロナ禍における普及活動の推進について

○ 6月14日（月） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時38分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

## 議 事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
- 令和2年度農業・農村の動向等に関する年次報告聴取の件 [農政部次長報告]
- 令和2年度政策評価の結果（農政部所管分）に関する報告聴取の件 [農村振興局長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件 [決定]

## 質 問

- 中野渡 志穂委員（公明）  
～農村ツーリズムについて

○ 6月17日（木） 開議 午前10時32分  
散会 午前10時55分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

## 正・副委員長の互選

- 委員長に船橋賢二委員（自民）、副委員長に志賀谷隆委員（公明）を選出



船橋賢二委員長



志賀谷隆副委員長

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

## 開 議 前

- 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件 [農政部長説明]

○ 7月2日（金） 開議 午前10時9分  
散会 午前10時22分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

## 付託案件の審査

- 議案第12号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)
- 議案第15号 国立研究開発法人森林研究・整備機構営特定中山間保全整備事業等負担金等徴収条例を廃止する条例案 (原案可決)
- 議案第17号 国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

## 議 事

- 付託議案審査の件
- 令和4年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
- 令和4年度農業農村整備の概算要望に関する説明聴取の件 [農政部長説明]
- 農作物生育状況調査等に関する報告聴取の件 [生産振興局技術支援担当局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 水産林務委員会

○ 4月6日（火） 開議 午後1時13分  
散会 午後1時28分  
第8委員会室  
委員長 三好 雅（自民）

## 開 議 前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

- 第26回北海道漁港漁場大会参加の件  
[決定]
- 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告  
聴取の件 [水産局長報告]
- 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）の推進状況に関する報告聴取の件  
[水産局長報告]
- 日口さけ・ます漁業交渉の結果に関する報告  
聴取の件 [水産局長報告]

○ 5月11日（火） 開議 午後1時8分  
散会 午後1時28分  
第8委員会室  
委員長 三好 雅（自民）

## 議 事

- 北海道立北の森づくり専門学院新校舎落成式出席報告の件 [委員長報告]
- 第26回北海道漁港漁場大会参加報告の件 [委員長報告]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[水産林務部長、水産林務部次長、水産局長、林務局長説明]
- 第44回全国育樹祭実施計画（変更）に関する報告聴取の件  
[森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]

○ 6月1日（火） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時35分  
第8委員会室  
委員長 三好 雅（自民）

## 議 事

- 紋別沖における漁船の海難事故及び稚内沖における漁船の拿捕に関する報告聴取の件  
[水産局長報告]
- 新型コロナウイルス感染症による水産業及び林業・木材産業への影響に関する報告聴取の件  
[水産局長、林務局長報告]

## 質 疑

- 佐々木 大介委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症による水産業及び林業・木材産業への影響について

○ 6月14日（月） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時38分  
第8委員会室  
委員長 三好 雅（自民）

## 議 事

- 紋別沖における漁船の海難事故及び稚内沖における漁船の拿捕に関する報告聴取の件  
[水産局長報告]
- 令和2年度「水産業・漁村の動向」及び「森林づくりの動向」等に関する年次報告聴取の件  
[水産林務部長、水産局長、林務局長報告]
- 令和2年度政策評価の結果（水産林務部所管分）に関する報告聴取の件  
[水産林務部次長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

## 質 疑

- 桐木 茂雄委員（自民）  
～紋別沖における漁船の海難事故及び稚内沖における漁船の拿捕について

○ 6月17日（木） 開議 午前10時31分  
散会 午前10時55分  
第8委員会室  
委員長 佐藤 暉洋（自民）

## 正・副委員長の互選

- 委員長に佐藤暉洋委員（自民）、副委員長に池端英昭委員（民主）を選出



佐藤暉洋委員長



池端英昭副委員長

- |            |      |                        |
|------------|------|------------------------|
| 1. 理事会設置の件 | [決定] | 散会 午後1時51分             |
| 1. 理事選出の件  | [決定] | 第9委員会室<br>委員長 村木 中（自民） |

### 開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 議席決定の件        | [決定]       |
| 1. 前委員会からの引継事項の件 | [決定]       |
| 1. 所管事務概要説明聴取の件  | [水産林務部長説明] |

○7月2日（金） 開議 午前10時8分  
 散会 午前10時13分  
 第8委員会室  
 委員長 佐藤 稔洋（自民）

### 議事

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 1. 意見案発議の件                      | [決定]       |
| 1. 令和4年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 | [水産林務部長説明] |
| 1. 令和4年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件    | [決定]       |
| 1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件         | [決定]       |

## 建設委員会

○4月6日（火） 開議 午後1時13分  
 散会 午後1時28分  
 第9委員会室  
 委員長 村木 中（自民）

### 開議前

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介 |      |
| 1. 委員会運営方法の件      | [了承] |

### 議事

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 北海道新広域道路交通ビジョン・計画（案）に関する報告聴取の件            | [土木局長報告] |
| 1. 「新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画」の変更に関する報告聴取の件 | [土木局長報告] |

○5月11日（火） 開議 午後1時9分

### 議事

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件           | [建設部長説明] |
| 1. 北海道における「流域治水」の取組状況に関する報告聴取の件              | [土木局長報告] |
| 1. 「新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画」の変更に関する報告聴取の件 | [土木局長報告] |

### 質疑

1. 星 克明委員（自民）  
 ~「新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画」の変更について

### 質問

1. 田中 英樹委員（公明）  
 ~道立広域公園の整備について

○6月1日（火） 開議 午後1時12分  
 散会 午後1時20分  
 第9委員会室  
 委員長 村木 中（自民）

### 議事

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 令和4年度「全国都市緑化フェア」の開催に関する報告聴取の件 | [まちづくり局長報告] |
|----------------------------------|-------------|

○6月14日（月） 開議 午前10時7分  
 散会 午前10時22分  
 第9委員会室  
 委員長 村木 中（自民）

### 議事

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件      | [建設部長説明]          |
| 1. 令和2年度政策評価の結果（建設部所管分）に関する報告聴取の件 | [建設政策局建設企画担当局長報告] |
| 1. 委員交代に伴う引継事項に関する件               |                   |

[決定]

ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件  
(原案可決)

○ 6月17日(木) 開議 午前10時31分  
散会 午前10時58分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也(自民)

#### 正・副委員長の互選

- 委員長に千葉英也委員(自民)、副委員長に新沼透委員(結志)を選出



千葉英也委員長



新沼透副委員長

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

#### 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

#### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件 [建設部長説明]

○ 7月2日(金) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時26分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也(自民)

#### 付託案件の審査

##### 議案第13号

北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

##### 議案第14号

北海道営住宅条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

##### 議案第19号

特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠

#### 議事

- 付託議案審査の件
- 意見案発議の件 [決定]
- 意見案に関する中央要請実施の件 [決定]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
- 令和4年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [建設部長説明]
- 北海道道路利用者会議の委員推薦の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

#### 文教委員会

○ 4月6日(火) 開議 午後1時18分  
散会 午後2時4分  
第11委員会室  
委員長 笠井 龍司(自民)

#### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

#### 議事

- 随時調査実施の件 [決定]
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主行動計画(第2期)の策定に関する報告聴取の件 [教職員局長報告]
- 令和5年度全国高等学校総合体育大会(夏季大会)北海道準備委員会第2回総会に関する報告聴取の件 [学校教育局長報告]

#### 質疑

- 檜垣 尚子委員(自民)  
～女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主行動計画(第2期)の策定について
- 木葉 淳委員(民主)  
～女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主行動計画(第2期)

の策定について

## 質 問

- 木葉 淳委員（民主）

～障がいのある教職員の雇用状況について

○5月11日（火） 開議 午後1時13分

散会 午後2時52分

第11委員会室

委員長 笠井 龍司（自民）

## 議 事

- 「まん延防止等重点措置」を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する報告聴取の件  
[教育部長報告]
- 令和4年度国の文教施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[総務政策局長、学事課長説明]

## 質 疑

- 佐藤 穎洋委員（自民）

～「まん延防止等重点措置」を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症対策について

- 木葉 淳委員（民主）

～「まん延防止等重点措置」を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症対策について

## 質 問

- 佐藤 穎洋委員（自民）

～いじめ問題について

- 木葉 淳委員（民主）

～少人数学級・小学校専科指導等について  
～旭川市中学生死亡事故について

- 檜垣 尚子委員（自民）

～文化芸術の振興について

- 寺島 信寿委員（公明）

～旭川市における事故について

○6月1日（火） 開議 午後1時19分

散会 午後2時40分

第11委員会室

委員長 笠井 龍司（自民）

## 開 議 前

- 教育長就任挨拶

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

- 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件  
[教育部長報告]
- 令和3年3月公立高等学校卒業者の就職決定状況に関する報告聴取の件  
[学校教育局長報告]
- 公立高等学校配置計画案（令和4年度～6年度）に関する報告聴取の件  
[学校教育局高校配置担当局長報告]
- 令和4年度公立特別支援学校配置計画案に関する報告聴取の件  
[学校教育局特別支援教育担当局長報告]
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産推薦に係る諮問機関からの勧告に関する報告聴取の件  
[生涯学習推進局長報告]

## 質 疑

- 檜垣 尚子委員（自民）

～新型コロナウイルス感染症への対応等について

- 木葉 淳委員（民主）

～新型コロナウイルス感染症への対応等について

## 質 問

- 中司 哲雄委員（自民）

～道徳教育の推進について

- 寺島 信寿委員（公明）

～産業人材の育成について

～旭川市における「いじめ重大事態」について

○6月14日（月） 開議 午前10時12分

散会 午前11時1分

第11委員会室

委員長 笠井 龍司（自民）

## 議 事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[教育部長説明]
- 公立高等学校配置計画案（令和4年度～6年度）に関する件
- 委員交代に伴う引継事項に関する件

[決定]

委員長 吉川 隆雅（自民）

## 質 疑

1. 内田 尊之委員（自民）  
～公立高等学校配置計画案（令和4年度～6年  
度）について
1. 中司 哲雄委員（自民）  
～公立高等学校配置計画案（令和4年度～6年  
度）について

## 質 問

1. 木葉 淳委員（民主）  
～これからの高校づくりについて

○ 6月17日（木） 開議 午前10時32分  
散会 午前10時58分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅（自民）

## 正・副委員長の互選

1. 委員長に吉川隆雅委員（自民）、副委員長に藤  
川雅司委員（民主）を選出



吉川隆雅委員長



藤川雅司副委員長

1. 理事会設置の件 [決定]
1. 理事選出の件 [決定]

## 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 前委員会からの引継事項の件 [決定]
1. 所管事務概要説明聴取の件  
[教育部長、学事課長説明]

○ 7月2日（金） 開議 午前10時13分  
散会 午前11時44分  
第11委員会室

## 付託案件の審査

- 議案第18号  
訴えの提起に関する件 (原案可決)

## 請願の審査

- 請願第6号  
私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育  
環境の改善のための私学助成を充実することを  
求める件 (継続審査)
- 請願第11号  
ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関  
する件 (継続審査)
- 請願第13号  
道立高校の定員内は受検者全員を合格させること  
を求める件 (継続審査)
- 請願第14号  
「私学教育費負担の公私間格差是正」を求める  
件 (継続審査)
- 請願第16号  
北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める  
件 (継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 令和5年度全国高等学校総合体育大会北海道  
実行委員会の設立に関する報告聴取の件  
[学校教育局長兼ICT教育推進局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 疑

1. 小泉 真志委員（民主）  
～付託議案について

## 質 問

1. 大越 農子委員（自民）  
～学校の通学路の安全対策について  
～産業教育について
1. 小泉 真志委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症への感染不安を理

- 由に登校できない児童生徒について  
～「通学路の安全確保」について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～学校における安全確保について  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 松山 丈史委員（民主）  
～社会教育施設の開館状況等について
1. 安藤 邦夫委員（公明）  
～通学路の安全対策について

# 特 別 委 員 会

## 産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○4月7日(水) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時44分  
第7委員会室  
委員長 東 国幹(自民)

### 開 議 前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議 事

- 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]
- 幌延深地層研究計画令和3年度調査研究計画に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

### 質 疑

- 笠井 龍司委員(自民)  
～北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画について
- 壬生 勝則委員(民主)  
～幌延深地層研究計画令和3年度調査研究計画について

○5月12日(水) 開議 午前10時9分  
散会 午前10時37分  
第7委員会室  
委員長 大谷 亨(自民)

### 委員長の互選

- 委員長に大谷亨委員(自民)を選出



大谷亨委員長

### 議 事

- 議席の一部変更の件 [決定]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[環境・エネルギー局長説明]
- (一社) 北海道産炭地域振興センターの解散に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

### 質 疑

- 池本 柳次委員(結志)  
～令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望について(意見)

### 質 問

- 星 克明委員(自民)  
～北海道省エネ・新エネ促進行動計画について

○6月2日(水) 開議 午前10時9分  
散会 午前10時15分  
第7委員会室  
委員長 大谷 亨(自民)

### 議 事

- 令和2年度(2020年度)省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

○6月14日(月) 開議 午後1時9分  
散会 午後1時22分  
第7委員会室  
委員長 大谷 亨(自民)

### 議 事

- 第2期北海道環境産業振興戦略に係る実績に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件 [決定]

○6月17日(木) 開議 午前11時33分  
散会 午前11時56分  
第7委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

## 正・副委員長の互選

- 委員長に田中芳憲委員（自民）、副委員長に道見泰憲委員（自民）を選出



田中芳憲委員長



道見泰憲副委員長

散会 午前10時18分

第8委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議事

- 令和3年度道の北方領土対策の取組に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

○5月12日（水） 開議 午前10時10分

散会 午前10時20分

第8委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

## 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
[経済部長、総務部危機管理監説明]

○7月2日（金） 開議 午後1時7分

散会 午後1時15分

第7委員会室

委員長 田中 芳憲（自民）

## 請願の審査

請願第9号

寿都町における特定放射性廃棄物最終処分場誘致の文献調査についての件 (継続審査)

## 議事

- 中央要請実施の件 [決定]
- 北海道新エネルギー導入加速化基金による地域への支援の状況に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]

## 北方領土対策特別委員会

○4月7日（水） 開議 午前10時10分

散会 午前10時18分

第8委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議事

- 令和4年度国の方針及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[北方領土対策本部長説明]

- 令和4年度国の方針及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
- 北方四島交流等事業の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
- 北方四島交流等事業の実施に関する中央要請実施の件 [決定]

○6月14日（月） 開議 午後1時9分

散会 午後1時34分

第8委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 議事

- 北方四島交流等事業に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]
- 北方領土問題の取組に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件 [決定]

## 質問

- 大越 農子委員（自民）  
～北方領土返還要求運動について

○6月17日（木） 開議 午前11時35分

散会 午前11時57分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

散会 午前10時28分  
第9委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 正・副委員長の互選

- 委員長に中野秀敏委員（自民）、副委員長に壬生勝則委員（民主）を選出



中野秀敏委員長



壬生勝則副委員長

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

### 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
〔北方領土対策本部長、水産林務部長説明〕

○7月2日（金） 開議 午後1時8分  
散会 午後1時22分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

### 議事

- 北方領土デジタルメディア活用事業等の実施に関する報告聴取の件  
〔北方領土対策局長報告〕

### 質問

- 田中 英樹委員（公明）  
～北方領土問題解決に向けた地域の取組について

## 新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○4月7日（水） 開議 午前10時14分

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- 「地域公共交通計画」の策定に向けた地域の動き等に関する報告聴取の件  
〔交通政策局長報告〕

### 質問

- 赤根 広介委員（結志）  
～並行在来線について

○5月12日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前11時6分  
第9委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 議事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
〔交通企画監説明〕
- 北海道新幹線並行在来線対策協議会第8回ブロック会議の開催結果に関する報告聴取の件  
〔交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告〕

### 質疑

- 佐藤 穎洋委員（自民）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第8回ブロック会議の開催結果について
- 赤根 広介委員（結志）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第8回ブロック会議の開催結果について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第8回ブロック会議の開催結果について

○6月2日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時48分

第9委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

- 委員長に吉田正人委員（自民）、副委員長に荒当聖吾委員（公明）を選出



吉田正人委員長

荒当聖吾副委員長

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議事

- 株式会社AIRDOと株式会社ソラシドエアの共同持株会社設立に関する報告聴取の件  
[航空局長報告]

### 質問

- 山根 理広委員（民主）  
～並行在来線について
- 赤根 広介委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症拡大に係る諸課題について

○6月14日（月） 開議 午後1時9分  
散会 午後1時30分  
第9委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 議事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[総合政策部交通企画監説明]
- 北海道新幹線並行在来線対策協議会ブロック会議幹事会（渡島・後志地域）の開催結果に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]
- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

### 質問

- 渡邊 靖司委員（自民）  
～丘珠空港の利活用について

○6月17日（木） 開議 午前11時34分  
散会 午前11時54分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

### 正・副委員長の互選

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

### 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
[総合政策部交通企画監説明]

○7月2日（金） 開議 午後1時9分  
散会 午後1時42分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

### 付託案件の審査

議案第16号

新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

### 議事

- 付託議案審査の件
- 令和4年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [交通政策局長説明]
- 北海道新幹線並行在来線対策協議会ブロック会議幹事会（後志地域）の開催結果に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]
- 道南いさりび鉄道の決算に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]

## 質 問

1. 梅尾 要一委員（自民）  
～空港民間委託について
1. 山根 理広委員（民主）  
～道内の空港政策について

## 人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

- 4月7日（水） 開議 午前10時9分  
散会 午前10時13分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

1. 令和3年度「地方創生推進交付金」の交付決定に関する報告聴取の件  
[地域創生局長報告]

- 5月12日（水） 開議 午前10時6分  
散会 午前10時19分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 議 事

1. 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[地域創生局長説明]
1. 「第2期北海道創生総合戦略」の見直し方針等に関する報告聴取の件  
[地域創生局長報告]
1. 北海道型ワーケーションの推進に関する報告聴取の件  
[地域創生局長報告]

- 6月2日（水） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時14分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

1. 令和2年度広域連携加速化事業の取組状況に関する報告聴取の件  
[地域行政局長報告]

## ○6月14日（月） 開議 午後1時6分

散会 午後1時12分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 議 事

1. 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

## ○6月17日（木） 開議 午前11時37分

散会 午前11時54分  
第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

## 正・副委員長の互選

1. 委員長に白川祥二委員（結志）、副委員長に丸岩浩二委員（自民）を選出



白川祥二委員長



丸岩浩二副委員長

1. 理事会設置の件 [決定]
1. 理事選出の件 [決定]

## 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 前委員会からの引継事項の件 [決定]
1. 所管事務概要説明聴取の件  
[総合政策部地域振興監説明]

## ○7月2日（金） 開議 午後1時6分

散会 午後1時12分

第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

[子ども未来推進局長報告]

### 議 事

1. 「地方分権改革に関する道の対応等」に関する報告聴取の件 [地域行政局長報告]

## 少子・高齢社会対策特別委員会

○4月7日（水） 開議 午前10時12分  
散会 午前10時42分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介  
1. 委員会運営方法の件 [了承]

### 議 事

1. 第8期市町村介護保険事業計画における介護保険料に関する報告聴取の件  
[高齢者支援局長報告]

### 質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）  
～第8期市町村介護保険事業計画における介護保険料について

○5月12日（水） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時14分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 議 事

1. 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[少子高齢化対策監説明]

○6月2日（水） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時14分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 議 事

1. 子どもの権利の尊重に関する報告聴取の件

○6月14日（月） 開議 午後1時6分  
散会 午後1時14分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 議 事

1. 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[保健福祉部少子高齢化対策監説明]  
1. 委員交代に伴う引継事項に関する件 [決定]

○6月17日（木） 開議 午前11時34分  
散会 午前11時55分  
第6委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 正・副委員長の互選

1. 委員長に松山丈史委員（民主）、副委員長に浅野貴博委員（自民）を選出



松山丈史委員長

浅野貴博副委員長

1. 理事会設置の件 [決定]  
1. 理事選出の件 [決定]

### 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

### 議 事

1. 議席決定の件 [決定]  
1. 前委員会からの引継事項の件 [決定]  
1. 所管事務概要説明聴取の件  
[保健福祉部少子高齢化対策監説明]

○7月2日（金） 開議 午後1時6分  
散会 午後1時8分  
第6委員会室

委員長 松山 丈史（民主）

## 請願の審査

請願第12号

子ども医療費無料化を求める件

(継続審査)

- 新しい旅のスタイルに関する報告聴取の件  
[観光局誘客担当局長報告]

- アドベンチャートラベル・ワールドサミット  
2021北海道の開催方法に関する報告聴取の件  
[観光局アドベンチャートラベル担当局長報告]

- 海外悪性伝染病への対応に関する報告聴取の件  
[食の安全推進局長報告]

## 議 事

- 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]

## 食と観光対策特別委員会

○4月7日（水） 開議 午前10時12分  
散会 午前11時21分  
第5委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 質 疑

- 松本 将門委員（民主）  
～新しい旅のスタイルについて
- 宮川 潤委員（共産）  
～新しい旅のスタイルについて

○6月2日（水） 開議 午前10時9分  
散会 午前10時16分  
第5委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 開 議 前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件  
[了承]

## 議 事

- 新しい旅のスタイル事業に関する報告聴取の件  
[誘客担当局長報告]

## 質 疑

- 宮下 深一委員（自民）  
～新しい旅のスタイル事業について
- 渕上 綾子委員（民主）  
～新しい旅のスタイル事業について
- 宮川 潤委員（共産）  
～新しい旅のスタイル事業について
- 三津 丈夫委員（民主）  
～新しい旅のスタイル事業について

○6月14日（月） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時33分  
第5委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 議 事

- 令和3年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[経済部観光振興監説明]
- 「令和2年度食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告（年次）」に関する報告聴取の件  
[食の安全推進局長報告]
- 「北海道有機農業推進計画（第4期）」（案）の策定開始に関する報告聴取の件  
[食の安全推進局長報告]

- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
[決定]

○5月12日（水） 開議 午前10時9分  
散会 午前11時6分  
第5委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 議 事

- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[観光振興監、食の安全推進監説明]

○6月17日（木） 開議 午前11時34分

散会 午前11時55分  
第5委員会室  
委員長 沖田 清志（民主）

#### 正・副委員長の互選

- 委員長に沖田清志委員（民主）、副委員長に清水拓也委員（自民）を選出



沖田清志委員長



清水拓也副委員長

- 理事会設置の件 [決定]
- 理事選出の件 [決定]

#### 開議前

- 委員会運営方法の件 [了承]

#### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 前委員会からの引継事項の件 [決定]
- 所管事務概要説明聴取の件  
〔経済部観光振興監、農政部食の安全推進監  
説明〕

○7月2日（金） 開議 午後1時8分  
散会 午後1時21分  
第5委員会室  
委員長 沖田 清志（民主）

#### 付託案件の審査

議案第11号  
北海道住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例  
の一部を改正する条例案 （原案可決）

#### 議事

- 付託議案審査の件
- 第5期「北海道観光のくにづくり行動計画」  
（素案）に関する報告聴取の件  
〔観光局長報告〕
- アドベンチャートラベル・ワールドサミット・  
バーチャル北海道の開催内容に関する報告聴

取の件  
〔観光局アドベンチャートラベル担当局長報  
告〕

- 「北海道アウトドア活動振興推進計画」に関する報告聴取の件  
〔観光局アドベンチャートラベル担当局長報  
告〕

#### 北海道地方路線問題調査特別委員会

○4月7日（水） 開議 午後1時18分  
散会 午後2時8分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

#### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介
- 委員会運営方法の件 [了承]

#### 議事

- 国鉄清算事業団債務等処理法の一部改正法等  
に関する報告聴取の件  
〔鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告〕

#### 質疑

- 三好 雅委員（自民）  
～国鉄清算事業団債務等処理法の一部改正法等  
について

#### 質問

- 吉田 正人委員（自民）  
～観光列車について
- 真下 紀子委員（共産）  
～地方路線の維持・存続について

○5月12日（水） 開議 午後1時20分  
散会 午後1時31分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

#### 議事

- JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況  
に係る参考人の出席に関する件 [決定]
- 資料提供依頼の件 [決定]
- 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・

- 要望の概要説明聴取の件  
〔交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長説明〕
- 令和3年度における北海道鉄道活性化協議会の取組に関する報告聴取の件  
〔交通政策局長報告〕
- 6月2日(水)** 開議 午後1時14分  
散会 午後1時26分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一(自民)
- 議事**
- インターネット等による中継実施の件  
〔決定〕
  - 資料提供依頼の件  
〔委員長報告〕
- 質問**
- 沖田 清志委員(民主)  
～利用促進に係る支援について
- 6月9日(水)** 開議 午後1時3分  
散会 午後7時7分  
第1委員会室  
委員長 喜多 龍一(自民)
- 議事**
- 議席決定の件  
〔決定〕
  - JR北海道(株)の事業範囲の見直し及び経営状況に関する件  
〔参考人 北海道旅客鉄道株式会社代表取締役社長報告〕
- 参考人質疑**
- 喜多 龍一委員長(自民)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況について
  - 三好 雅委員(自民)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況について
  - 笠木 薫委員(民主)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況について
  - 赤根 広介委員(結志)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況
- について  
1. 田中 英樹委員(公明)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況について
1. 真下 紀子委員(共産)  
～JR北海道の事業範囲の見直し及び経営状況について
- 6月14日(月)** 開議 午後2時12分  
散会 午後2時18分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一(自民)
- 議事**
- 委員交代に伴う引継事項に関する件  
〔決定〕
- 6月17日(木)** 開議 午後1時4分  
散会 午後1時22分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一(自民)
- 正・副委員長の互選**
- 委員長に喜多龍一委員(自民)、副委員長に三津丈夫委員(民主)を選出
- 

- 喜多龍一委員長      三津丈夫副委員長
1. 理事会設置の件  
〔決定〕
1. 理事選出の件  
〔決定〕
- 開議前**
- 委員会運営方法の件  
〔了承〕
- 議事**
- 議席決定の件  
〔決定〕
  - 前委員会からの引継事項の件  
〔決定〕
  - 所管事務概要説明聴取の件  
〔総合政策部交通企画監説明〕

## 予算特別委員会

○ 6月23日（水） 開会 午後4時39分  
散会 午後4時47分  
第1委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 委員長に吉田祐樹委員（自民）、副委員長に藤川雅司委員（民主）を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部、教育委員会、労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会とする。

各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことと決定。

- ③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

### ○ 第1分科会（委員13人）

滝口 直人（自民）	星 克明（自民）
大越 農子（自民）	壬生 勝則（民主）
阿知良寛美（公明）	新沼 透（結志）
菅原 和忠（民主）	藤川 雅司（民主）
桐木 茂雄（自民）	三好 雅（自民）
沖田 清志（民主）	赤根 広介（結志）
中司 哲雄（自民）	

### ○ 第2分科会（委員13人）

木葉 淳（民主）	植村 真美（自民）
村田 光成（自民）	渕上 綾子（民主）
田中 英樹（公明）	宮川 潤（共産）
白川 祥二（結志）	中川 浩利（民主）
佐藤 稔洋（自民）	丸岩 浩二（自民）
佐々木俊雄（自民）	藤沢 澄雄（自民）
竹内 英順（自民）	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することに決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができることとする。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受けることに決定。

## 第1分科会

○ 6月23日（水） 開会 午後4時49分  
散会 午後4時56分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
菅原 和忠（民主）

- ① 分科委員長に菅原和忠委員（民主）、分科副委員長に星克明委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、滝口直人委員（自民）、壬生勝則委員（民主）、新沼透委員（結志）、阿知良寛美委員（公明）を選出。

○ 6月25日（金） 開議 午前10時1分  
散会 午後5時5分  
第2委員会室

第1分科委員長  
菅原 和忠（民主）

① 保健福祉部所管に対する質疑に入り、

**三好 雅委員（自民）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・ワクチン接種の進捗状況と受け止め
  - ・市町村への情報発信や情報共有の方法と対応及び市町村間でワクチンを融通できる仕組みを必要とする意見に対する対応
  - ・ワクチンの供給状況と今後供給されるワクチンの種類及び見通し
  - ・予約システムなどの情報管理体制の強化に対する考え方と接種情報の適切な管理に向けた取組
  - ・道が優先接種の考え方を示すことに対する所見
  - ・市町村が地域事情を反映させて実施することに対する所見
  - ・副反応への相談対応に係る考え方
  - ・広域接種体制の構築に向けた取組と課題
  - ・職域接種の申請状況と推進に向けた取組方法
  - ・ワクチン接種センターにおける接種の状況と今後の取組
  - ・ワクチン接種を担う医療従事者の確保に向けた取組状況と今後の取組
  - ・個別接種体制の拡充に向けた取組状況と今後の取組
  - ・ワクチン接種証明書の発行体制
  - ・道民の早期接種に向けた市町村や企業等の取組への支援方法
  - ・昨年度における病床確保のための医療機関への支援状況と今年度の対応
  - ・3次医療圏ごとの受入病床の状況公表に係る検討状況とその見通し
  - ・札幌市と連携した宿泊療養施設の体制構築に向けた対応
  - ・緊急事態措置期間における休業要請等に応じていない施設の数
  - ・要請に応じない施設への具体的な指導内容
  - ・要請に応じない事業者に対する今後の取組
  - ・北海道総合計画における医療提供体制について、抜本的強化を図るといった方向性を明確に打ち出すべきとの考えに対する見解
  - ・感染症に対応する病床数の大幅な拡充の必要

性への見解

- ・医療資器材等の生産能力や備蓄確保の取組を北海道総合計画に盛り込むことへの見解

2 ヤングケアラー等への支援について

- ・実態調査の概要と支援の在り方などの検討の方向性
- ・ケアラーが抱える課題
- ・有識者会議の構成と第1回会議の議題などの考え方
- ・実態調査の内容と実施方法
- ・今後の取組

等について

**壬生 勝則委員（民主）** から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・緊急事態宣言期間における飲食店への見回りの取組状況と違反事例件数
- ・まん延防止等重点措置の特定措置区域における見回り体制と取組状況
- ・不公平感を解消し要請に応じてもらうための取組への所見
- ・違反店舗に目に見える形の強い対応を行うことに対する所見
- ・職域接種申請の一時休止によりワクチン接種の推進に影響が生じないよう対応することへの所見
- ・ワクチン優先接種の指標を示すことへの所見
- ・道直営の集団接種会場の期間延長や拡大への所見
- ・コロナ禍における母子世帯の困窮実態の把握方法と具体的な支援策
- ・活動休止や廃業した子ども食堂の数とこうした状況に至った背景への認識
- ・子どもの貧困対策に取り組むNPO団体等が活動を継続していくための支援方法
- ・NPO団体等が行う感染防止対策への支援方法とその周知の方法及び申請と給付の状況
- ・「第二期 北海道子どもの貧困対策推進計画」の現下の状況を踏まえた見直しへの所見

等について

**大越 農子委員（自民）** から、

1 地域枠制度について

- ・各医育大学別の貸付枠と過去3年間の貸付実績及び本年度の貸付状況
- ・地方勤務医の3次医療圏別の配置状況及び「前期地域勤務」と「後期地域勤務」の勤務医の

## 内訳と配置の考え方

- ・大学独自の地域枠制度の内容と期待される効果
- ・今後の取組

## 2 児童虐待について

- ・過去3年間の虐待事案のうち身体的虐待の発生件数及び全体に占める割合
- ・C D Rの取組の内容
- ・道内の子どもの死亡要因別の状況
- ・国が実施するC D Rの取組内容及びモデル事業の状況
- ・これまでのC D Rの取組状況及び国のモデル事業の活用への見解
- ・今後の取組

## 3 自殺対策について

- ・男女別の自殺者の推移
- ・自殺の要因とその推移
- ・S N Sを活用した相談事業の進捗状況
- ・今後の取組

等について

### 藤川 雅司委員（民主）から、

#### 1 ケアラーへの支援について

- ・ヤングケアラーの支援に向けて今後取り組むべきとされた施策が、決定されるまでの国議論の経過及びその内容
- ・道内でお年寄りが2人で暮らしている世帯の割合と全国との比較
- ・介護が必要なお年寄りに対する支援の状況
- ・支援施策を検討するための実態調査の実施内容
- ・今後の取組

等について

### 赤根 広介委員（結志）から、

#### 1 ケアラー対策について

- ・市町村の要保護児童対策地域協議会登録ケースにおけるヤングケアラー該当事案の件数と事案への対応状況
- ・現状の課題認識と家族介護者数の推移
- ・実態調査に対する見解
- ・有識者会議の役割と立ち上げに向けた見解
- ・支援体制の構築に当たっての考え方
- ・早急に支援すべきとの考え方に対する対応
- ・シンポジウムの開催時期
- ・支援条例の制定や支援計画の策定に向けた取組及びそのスケジュール

## 2 新型コロナウイルス感染症について

- ・北海道ワクチン接種センターと自治体との連携上の問題の有無及び接種実施状況と課題
- ・予約率の改善状況とセンター開設後第2週目の予約率
- ・空いている予約状況の活用方法
- ・キャンセルされたワクチンの接種進捗状況
- ・計画的な接種の取組方法とセンターの当面の運用方法及び今後の在り方
- ・医療従事者及び高齢者の接種率
- ・優先接種の拡大に対する考え方
- ・接種の加速化に向けた課題認識と対処方法
- ・道内の高齢者施設での検査実績と全国との比較
- ・道分の検査結果
- ・J R札幌駅での試行的P C R検査の実施結果及び新千歳空港でのモニタリング検査で得られた成果の活用方法
- ・往来の際の対策強化への考え方及び今後の取組
- ・検査体制の強化に向けた今度の取組
- ・緊急事態宣言に至る事態となったことへの受け止め及び要因分析
- ・療養施設入所調整者の各圏域ごとのピーク数と施設での療養実績
- ・宿泊療養施設の稼働率向上に向けた認識と対応
- ・コロナウイルスに感染した障がい者に対する適切な支援体制づくりに係る要望書への受け止め
- ・病床使用状況の公表の在り方に対する意見内容と今後の取組
- ・医療提供体制等の一層の確保に向けた取組

等について

### 阿知良 寛美委員（公明）から、

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・変異株に対する万全な対応への所見
- ・医療提供体制の確保方法
- ・宿泊療養施設の効率的運用に対する所見
- ・3次医療圏ごとの入院患者数公表に対する所見
- ・自宅療養者に対する支援体制の確保方法
- ・高齢者に対するワクチンの接種状況
- ・高齢者接種の完了に向けた取組
- ・広域的な接種体制の構築に対する所見

- ・医療従事者の確保に向けた取組の必要性に対する所見
  - ・障がいのある方々への支援に対する所見
  - ・道独自の集団接種会場における本格的なワクチン接種に向けた体制構築への所見
- 2 ヤングケアラー等への支援について
- ・実態調査の内容
  - ・有識者会議の役割と委員の構成及び人数
  - ・今後の取組
- 等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監、地域医療推進局長、健康安全局長、感染症対策局長兼感染症対策課長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、感染症対策局次長、感染症対策局医療体制担当局長、感染症対策局地域支援担当局長、福祉局障がい者支援担当局長、総務課政策調整担当課長、地域医療課長、医務薬務課長兼感染症対策課参事、感染症対策課感染症予防対策担当課長、感染症対策課医療体制担当課長、感染症対策課療養体制担当課長、地域福祉課法人運営担当課長兼感染症対策課参事、障がい者保健福祉課長、障がい者保健福祉課精神医療担当課長、高齢者保健福祉課介護運営担当課長、子ども子育て支援課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。
- 3 地球温暖化防止対策条例の見直しにおける前文の取扱い
- 4 見直しの対象となる条項と課題
- 5 見直し等の取組
- 3 循環税事業について
- ・事業の実績と効果
  - ・これまでの実施状況を踏まえた課題と今後の検討の方向性
  - ・補助申請手続に係る小規模事業者へのサポートに対する所見
  - ・温室効果ガスの排出削減やプラスチックの資源循環の分野における事業状況と新たな観点での見直しの検討状況
  - ・産業廃棄物処理事業者への支援に対する所見
  - ・北海道らしい循環型社会の形成に向けた今後の取組
- 4 東京オリンピックについて
- ・大会組織委員会への感染防止対策の徹底要請に対する所見と大会組織委員会における感染症対策に反映させるための取組
  - ・5者会議における知事の発言内容
  - ・路上競技における観客の取扱い
- 等について

**藤川 雅司委員（民主）** から、

- 1 人権施策について
- ・北海道人権施策推進基本方針の見直しの特徴
  - ・道の施策への反映方法及び施策等推進に係る組織体制
  - ・テレビにおけるアイヌに対する差別発言に対する対応と道や関係団体から助言することに対する所見
  - ・新型コロナウイルス感染症の感染者や医療従事者に対する差別の状況及び対応状況並びに人権侵害は行わない旨の宣言に対する所見
- 2 ゼロカーボン北海道について
- ・道としての取組及び各部の計画や事業などの反映方法
  - ・CO<sub>2</sub>排出抑制に係る対策
  - ・道内における家庭用蓄電池の普及状況と促進の取組
- 3 オリンピックにおける感染防止対策について
- ・大会組織委員会への要請の概要と大会組織委員会からの回答の内容
  - ・大会ボランティアなどの関係者の感染防止対策等に対する所見

- ・大会期間中の医療・検査体制状況及び通常医療への影響に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部東京オリンピック連携推進監、くらし安全局長、東京オリンピック連携局長兼競技開催支援担当局長、環境局グリーン戦略担当局長、環境局自然環境担当局長、気候変動対策課長、気候変動対策課ゼロカーボン担当課長、気候変動対策課気候変動適応担当課長、自然環境課動物管理担当課長、道民生活課長兼青少年担当課長、東京オリンピック連携課長及びアイヌ政策課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○ 6月28日（月） 開議 午後1時1分  
散会 午後4時48分  
第2委員会室  
第1分科委員長  
菅原 和忠（民主）

#### ① 環境生活部所管に対する質疑を継続し、

**星 克明委員（自民）** から、

- 1 ごみ処理の広域化について
  - ・市町村との協議による取組の状況
  - ・地域課題と対応策
  - ・市町村との連携方針
  - ・ゼロカーボン北海道の実現を踏まえた対応方針
  - ・新たな計画の策定の考え方
- 2 北海道・北東北の縄文遺跡群について
  - ・イコモスの勧告概要と必要な課題への対応方法
  - ・今回の世界遺産委員会の審議内容とスケジュール
  - ・世界遺産登録後の遺跡群の活用方針
- 3 動物愛護管理業務の在り方について
  - ・動物愛護管理業務の在り方検討会議の目的と構成員
  - ・検討会議における議論の概要
  - ・今後の検討会議のスケジュール
  - ・検討会議の議論を踏まえた取組
- 4 北海道百年記念塔について
  - ・道内の歴史文化施設を活用するための基準の有無及び基準がない場合における平等性に対する所見
  - ・解体に値するほどの危険度に対する考え方
  - ・毎年の維持管理費用及び大規模改修時の想定費用とその目的や改修内容

- ・解体に対する民意の反映への見解
- ・今後の対応

等について

**滝口 信喜委員（結志）** から、

- 1 福島県汚染廃棄物対策地域内の高濃度P C B廃棄物の処理について
  - ・処理施設が室蘭市に選定された経過及び住民への説明会の開催状況並びに不安や懸念・課題への対応方針に係る市民への具体的な提示方法
  - ・北海道P C B廃棄物処理事業監視円卓会議の位置づけ
  - ・円卓会議における受入れ可否の判断
  - ・環境保全協定の内容及び改定状況と処理施設内における重大インシデント及びトラブル事象並びに環境モニタリングの測定結果の状況
  - ・今後処理されるP C B廃棄物の数量及び道内におけるP C B廃棄物の具体的な掘り起こしの方策並びに20都道県におけるP C B廃棄物の処理期限後の処理と保管体制
  - ・処理期限を過ぎた機器の保管の在り方及びその監視方法
  - ・道内への搬入に係る環境省からの協議内容とその対応及び環境省に対する確認と要望事項並びに環境省からの回答に対する今後の対処方針
  - ・円卓会議での具体的な協議内容と市民不在との批判への説明
  - ・高濃度P C B廃棄物の道内への搬入事例の有無
  - ・受け入れる廃棄物の安全性の確認が最優先されるべきとの考え方に対する見解及び環境省が求める搬入時期に柔軟に対処すべきとの考えに対する見解
  - ・室蘭市議会における答弁に係る認識
  - ・道には新たな問題という認識の上に立った対応を求めたいとの認識に対する見解
  - ・立入り制限地域に保管されているP C B廃棄物の表面汚染密度を測定すべきとの考え方に対する見解及び保管状況並びに復興の妨げとされている保管面積
  - ・保管場所の現地確認の有無
  - ・保管されているP C B廃棄物の表面汚染密度の最大値及び保管場所からの搬出時と室蘭市への搬入時に実施する放射線量の測定に道と

- 室蘭市が立会い安全を確認すべきとの考えに対する見解
- ・原子力発電所敷地内における高濃度P C B廃棄物の有無及び原子力事業者による処理方法の確立状況並びに室蘭市へ搬入されるおそれの有無
  - ・原子力発電所敷地内の高濃度P C B廃棄物の持出しがないことの国への確認
  - ・搬入される廃棄物が増加する可能性及び処理期間が延長される可能性
  - ・高濃度P C B廃棄物の増加に伴う処分期間の延長の有無
  - ・作業員への説明方法と残渣の処分方法及び室蘭市や道による抜き打ち調査の実施の有無
  - ・廃棄物の搬入に係る安全性の担保及び住民からの信頼の確保に係る見解
  - ・円卓会議と住民説明会の開催の見通し及び住民説明会の開催に係る周知期間と開催要領
  - ・受入れの判断に係るプロセス及び受入れの可否に係る対応
- 2 北海道百年記念塔について
- ・これまでの管理の在り方と管理責任
  - ・道の維持管理に係る認識
  - ・解体もやむを得ないとされた議論の経過及び保存に向けた検討や議論の経過
  - ・大規模改修の内容と経費の算定
  - ・解体後に設置する新たなモニュメントに係るこれまでの検討経過と今後の進め方
  - ・予算措置された各事業の進捗状況
  - ・記念塔の設計者に対する説明の状況
  - ・解体に反対する方々への対応と解体に反対する方々の最近の動きに対する受け止め
  - ・解体に係る今後の対応
- 等について
- 藤沢 澄雄委員（自民）**から、
- 1 男女共同参画について
    - ・ジェンダー平等及びジェンダーフリー並びにジェンダーレスの定義
    - ・ポリティカル・コレクトネスに係る見解
    - ・L G B T法案に係る見解、機会の平等と結果の平等の観点に係る見解
    - ・ポジティブアクションの事例
    - ・ジェンダー平等に対する取組と課題
    - ・道内及び道庁内の旧姓の通称使用に係る実態と課題
  - ・知事部局における旧姓の通称使用数
  - ・旧姓の通称使用に係る現状と課題に対する認識
  - ・道所管分野における旧姓の通称使用の改善経過と認められない事項
  - ・戸籍制度の役割と別氏導入の必要性
  - ・民法改正に係る地方議会での議論の必要性に係る見解
- 等について
- 阿知良 寛美委員（公明）**から、
- 1 アイヌ文化の振興について
    - ・ウポポイにおける新型コロナウイルスの蔓延防止対策
    - ・ウポポイの入場実績
    - ・ウポポイへの誘客促進の対応方法
    - ・ウポポイ来訪者の道内各地域への波及の取組
    - ・魅力発信に向けた取組及びアイヌの歴史・文化への理解促進
  - 2 知床世界自然遺産について
    - ・利用者数の推移
    - ・知床世界自然遺産条例に基づく取組内容
    - ・普及啓発に向けた取組及び今後の取組
- 等について
- 赤根 広介委員（結志）**から、
- 1 ゼロカーボン北海道について
    - ・脱炭素モデル地域構築調査検討事業の進捗状況と今後の見通し
    - ・ゼロカーボン北海道推進協議会で必要とされる部会と検討結果の施策への反映方法
    - ・北海道気候変動対策推進本部における懇話会と協議会の発展的な統合及び両会の統合に係る所見
    - ・推進本部へ報告される検討結果を全庁的な政策への反映につなげるための基本的な認識
    - ・ゼロカーボンパークの登録に係る見解
    - ・国が示すC O <sub>2</sub>削減目標の達成に向けた取組
    - ・北海道地球温暖化防止対策条例の見直しに向けた取組
  - 2 オリンピック・パラリンピックについて
    - ・マラソンテスト大会の検証手法と検証結果及び検証結果に対する受け止め
    - ・関係機関による検証の場で伝えた具体的な内容
    - ・マラソンや競歩で想定される最悪の事態に係る認識

- ・マラソンテスト大会の検証結果を踏まえた準備状況と具体的な改善点
- ・道が持つ多様な魅力の発信と子どもたちがスポーツの力を体感する機会の創出への対応方法
- ・新型コロナウイルスの感染対策をまとめたブレーブックに対する見解
- ・大会関係者の来道者数と行動管理
- ・道内で開催される競技に参加する国外からの選手の来道のスケジュール及び検疫体制並びに移動手段
- ・道内ホストタウンの受入れ状況と受入れマニュアルの策定状況
- ・新千歳空港における一般利用者と五輪関係者の受入れを分離することを組織委員会へ提案することに係る見解
- ・道内で活動する大会関係者のワクチン接種状況
- ・マラソンや競歩コースの沿道に立入禁止空間を設けるなどの感染対策への見解と大会の成功を図るための取組

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部東京オリンピック連携推進監、環境生活部アイヌ政策監、環境局長、くらし安全局長、文化局長、アイヌ政策推進局長、環境局グリーン戦略担当局長、環境局自然環境担当局長、循環型社会推進課長、循環型社会推進課環境保全担当課長、気候変動対策課長、気候変動対策課ゼロカーボン担当課長、自然環境課動物管理担当課長、自然環境課自然公園担当課長、道民生活課女性支援室長、文化振興課長兼アイヌ政策課歴史文化担当課長、文化振興課縄文世界遺産推進室長、東京オリンピック連携課長及びアイヌ政策課象徴空間担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。議事進行の都合により散会。

**○ 6月29日（火）** 開議 午前10時  
閉会 午後4時15分  
第2委員会室  
第1分科委員長  
菅原 和忠（民主）

- ① 総合政策部所管に対する質疑**に入り、  
**桐木 茂雄委員（自民）**から、
- 1 まん延防止等重点措置について
    - ・酒類を提供している飲食店の法令遵守の状況を確認するための具体的な方法

- ・イベント開催要件等の事前相談の実施方法やその方法を明確にすることに対する見解
- ・実効性確保に向けた今後の取組

## 2 新型コロナウイルス感染症対策の検証について

- ・検証開始と結論までの実施時期及び実施者
- ・検証の狙いや検証範囲と重点項目
- ・第4波への対策が後手に回ったと報じられた対応に係る検証
- ・感染拡大の際にステージ引上げを行わなかつたことに対して検証対象とすべきとの考えに対する見解
- ・大学等の専門的な知見の活用など、道の取組の基本的な考え方を検証の対象に加えることに対する見解
- ・札幌市との関係における課題の検証の必要性に対する見解
- ・特措法に基づく知事要請の実効性の検証に対する見解
- ・今後の対策や国への要望への反映方法

## 3 北海道総合計画の改訂について

- ・道民意向調査などで寄せられた意見の内容
- ・計画部会における議論内容
- ・「危機に対する強靭な社会の構築」「北海道の真価の發揮」「社会の変革への挑戦」の三つの視点から導き出した政策内容
- ・中期的な推進方向を踏まえた今後展開する国際関連施策
- ・デジタル化の推進力となる人材の育成と確保を計画の目標として盛り込むことへの見解
- ・幅広い方々の取組も視野に入れたワーケーションの積極的な指標設定の検討に対する見解
- ・今後の進め方

## 4 北海道過疎地域持続的発展方針について

- ・本道における過疎地域の現状と認識
- ・これまでに実施した対策事業の具体的な内容と対策による成果の内容
- ・新たな過疎法と旧過疎法の目的や制度の変更点
- ・今後の過疎地域の在り方の認識
- ・過疎地域持続的発展計画の推進や策定に向けた考え方
- ・持続可能な地域づくりに向けた対応

等について

**壬生 勝則委員（民主）**から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
    - ・新しい旅のスタイルに対する道民意見の受け止め
    - ・新しい旅のスタイルにより人流が拡大したと認めるべきとの考えに対する見解
    - ・まん延防止等措置適用地域の設定の経過と根拠
    - ・札幌市と他地域で時短営業の時差を設定した根拠
    - ・追加検証の実施時期と内容
    - ・要請期限の7月11日前の措置解除に係る所見
  - 2 交通政策について
    - ・観光列車の使用計画についてJR北海道と実施している対応
    - ・事業範囲の見直しの変更に係る所見
    - ・黄色線区維持のため沿線自治体に相応分の負担を求めるJR北海道の姿勢に対する所見
- 等について

**滝口 直人委員（自民）から、**

- 1 交通政策について
    - ・第三セクターで鉄道事業を運営した場合の初期投資額算定の考え方
    - ・初期投資額や収支の精査に向けた現時点の検討状況
    - ・余市一小樽間における道と関係市町村や交通事業者との個別協議の今後の進め方
    - ・長万部一小樽間の沿線自治体との協議の今後の進め方
  - 2 生活路線バスについて
    - ・地方バス路線の実態に対する認識
    - ・コロナ禍における乗り合いバス事業の収支などの影響把握
    - ・コロナ禍における路線の維持確保に向けた支援
    - ・バス運転手の確保に向けた対策
    - ・地方バス路線の維持確保
  - 3 北海道Society5.0推進計画について
    - ・慶應義塾大学村井教授の顧問就任の狙いや人選の考え方
    - ・顧問の具体的業務内容
    - ・道の顧問として活動する上での制約や利益相反関係に対する認識
    - ・データセンター等の誘致に向けた取組
    - ・今後の行政のデジタル化推進の考え方
- 等について

**藤川 雅司委員（民主）から、**

- 1 知事のワクチン接種について
    - ・知事や危機管理担当部門の職員における早期のワクチン接種
- 等について

**赤根 広介委員（結志）から、**

- 1 新型コロナウイルス感染症について
  - ・対策本部会議の簡易的な形式での開催に対する見解
  - ・具体的な改善内容
  - ・まん延防止等重点措置の国への要請時期の所見
  - ・対策の評価と分析
  - ・国への要請が5月5日になった理由
  - ・検討協議に時間を要した理由
  - ・要請までに時間を要した理由
  - ・道の警戒ステージの運用やモニタリング指標の強化への取組状況
  - ・まん延防止等重点措置内容に対する考え方と判断基準
  - ・まん延防止等重点措置の解除に対する考え方
  - ・有識者会議の開催状況
  - ・会議の開催状況
  - ・4か月余り開催されていない理由
  - ・検証の方法とスケジュール及び第三者を加えるべきとの考え方に対する見解
  - ・地域公共交通事業者臨時支援事業の事業構築の背景と事業内容や効果
  - ・対象経費の拡大に対する認識
  - ・今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部次世代社会戦略監、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、計画局長、国際局長、次世代社会戦略局長、地域創生局長兼官民連携推進室長、交通政策局長、交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長、政策局参事、計画推進課長、デジタルトランスフォーメーション推進課長、地域政策課長兼胆振東部地震災害復興支援担当課長、地域政策課移住交流担当課長、交通企画課地域交通計画担当課長、交通企画課鉄道企画担当課長及び交通企画課並行在来線担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

**② 総務部所管に対する質疑に入り、**

**三好 雅委員（自民）から、**

- 1 大学との連携について
  - ・協議体の構成や協議内容及び役割を含めた具

体的な在り方

- ・協議体の設置時期及び設置期間
- ・感染症対策への北大の研究機能の活用に向けた考え方
- ・感染症への効果的な対策を検討する上で様々な分野の研究者の協力を得ることへの見解
- ・北大以外の道内大学との連携状況
- ・他大学との連携の一層の強化に向けた見解
- ・今後の対応

## 2 財政課題への対応について

- ・財政調整基金の残高及び過去5年間の同時期との比較
- ・過去5年間の第2回定例会後から年度末までの財政調整基金の活用実績
- ・財政調整基金のさらなる確保に向けた取組
- ・国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の見直し内容に対する認識
- ・国の財政支援措置引下げへの対応
- ・経済財政運営と改革の基本方針2021の内容と昨年度との比較
- ・行財政運営の基本方針に掲げている令和4年度以降の対策の検討の進め方

## 3 内部統制について

- ・評価報告書の作成の進め方と議会への提出時期
- ・評価報告書に記載する評価手続の具体的な内容
- ・評価報告書に記載する「不備の是正に関する事項」の不備の内容及び当該事項の記載内容
- ・令和2年度に発生した不備の発生状況と受け止め及び不備が発生した場合の対応
- ・重大な不備の発生を把握した年度の評価報告書における再発防止策の記載及び公表に対する見解
- ・令和2年度の不備の発生状況を踏まえた改善点や今年度の運用
- ・今後の取組

## 4 津波浸水想定について

- ・新たに検討するに至った経緯や津波浸水想定の内容
- ・国の浸水想定との違いが生じた背景
- ・今後の市町村の津波対策の取組と支援
- ・市町村の津波対策の促進や住民の危機意識の向上に向けた取組

等について

**壬生 勝則委員（民主）** から、

## 1 財政健全化について

- ・コロナ対策に要する国の財源措置への認識と財源確保に向けた今後の取組
- ・実質公債費比率の抑制に向けた取組内容
- ・財政調整基金の必要残高と確保に向けた目標設定の有無
- ・財源確保策などを盛り込んだ收支対策の検討に向けた取組

## 2 津波防災対策について

- ・地震専門委員会における津波浸水想定の承認スケジュール
- ・津波避難対策の取組

## 3 道の海外事務所における職員の安全確保について

- ・海外事務所における新型コロナウイルス感染症の感染状況の把握と認識
- ・当該国の医療提供体制の状況と職員の感染や入院の有無
- ・当該国のワクチン接種状況や職員のワクチン接種状況
- ・当該国や当該地域の新型コロナウイルス感染症検査体制や職員のPCR検査実績
- ・職員の帰国や赴任における安全安心対策

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

## 1 テレワークの活用について

- ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間における道職員の出勤抑制等の取組
- ・これまでの出勤抑制と分散出勤の実績や在宅勤務の実施状況
- ・緊急事態措置の期間における出勤抑制の結果の評価と今後の取組
- ・今後の職場環境づくりの取組

等について

**藤川 雅司委員（民主）** から、

## 1 道職員のワクチン接種について

- ・感染症対策や危機管理を担う職員への早期のワクチン接種

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、総務部危機管理監、総務部次長兼行政局長、人事局長、財政局長、教育・法人局長、危機対策局長、改革推進課長、人事課職員活躍担当課長兼人事局参事、職員厚生課長、財政課長、財政課資金担当課長、総合教育推進課長及び危機対策課防災教育担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

## 第 2 分 科 会

○ 6月23日（水） 開会 午後4時50分

散会 午後4時58分

第3委員会室

第2分科委員長

丸岩 浩二（自民）

① 分科委員長に丸岩浩二委員（自民）、分科副委員長に中川浩利委員（民主）を選出。

② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。

③ 理事に、植村真美委員（自民）、渕上綾子委員（民主）、白川祥二委員（結志）、田中英樹委員（公明）を選出。

○ 6月25日（金） 開議 午前10時2分

散会 午後5時59分

第3委員会室

第2分科委員長

丸岩 浩二（自民）

① 建設部所管に対する質疑に入り、

**植村 真美委員（自民）** から、

1 建設産業の担い手対策について

- ・これまでの取組状況
- ・道内建設産業の現状
- ・担い手不足の解決に向けた教育機関や建設団体等との連携
- ・今後の取組

2 北方型住宅2020について

- ・従来の北方型住宅との違い
- ・省エネ性能
- ・道民への普及に向けた取組
- ・ほっかいどう住宅フェア2021の内容
- ・高性能な住宅を建設する場合の建設費
- ・建設に当たっての支援制度
- ・ZEHの技術開発
- ・ゼロカーボン北海道の実現を図るための今後の取組

3 幾春別川総合開発事業について

- ・適切な事業監理による総事業費の減額方法
- ・事業効果の早期発現方法
- ・事業執行状況に関する情報発信
- ・マネジメント委員会の概要
- ・事業の執行状況の透明化を図るための情報提供の方法
- ・事業の透明性の確保に向けた今後の取組

等について

**木葉 淳委員（民主）** から、

1 道立公園の利用や整備について

- ・野幌総合運動公園のコロナ禍における利用者数
- ・利用料金収入及び營繕の状況
- ・道と指定管理者の營繕分担
- ・収入確保策の検討経過と現状
- ・今後の整備の見通し

等について

**白川 祥二委員（結志）** から、

1 ゼロカーボン北海道の実現について

- ・北の住まいのタウンの推進に向けた検討協議会と道の役割
- ・北方型住宅の変遷と助成制度
- ・公営住宅整備の今後の取組
- ・ゼロカーボン北海道への貢献

等について

**渕上 綾子委員（民主）** から、

1 道営住宅について

- ・北海道営住宅条例の入居者排除規定
- ・他の自治体で同性カップルの入居を認めた場合に問題となった事例
- ・他の都府県の状況
- ・条例の解釈方法
- ・札幌市内の道営住宅における同性パートナーの入居の検討

2 空き家問題と相続に関する課題について

- ・相続登記の状況と意識啓発の取組
- ・相談会の開催による相続手続の推進
- ・相続手続に係る費用に対する補助制度
- ・相続人を特定するための固定資産税情報の活用
- ・空き家の解体費用に対する補助制度
- ・課題への取組

3 ZEB・ZEHについて

- ・普及目標

- ・高気密・高断熱住宅におけるカーボン排出量の試算
- ・建物の太陽光発電パネル設置の目標設定
- ・ナッジ理論による普及

等について

**田中 英樹委員（公明）から、**

- 1 道立広域公園の整備について
  - ・コロナ禍における利用者数の推移
  - ・既存公園の課題
  - ・新規道立公園の整備の進め方
- 2 道における流域治水の取組について
  - ・流域治水の目的
  - ・流域治水の推進方法
  - ・流域治水プロジェクトの策定
  - ・1級水系及び2級水系における取組
  - ・今後の治水対策

等について

**宮川 潤委員（共産）から、**

- 1 幾春別川総合開発事業等について
  - ・当初計画及び変更案
  - ・これまでの知事意見
  - ・今回の意見案に追加した「適切な事業の監理」の内容
  - ・今回の提案に至るまでの間に開催された開発局と道との会議数及び道からの提案により変更した事例の有無
  - ・コスト縮減
  - ・これまでの知事意見の結果
  - ・議会の議決を経た知事意見を軽んじることの違法性
  - ・今後の見通し
- 2 道営住宅について
  - ・白樺、栄通、宮下東の3団地の問題の概要と対応
  - ・指定管理者における苦情対応
  - ・指定管理者と振興局等の間の報告と指示
  - ・指定管理者、振興局、本庁等の役割分担
  - ・指定管理者への指導等の今後の対応
  - ・改善工事の内容と計画策定
  - ・同性パートナーの入居状況
  - ・条例上の取扱い
  - ・入居資格への対応

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建設部建築企画監、建設政策局長、土木局長、まちづくり局長、住宅局長、建設政策局建設業担当局長、建設政策課交通基盤担当課長、建設管

理課建設業担当課長、河川砂防課長、都市環境課公園下水道担当課長、建築指導課長、住宅課長及び住宅課住宅管理担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

**② 水産林務部所管に対する質疑に入り、**

**植村 真美委員（自民）から、**

- 1 北森カレッジの取組について
  - ・インターンシップなど地域のサポート体制
  - ・就職先の確保に向けた取組と業界からの反応
  - ・第1期生の就業活動に対する取組
- 2 道産木材の安定供給について
  - ・輸入材の高騰や輸入量の減少の要因に対する認識及び輸入製材の道内港への入荷量
  - ・トドマツとカラマツの道産材の出荷量と原木の在荷量
  - ・原木の安定供給に向けた取組
  - ・道産建築材の割合の推移及び利用拡大に向けた課題
  - ・今後の取組
- 3 HOKKAIDO WOODのブランド化について
  - ・目指す姿
  - ・これまでの取組
  - ・コロナ禍におけるプロモーション活動と今後の進め方
  - ・ブランド化に向けた今後の取組
- 4 森林施業の低コスト化について
  - ・これまでの取組と課題
  - ・コンテナ苗の利用状況や普及に向けた課題及び今後の取組
  - ・植林作業等の省力化に向けた今後の取組
  - ・効率化に向けた今後の取組
- 5 企業と連携した森林づくりについて
  - ・ほっかいどう企業の森林づくりの取組内容と実績
  - ・カーボンオフセットの取組内容と実績
  - ・森林吸収源対策の加速に向けた今後の取組

等について

**木葉 淳委員（民主）から、**

- 1 道民の森の利活用について
  - ・地区別の利用状況
  - ・青山ダム地区及び牧場南地区の活用状況及び今後の取組
  - ・学校などの団体客の学習プログラムの利用状

## 況及び予約状況

- ・森林体験活動の充実に向けた進捗状況
  - ・ワーケーションの場として利用する取組の進捗状況や今後の見通し
- 2 北森カレッジについて
- ・今年度の入学状況
  - ・コロナ禍における学びへの影響を抑制する取組
  - ・卒業生の進路

等について

### **村田 光成委員（自民）から、**

#### 1 魚類養殖について

- ・国内外の海面魚類養殖の生産状況及びサケ類の生産状況
- ・道内におけるこれまでの取組と定着しなかった要因
- ・道内における新たな事業概要と取組状況
- ・養殖適地の確保に向けた考え方
- ・魚類養殖事業の採算性の確保
- ・魚類等養殖事業化推進会議の概要と検討内容
- ・増養殖技術の開発や事業化に向けた今後の取組

#### 2 不漁問題について

- ・不漁問題に関する検討会の報告書における魚種別の不漁要因と漁業への影響の分析の概要及び今後の施策の方向性
- ・道内の秋サケの不漁要因と漁業への影響に対する認識
- ・これまでの取組と検証方法
- ・検討会での対策の方向性と今後の取組
- ・国の不漁問題に対する今後のスケジュールと対応の考え方

等について

### **中川 浩利委員（民主）から、**

#### 1 ブルーカーボンについて

- ・二酸化炭素吸収源としても大いに期待できる藻場、干潟の整備を進めるべきとの考えに対する所見

#### 2 漁業・漁村の振興に係る課題について

- ・本道漁業における安全操業への取組
- ・近年の拿捕状況と対応及び再発防止策
- ・改正漁業法における資源評価
- ・魚価安等の状況下における魚類養殖への取組

等について

### **宮川 潤委員（共産）から、**

## 1 温暖化対策と木質資源の活用について

- ・2050年及び2030年における森林吸収量の見込み
- ・道内の森林吸収量の算定対象面積と算定対象に必要な条件
- ・木質ペレットやチップを燃料とするボイラー及びストーブの普及状況
- ・木質バイオマスの地産地消に対する所見と供給
- ・流通上の課題
- ・木質バイオマスの地域利用に向けた考え方
- ・林地未利用材の発生量及び利用量
- ・木質バイオマスの焼却灰の発生量と活用方法及び今後の取組

## 2 水産業をめぐるロシアとの問題等について

- ・第百七十二榮宝丸の拿捕の経過
- ・拿捕の事例と理由
- ・第百七十二榮宝丸の操業場所
- ・漁業者等への注意喚起と国に対する要請
- ・根室海峡周辺海域におけるロシアによる洋上見学の内容と操業への影響
- ・これまでの洋上見学による影響状況
- ・道及び国の取組と今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課企画調整担当課長、水産経営課水産支援担当課長、水産振興課長、漁業管理課長、漁業管理課サケマス・内水面担当課長、漁業管理課国際漁業担当課長、林業木材課長、林業木材課木材産業担当課長、林業木材課林業振興担当課長、森林計画課長、森林整備課長、森林活用課長及び道有林課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

## ③ 農政部所管に対する質疑に入り、

### **村田 光成委員（自民）から、**

#### 1 米の消費拡大について

- ・北海道米の在庫量
- ・消費拡大の取組の評価と課題
- ・米の在庫増加に伴う3年産米の集荷に向けた倉庫の対応
- ・3年産米の価格や4年産米の生産への影響と対応
- ・今後の北海道米の消費拡大

#### 2 北海道における花きの振興について

- ・本道の生産の動向とコロナ禍における影響

- ・生産、流通、消費に関する課題と対応
  - ・北海道花きの振興に関する条例の制定後の対応
  - ・今後の取組と条例で設けた8月7日花の日の定着に向けた取組
- 3 スマート農業の推進について
- ・国の実証事業の活用及び取組内容
  - ・道独自の取組及び成果
  - ・導入に向けた推進体制と課題
  - ・今後の取組
- 4 農畜産物等の輸出拡大について
- ・道内港からの輸出額の状況
  - ・国の実行戦略や輸出重点品目の産地リストの概要
  - ・産地リストに掲載されている道内の産地状況
  - ・産地支援のための事業の活用方法
  - ・今後の輸出拡大の取組
- 等について
- 木葉 淳委員（民主）**から、
- 1 道産花き産業支援について
    - ・生産・消費状況の推移
    - ・コロナ禍での生産・消費の現状
    - ・生産者・販売事業者に対する支援と今後の取組
- 等について
- 佐藤 植洋委員（自民）**から、
- 1 農業分野におけるカーボンニュートラルの実現について
    - ・農業分野における温室効果ガスの排出や吸収に対する現状認識
    - ・製造時に多くのエネルギーを使用する化学農薬や化学肥料の使用状況及び化学農薬や化学肥料の低減を図るため、環境負荷低減型農業の推進に向けた取組
    - ・クリーン農業の拡大などの考え方を総合計画に盛り込むことに対する見解
    - ・本道農業の生産力向上と持続性を両立する生産システムの構築に向けた取組
  - 2 有機農業について
    - ・有機農業の取組の状況と課題
    - ・生産現場での取組が伸び悩み、消費拡大が進まない要因に対する認識
    - ・みどりの食料システム戦略の目指す姿と指標の受け止め
    - ・次期計画の策定に当たっての基本的な考え方
- ・有機農業の推進に向けた取組
- 3 民間企業の農業参入について
- ・養父市の試験的事業の成果及び国の今後の対応
  - ・道内におけるこれまでの参入状況
  - ・「企業連携・農業法人化サポートデスク」に寄せられた相談件数や相談内容及びサポートデスクを通じた具体的な取組
  - ・企業が農業に参入する上での課題の認識
  - ・民間企業の農業参入の推進に係る所見
- 4 農業農村整備事業の着実な推進について
- ・農業農村整備に対する取組及び整備の実績
  - ・これまでの基盤整備の取組の効果及び効果の測定方法
  - ・農業水利施設の機能の維持・保全に向けた取組及び課題
  - ・パワーアップ事業を有効に活用するための考え方及び推進に係る所見
  - ・地域から多くの整備要望が寄せられている大区画化や、排水改良、農業水利施設の整備に対する今年度の見通し
  - ・時代のニーズを的確に把握し、計画的に基盤整備を進めていくための取組

等について

**渕上 綾子委員（民主）**から、

- 1 北海道果樹農業振興計画の実現について
  - ・多様なニーズに対応した高品質果実・加工品の安定生産に向けた推進方法
  - ・担い手の確保と経営の安定に向けた推進方法
  - ・道産果実についての情報発信及び6次産業化の推進による需要の拡大に向けた推進方法
  - ・6次産業化・高付加価値化に向けた推進方法
  - ・道産食品独自認証制度の活用と取組に対する決意

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部食の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、生産振興局技術支援担当局長、農政課政策調整担当課長、食品政策課長、食品政策課6次産業化担当課長、農産振興課水田担当課長、農産振興課園芸担当課長、技術普及課長、農業経営課長、農地調整課長、農村設計課長、農業施設管理課指導管理担当課長、農村計画課長及び農地整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○6月28日（月） 開議 午後1時2分  
散会 午後5時45分

第3委員会室  
第2分科委員長  
丸岩 浩二（自民）

- ・JR路線見直しによる影響
- ・JR便とトラック便との比較
- ・今後の取組

① 農政部所管に対する質疑を継続し、  
**白川 祥二委員（結志）**から、

1 農業振興について

- ・トマトの受粉方法と課題
- ・花粉交配用昆虫の利用実態
- ・有機栽培のトマトの面積
- ・利用可能な在来種
- ・エゾオオマルハナバチの増殖の可能性
- ・セイヨウオオマルハナバチの2022年以降の飼養許可基準
- ・新規就農者や有機JAS認証における課題
- ・セイヨウオオマルハナバチの駆除
- ・単為結果性トマトの普及に向けた課題
- ・エゾオオマルハナバチの普及促進対策
- ・有機農業の取組面積の拡大に向けた課題
- ・みどり戦略を踏まえた有機農業の推進

等について

**田中 英樹委員（公明）**から、

- 1 農業分野における人材確保について
  - ・近年の外国人材の受け入れ状況及び農作業への人手不足の影響
  - ・人手不足の状況に対する支援内容
  - ・多様な人材確保に向けた今後の取組
- 2 生乳の需給等について
  - ・近年の生乳生産量の推移
  - ・生産量が増加している中での直近の需給状況
  - ・バターや脱脂粉乳の在庫量と対策
  - ・全国での需給調整機能
  - ・安定生産に向けた今後の取組
- 3 配合飼料価格の高騰について
  - ・生産状況と価格の推移
  - ・価格高騰の要因
  - ・配合飼料価格安定制度の最近の発動状況
  - ・粗飼料の確保
  - ・安定確保に向けた今後の対応

等について

**宮川 潤委員（共産）**から、

- 1 農産物の輸送等について
  - ・本州への農畜産物物流割合
  - ・輸送状況及び輸送手段
  - ・各輸送方法の特徴

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、食品政策課長、農産振興課園芸担当課長、畜産振興課長、畜産振興課環境飼料担当課長及び農業経営課長から答弁があつて、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、  
**佐藤 賴洋委員（自民）**から、

1 事業者支援等について

- ・特別支援金Bに係る支援範囲の設定
- ・利用者数の想定
- ・支援単価の設定根拠
- ・幅広い事業者への上乗せ支援の拡大
- ・飲食事業者等感染防止対策支援事業と持続化補助金との違い
- ・想定する利用者数
- ・補助対象となる機器等の購入時期
- ・感染症対策計画の策定支援の考え方
- ・宿泊事業者感染防止対策等支援事業の概要
- ・助成限度額、補助率及び上限額の考え方
- ・事業規模の算定根拠と上回る場合の対応方法
- ・観光誘客促進道民割引事業の既存事業との比較と感染状況に応じた柔軟な運用の可否
- ・新しい旅のスタイル事業の予算の執行状況と事業の再開

2 ワクチンの職域接種について

- ・中小企業を含めた道内企業の動向
- ・経済関係団体感染症対策連携会議の概要と職域接種の支援方法
- ・連携会議での要望内容
- ・医療関係者の確保に係る要望に対する支援
- ・観光地における職域接種に向けた支援
- ・今後の対応

等について

**木葉 淳委員（民主）**から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策等について
  - ・飲食事業者等に対するこれまでの休業・時短営業要請日数の状況
  - ・休業要請協力金等の各種支援金の種類や支払い状況
  - ・第三者認証制度の試行実施による実証調査の導入経緯

- ・試行実施とした理由と全道展開に向けた考え方
  - ・検証後の結果の見える化に向けた対応方法
  - ・まん延防止等重点措置終了後の飲食店等利用の考え方
  - ・新しい旅のスタイルの改善点に対する認識
  - ・観光誘客促進道民割引事業の開始に係る要件
  - ・中止や中断する際の基準
  - ・関連事業との連携など今後の取組
  - ・北海道コロナ通知システムの実績と評価
  - ・分散引っ越しに係る実施状況と評価
  - ・これまでの道の取組に対する評価と今後の対応
- 2 エネルギー政策について
- ・特定放射性物質最終処分場を道内に受け入れる意思がないことの発信
- 3 労働環境の改善について
- ・中小企業における同一労働同一賃金の適用に関する周知方法
  - ・道内企業の取組状況
  - ・相談体制
  - ・今後の取組
  - ・高年齢者雇用安定法の改正に係る周知方法
  - ・道内企業の現状
  - ・相談体制
  - ・今後の取組
- 等について
- 植村 真美委員（自民）** から、
- 1 観光のくにづくり行動計画について
    - ・観光審議会における議論の内容
    - ・計画策定のスケジュール
    - ・二酸化炭素排出抑制と世界規模での新型コロナウイルス感染症が観光に及ぼす影響
    - ・見直しの視点
    - ・今後の対応
  - 2 北海道総合計画の改訂について
    - ・電力の安定供給の推進に向けた見解
    - ・脱炭素化を踏まえた原子力発電の記述の必要性に対する見解
    - ・素案から削除された海外からの観光客数の項目の復活及び目標値設定に対する見解
    - ・就業促進に向けた目標設定の考え方
    - ・健康長寿産業や医療関連産業の立地促進に係る計画への記載
    - ・北海道が抱える割高なエネルギーコストの課題克服に係る計画への記載
- 3 アフターコロナを見据えた働き方について
- ・出勤者数削減の取組結果
  - ・職場環境づくりに係る取組内容
  - ・企業と地域の連携による経済の活性化
  - ・柔軟な働き方に対する今後の取組
- 4 海外からの投資や企業の誘致について
- ・これまでの取組と政府等の支援による成果
  - ・技術開発への支援の受け止めと先端半導体などの企業誘致の取組
  - ・今後の取組
- 5 道産ワインについて
- ・現状と課題
  - ・地域の人材育成の取組
  - ・北大におけるワインの寄附講座の内容
  - ・ワイン産業の振興に係る今後の取組
- 等について
- 渕上 綾子委員（民主）** から、
- 1 新型コロナウイルス感染症対策等について
    - ・飲食事業者等感染防止対策事業に係る対象業種
    - ・消耗品への適用拡大
    - ・対象期間の遡及の検討
    - ・持続化補助金の相談件数
    - ・採択率
    - ・国への要望に対する見解
    - ・道の特別支援金Bと国の月次支援金との整合
    - ・新規開業した事業者への支援
    - ・6月21日からの支援金に係る事業者への周知
    - ・事業者への個別連絡、未申請だった場合の取扱い
    - ・感染防止対策徹底宣言利用規約における宣言書の掲示と事業者に対する配慮
    - ・電子申請ができない事業者への対応
    - ・インターネットや印刷ができない事業者へのサポート方法
    - ・支援金に係る電子申請の受付予定
    - ・市町村単位で申請することとの整合性
    - ・新規開業事業者の売上高の計算方法と対象期間の見直し
  - 2 代替肉について
    - ・道の認識とこれまでの取組
    - ・今後の取組
  - 3 企業への人権についての働きかけについて
    - ・採用時における差別問題への取組
    - ・企業等への人権問題の働きかけ

- 4 プライドパレードについて
- ・世界で行われているプライドパレードの把握状況
  - ・観光資源としての見解
  - ・企業の参画状況に対する認識
  - ・今後の国内におけるプライドパレード
- 等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部食産業振興監、経済部次長兼経済企画局長、経済部次長、食関連産業局長、観光局長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長、経済企画局国際経済担当局長兼経済企画課参事、観光局誘客担当局長、経済企画課長、経済企画課事業支援担当課長、経済企画課企画調整担当課長、経済企画課企業活動支援担当課長、国際経済課長、食産業振興課長、食産業振興課食ブランド担当課長、観光振興課長、観光振興課観光地づくり担当課長、観光振興課観光事業担当課長、中小企業課長、中小企業課調整担当課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、雇用労政課長兼働き方改革推進室長及び雇用労政課就業担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。
- 6月29日（火） 開議 午前10時1分  
閉会 午後5時2分  
第3委員会室  
第2分科委員長  
丸岩 浩二（自民）
- ① 経済部所管に対する質疑を継続し、  
**白川 祥二委員（結志）** から、
- 文献調査について
    - ・対話の場における会則案の入手方法と知事への報告内容
    - ・対話の場に係る寿都町の意向把握とその対処方法及び道が主体となる議論の場の設置
    - ・寿都町長の批判に対する受け止めと知事の姿勢
  - 幌延深地層研究計画について
    - ・日本原子力研究開発機構による一連の説明に対する受け止め
    - ・掘削延長を承認する場合における研究期間厳守の担保方法
    - ・工事費の増額状況及び多額の工事費増額を伴う掘削延長の必要性
  - エネルギー政策について
    - ・洋上風力の導入促進に向けた取組
    - ・2030年度の新エネ導入量に係る内訳と電源比率
- ・ほくでんグループ経営ビジョン2030と原子力の必要性
  - ・新エネ導入目標に占める原子力の割合
  - ・送電網の問題
- 4 労働政策について
- ・給付金付座学・職場研修事業の内容
  - ・参加条件に係る札幌市在住者除外理由と例外要件
  - ・「非正規雇用労働者等支援コース」及び「就職氷河期世代支援コース」の申込状況と周知方法
  - ・募集定員の考え方
  - ・雇用のミスマッチへの対応
  - ・市町村による就職氷河期世代等への就労支援ツールの浸透方法
  - ・テレワークの普及方法
- 5 観光振興について
- ・新しい旅のスタイル事業の実施効果
  - ・新しい旅のスタイルとどうみん割の予算事業名
  - ・宿泊施設における感染防止対策に対する評価
  - ・新しい旅のスタイルの再開
  - ・再開条件と有識者等からの意見聴取
  - ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催方法による効果の違い
  - ・今後のアドベンチャートラベルの振興
  - ・北海道観光のくにづくり行動計画の方針変更の理由
- 6 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・6月21日以降の措置に伴う飲食店及び大規模施設の執行見込額
  - ・飲食店等への入店人数制限の考え方
  - ・支援金申請に係るオンライン申請や簡易計算シートの活用
  - ・第三者認証制度の本格実施の時期
  - ・他都府県の導入状況
  - ・対象業種の考え方
- 等について
- 宮川 潤委員（共産）** から、
- 幌延深地層研究計画について
    - ・日本原子力研究開発機構による掘削延長の必要性の説明に対する見解
    - ・確認会議における機構への説明聴取と説明内容
    - ・研究期間の延長に対する認識と対応方法

- ・期間内に掘削を終わらせる担保
  - ・令和元年度に研究期間延長の必要性を認める確認を行った責任
  - ・掘削後の埋め戻しに対する認識と地層処分の技術基盤の整備完了時期に対する認識と機構への確認方法
  - ・研究の着実な終了
- 2 最低賃金について
- ・基準の考え方
  - ・生活保護基準との比較
  - ・最低賃金近傍で働く労働者の現状把握
  - ・最低賃金を据え置いた影響に対する認識
  - ・本道における最低賃金の推移と東京都との差
  - ・賃金格差による労働力の流出
  - ・全国一律最低賃金制度への転換に向けた国への提案
- 3 コロナ禍における支援策等について
- ・売上げが減少している業種
  - ・特別支援金Bにおける対象業種や支援金額の拡充
  - ・追加融資や返済猶予を断られた中小事業者への支援
  - ・企業におけるIT人材の育成体制
  - ・酒類提供に係る電子申請ができない場合の他の手続方法
  - ・青年労働者の実態とこれまでの取組
  - ・今後の支援対策

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、観光局長、地域経済局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長、観光局誘客担当局長、観光局アドベンチャートラベル担当局長、労働政策局産業人材担当局長、経済企画課長、経済企画課事業支援担当課長、経済企画課経済調査担当課長、経済企画課企画調整担当課長、経済企画課企業活動支援担当課長、観光振興課観光事業担当課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、雇用労政課長兼働き方改革推進室長及び雇用労政課就業担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

## ② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

**植村 真美委員（自民）** から、

### 1 教員の確保について

- ・直近3年間における教員採用選考検査の受検区分別の志願状況
- ・志願者が大きく減少した要因及び今後の登録への影響

- ・教員の魅力発信に向けた取組
- ・アクション・プランの成果及び第2期アクション・プランで特に期待する取組
- ・優秀な人材の確保に向けた今後の取組

### 2 いじめ問題について

- ・道内の公立学校における発生件数や解消した割合及び現状の受け止め
- ・緊急会議の概要及び今後の取組
- ・臨床心理士や弁護士を活用した取組が効果的であることについての学校への指導
- ・今後の取組

### 3 ヤングケアラーについて

- ・国の調査結果における注目すべき点及び受け止め
- ・ヤングケアラーの基準
- ・該当する子どもがいた場合の学校の対応
- ・今後の取組

### 4 学校の安全・安心について

- ・浸水想定区域や土砂災害警戒区域に立地している学校の内訳
- ・道立学校のハード面の対策
- ・避難計画の作成及び避難訓練の実施状況並びに今後の取組
- ・幼小中学校の避難計画の作成及び避難訓練の実施状況並びに今後の取組
- ・道立高校及び市町村の洋式トイレの整備率
- ・道立学校の手洗い場の自動水栓の導入計画
- ・サーチュレーター等の整備状況
- ・学校における新型コロナウイルス感染症対策の取組

等について

**木葉 淳委員（民主）** から、

### 1 教育の機会均等と質の向上について

- ・約4割の高校でオンライン学習を実施したことへの評価及び業務の縮減・精選への考え方
- ・小中学校における教員の学習用端末の整備状況
- ・今年度の教員志願状況及びこれまでの教員確保の取組並びに評価
- ・学校におけるパワハラへの対応
- ・知的障がい特別支援学校高等部のない人口10万人以上の自治体数及び設置に対する所見
- ・札幌市立夜間中学への入学希望者が居住する近郊自治体間の調整及び開校までの取組
- ・学校職員へのワクチン先行接種に対する教育

長の所見及び各自治体への要請  
等について

**佐藤 権洋委員（自民）から、**

1 教員派遣制度について

- ・公立小中学校の教員が特に身につけるべき能力
- ・制度の目的及び今年度の公立小中学校の制度活用人數並びに派遣先
- ・認識している課題及び派遣先や派遣職員のマッチング方法
- ・派遣期間終了後の主な配属先
- ・今後の進め方

2 子どもの読書活動について

- ・市町村における現状及び課題
- ・関係団体等に対する支援
- ・幼児期における読書活動の意義
- ・今後の展開

3 G I G Aスクール構想を活用した学力向上について

- ・教員間の指導力の差など I C Tの活用における課題の認識及び授業改善推進チーム活用事業の中での取組の必要性
- ・市町村におけるG I G Aスクールサポーターの役割及び市町村の人材確保に向けた情報発信
- ・校長等への働きかけ及び組織力強化会議の活用方法
- ・公立小中学校におけるチャレンジテストの活用状況及びC B T化についての見解
- ・学力向上と I C T活用の在り方

等について

**渕上 紗子委員（民主）から、**

1 多目的トイレ等について

- ・設置している学校の割合及び教室近くに設置されている学校の割合
- ・常時使用できる状態にしている学校の割合
- ・使用できない状態にしている理由
- ・使用できるように改善を求めるごとの所見
- ・昨年からの進捗状況

2 制服について

- ・L G B Tへの配慮という表現への認識
- ・制服を導入している学校数及び女子やトランス男子にスラックスを許可している学校数並びに性別にかかわらず制服が選択できる学校数

- ・許可の理由と学校数
  - ・女子用のスラックスと L G B Tへの配慮
  - ・男子及びトランス女子にスカートを認める予定の学校数及び認めている学校数
  - ・現状の差別及び早期解消に向けた認識
  - ・保護者理解に向けた所見
- 3 性的マイノリティーに関する調査・研修について
- ・働き方改革の業務削減の対象にしてはいけないとの思いに対する所見
  - ・調査依頼に関する姿勢
  - ・当事者や専門家との懇談の場の設定に対する認識
  - ・各学校の調査協力
  - ・専門家による分析に対する所見
  - ・研修教材の活用に対する所見

等について

**白川 栄二委員（結志）から、**

1 公立学校の防災対策について

- ・全国と道内の浸水想定区域や土砂災害計画区域内の立地状況
- ・避難確保計画の策定や訓練の実施状況
- ・防災上必要な校舎の改修支援などの国への働きかけに対する所見

2 教員の働き方改革などについて

- ・残業時間に対する勤務実態調査結果の受け止め
- ・公立学校における男性教職員の育休取得率
- ・取得率が低い要因及び向上に向けた対策
- ・教員志願者数の10年間の推移
- ・教員志願者の減少要因

- ・北海道アクション・プランの進捗状況や課題並びに今後の対応策
- ・国に対する働きかけ

3 オンライン学習について

- ・I C Tを活用できる教員の育成及び課題への対応
- ・通信費の負担に関する実態調査と支援

4 ヤングケアラーについて

- ・実態に対する認識や課題及び今後の対応

5 学校の防犯対策について

- ・実践的な訓練の必要性
- ・登下校時の防犯対策の現状と課題及び今後の取組
- ・安全優先と開かれた学校の理念への所見

等について

**田中 英樹委員（公明）から、**

1 健康教育の充実について

- ・子どもたちの健康課題
- ・これまでの取組
- ・がん教育の取組と成果
- ・外部講師を活用した健康教育への取組
- ・心の健康教育の取組
- ・今後の取組

2 地学協働活動の推進について

- ・北海道C L A S S プロジェクトを実施するに至った背景と事業趣旨及びモデル校の指定
- ・事業の推進体制
- ・今後の取組

等について

**真下 紀子委員（共産）から、**

1 校則の見直し等について

- ・社会問題となっている校則への課題認識
- ・現状把握の対象及び課題などを整理、分析し、学校現場にフィードバックさせる方法
- ・合理的な理由と説明
- ・制服に関する規定見直しの必要性
- ・肌着規定の必要性
- ・ツーブロック禁止規定の理由
- ・地毛証明の内容と根拠及び理由
- ・服装等の規制に対する見解
- ・他県の先進的な校則見直しの把握及び受け止め
- ・男女の交際を校則で規定することの妥当性
- ・校外活動の届出に関する規定の見直し
- ・校則改正に関する規定の必要性
- ・学校における職場環境の改善に関する認識と今後の取組
- ・人権侵害に該当する校則の改正に対する所見

2 いじめ防止対策について

- ・2019年6月に当該生徒が川に入った事案における「自殺未遂」や「当該生徒へのわいせつ行為」の判断理由
- ・いじめの疑いの判断根拠及び区切りがついたとの認識の有無並びに面談の課題や指導助言の内容
- ・実際の指導時期及び方法並びに記録の有無
- ・指導方針文書の起案決定時期
- ・指導後の報告文書の要求の有無と認識
- ・性被害を伴ういじめの対応

- ・いじめと判断した時期及び理由
- ・市教委への指導助言の状況
- ・起案文書に対応が遅いと記載した理由及び重大ないじめの認識の有無
- ・問題を認識しながら放置していたことへの認識
- ・第三者委員会による検証及び今後の対応に対する認識

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長（兼）教育職員監、学校教育監、総務政策局長（兼）幼児教育推進局長、生涯学習推進局長、学校教育局長（兼）I C T 教育推進局長、学校教育局指導担当局長（兼）学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長、教職員局長、総務課法制・公務管理担当課長、施設課長、社会教育課長（兼）生涯学習推進センター所長、幼児教育推進センター長、高校教育課長（兼）I C T 教育推進課長、義務教育課長（兼）I C T 教育推進課 I C T 教育推進担当課長（義務教育）、特別支援教育課長（兼）I C T 教育推進担当課長（特別支援教育）、教職員育成課長、健康・体育課長、生徒指導・学校安全課長、教職員課長及び教職員課働き方改革担当課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

---

## 予算特別委員会

○ 6月30日（水） 開議 午前10時1分

散会 午後4時31分

第1委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 議事進行の都合により休憩に入り、再開後、総括質疑については7月1日（木）に行うことになった。

○ 7月1日（木） 開議 午後2時17分

閉会 午後6時41分

第1委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、

**三好 雅委員（自民）**から、

1 北海道総合計画の改訂について

- ・北海道総合計画を将来の北海道の目指すべき姿と進むべき道筋を示すものとするために指標設定全般を再検討すべきとの考え方に対する見解
  - ・北海道以外の他地域との競争を意識した指標設定を行う必要性に対する見解
  - ・指標設定の考え方を丁寧に情報発信すべきとの考え方に対する見解
- 2 ゼロカーボン北海道の実現について
- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けて、5年間を集中期間とするロードマップを踏まえた取組
- 3 幾春別川総合開発事業について
- ・事業の計画変更に同意するに当たり、具体的な提案を事業者である北海道開発局に直接伝え、取組の着実な実施を求める必要性に対する見解
- 4 ヤングケアラー等への支援について
- ・様々な形があるケアラーの課題を早急に整理し、計画的に対応を進めていくための取組及びケアラー問題への道民理解を促進するための取組
- 5 東京オリンピックについて
- ・規制の難しいマラソンなどの路上競技における観客の安全、安心の確保及び本道の魅力発信に向けた取組
  - ・大会期間中に多くの方々が海外から来道されることに対する道民の不安を解消するための取組
- 6 北海道Society5.0推進計画について
- ・北海道が目指すSociety5.0の実現に向けた取組
- 7 大学との連携について
- ・道内外の大学の知見や高度な人材の集積を北海道の活性化に幅広く生かしていくべきとの考え方に対する認識及び今後の取組
- 8 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・診療所などにおけるワクチンの個別接種の拡充に向けた取組
  - ・ワクチンの職域接種の申請受付が休止という状況の中、取組をスタートさせた企業などに着実にワクチンを供給するための対応及び地域の活性化に向けた職域接種や大学拠点接種の取組に対する支援
  - ・ワクチンの集団接種会場の役割に対する認識
- 及び今後の対応
- ・ワクチンの供給見通しに対する現在の状況
  - ・ワクチン接種の取組にとどまらず、市町村が取組を計画的、効率的に進めるための今後の取組
- 9 まん延防止等重点措置について
- ・まん延防止等重点措置の実効性を確保するための取組
- 10 事業者支援等について
- ・観光誘客促進道民割引事業のうちの「新しい旅のスタイル」について、まん延防止等重点措置が取られている中で道内全てが停止条件に該当するのか否か及び一部でも解除する余地の有無
  - ・まん延防止等重点措置が解除され、観光誘客促進道民割引事業を再開するために整わなければならない条件
  - ・これまでの休業や営業自粛要請等の影響で、経営が極めて厳しい状況に置かれている道内事業者に対する支援の充実に向けた取組
- 11 新型コロナウイルス感染症対策の検証について
- ・感染状況や医療提供体制の現状把握に用いた情報が充分なものだったのか及び感染状況や医療提供体制が適切に分析できたか検証すべきとの考え方に対する見解
  - ・道の対応が感染状況や医療提供体制に与えた影響を他県の対応と比較して検証する必要性に対する見解
  - ・検証の進め方及び検証結果を踏まえた今後のコロナ対策
- 等について
- 中川 浩利委員（民主）**から、
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・時短営業や酒類提供の時間短縮などの要請に応じない店舗に対して、特措法に基づく命令を出す方向で調整をするに至った経緯及び今後の対応
  - ・6月1日以降、時短営業や酒類提供の時間短縮などの要請に従わなかった店舗が増加したのは、店舗に対するそれまでの対応の甘さが要因との考え方に対する見解
  - ・要請に従わず、かつ悪質性のある店舗名は公表するなども含めた効果的な取組の推進に係る所見

- ・64歳以下の方々に対するワクチンの接種順の考え方を早急に示すべきとの考えに係る所見
- ・知事及びコロナ禍への対策を行う道職員に対するワクチンの早期接種に係る所見
- ・職域接種の早期再開を国に求め、道直営の集団接種会場の期間延長や規模拡大などにより市町村負担を軽減し、ワクチン接種の円滑化を図るべきとの考えに係る所見
- ・感染症対策における検証結果を今後の対策に反映させるべく、夏のハイシーズンに間に合わせるよう速やかに追加検証に着手し、骨子などでも道民に示すべきとの考えに係る所見
- ・感染症対策における追加検証について、感染対策に関するだけの狭い範囲にとどまらず、スタンプラリーのような活性化策など、コロナ禍で実施した人流を伴う事業を幅広く実施すべきとの考えに係る所見
- ・飲食店に対する対応の遅れや不十分さに対する認識
- ・飲食店に対する第三者認証制度の導入を可能な限り早急に、全道域を対象として実施すべきとの考えに係る所見
- ・第三者認証制度の導入に当たっては、北海道コロナ通知システムを大幅に見直し、感染対策強化と保健所の負担軽減を図るべきとの考えに係る所見
- ・観光誘客促進道民割引事業と国の取組との整合性及び事業の開始時期に係る所見
- ・変異株のデルタ株が本道に上陸したことを踏まえ、観光誘客促進道民割引事業の実施に当たっては国の要綱よりも厳しく対応する必要があるとの考えに係る所見
- ・「新しい旅のスタイル」事業の再開に係る所見
- ・飲食事業者等感染防止対策支援事業費について、「新北海道スタイル」をお願いした事業者に令和2年5月25日まで遡って支給すべきとの考えに係る所見
- ・道特別支援金について、国の月次支援金の対象とならなかった事業者の支援という目的を踏まえ、一時金ではなく毎月とすべきとの考えに係る所見
- ・6月21日から開始した支援金については、市町村との連携や周知の不足による混乱、制度設計による不公平が生じたことから、検証結果を今後の支援金の支給に反映すべきとの

考えに係る所見

## 2 人権施策について

- ・人権施策の推進に係る所見
- ・東京オリンピック・パラリンピックが開催されるこの機会に、道の人権施策に対する取組を全世界にアピールすることについて、関係団体などと協議し、早急に取り組む必要があるとの考えに係る所見

## 3 ゼロカーボン北海道について

- ・ゼロカーボン北海道の推進について、2050年のCO<sub>2</sub>実質ゼロという大きな目標の達成に向けた施策の展開、スケジュール及び決意
- ・関係機関との連携について、専門的知見を有する方などを含め、産官学で定期的な懇談や意見交換ができる連絡会議的な場の設置が必要との考えに係る所見

## 4 ケアラーへの支援について

- ・先進事例を踏まえながら実効性のある対策を講じていくための取組

## 5 オリンピックにおける感染防止対策について

- ・大会運営を支えるスタッフへのワクチン接種など、感染防止に向けた取組
- ・関係者や道民の方々の不安解消に向けて、必要な対策については繰り返し大会組織委員会に申し入れる等の行動をすべきとの考えに対する見解

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

## 1 新型コロナウイルス感染症について

- ・多くの道民、事業者に長期にわたり多大な負担を強いている状況に対する受け止め及び対策の評価
- ・まん延防止等重点措置期間である7月11日までの対策の実効性を確保するため、解除後の対策に関する考え方を明らかにすべきとの考えに係る所見
- ・道の集団接種会場について、8月以降の運営に当たっては、全道的な視点に立ち、札幌市あるいは道央圏以外に設置することもあり得るのか否かに係る所見
- ・時短に対する協力金をはじめ、宿泊事業者などへの幅広い支援に対する認識
- ・事業者支援の考え方について、多くの業種・業態に対して統一的な考え方の下に支援を講じてきたのか、あるいは事業形態などに応じた

- 支援を講じてきたのかに係る所見及び今後の対応
- ・ホテルなどへの第三者認証制度の導入について障害はないとの考えに対する見解
- 2 観光振興について
- ・モデル事業である「新しい旅のスタイル」について、感染状況の予見可能性を高める上で、再開条件を明確に示す必要があるとの考えに係る所見
- 3 ゼロカーボン北海道について
- ・ゼロカーボン北海道を強力に推し進めるための取組及び北海道地球温暖化防止対策条例の見直しに対する取組
- 4 エネルギー政策について
- ・洋上風力の促進区域の指定を目指している室蘭港などの指定可能性に対する見込み
- 5 文献調査について
- ・NUMO主導の対話の場が期待にかなう場となっているのかということに対する認識
- 6 幌延深地層研究計画について
- ・幌延深地層研究計画の掘削延長の必要性に対する見解
- 7 福島県汚染廃棄物対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理について
- ・安全性の担保をしっかりと求め、受入を前提としていない姿勢である室蘭市と同様の対応が必要との考えに対する見解
  - ・高濃度PCB廃棄物の搬入についても時期を固定せず、安全性の確認、市民理解最優先で対応すべきとの考えに係る見解
- 8 オリンピック・パラリンピックについて
- ・安心、安全な大会運営に向けた感染防止対策の考え方及び道民理解を得るための取組
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた新千歳空港の水際対策の徹底に対する取組
- 9 ケアラー対策について
- ・実効性のあるケアラーサポート条例の制定や支援計画策定の取組など、早急なケアラーサポート体制の構築に係る所見
- 等について

- 阿知良 寛美委員（公明）から、**
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・今後の感染拡大の見通しに係る所見
  - ・高齢者に対する7月末までのワクチン接種終了に向けた取組
- ・ワクチンの打ち手である医療従事者の不足解消に向けた医療従事者確保に係る所見
- ・一般接種の加速化に向けて、道独自の集団接種会場の設置を拡大するべきとの考えに係る所見
- ・3次医療圏ごとに新型コロナウイルス感染症の入院患者数を公表すべきとの考えに係る所見
- ・これまでの経験を生かし、ワクチン接種の加速化など、なお一層徹底した感染症対策を講ずるべきとの考えに係る所見
- 等について

**宮川 潤委員（共産）から、**

- 1 幾春別川総合開発事業等について
- ・「総事業費の増額を一切行わないこと。」に変更した知事意見の「一切」の意味及び特定の条件の下で増額を認めるという趣旨ではないことに係る所見
  - ・特定多目的ダム法において、国が知事意見を一貫して採用せず、継続的に軽んじていることは法の精神に抵触するという考えに対する見解
  - ・事業費が大きく膨張したことに係る所見
  - ・3回の事業計画の変更で2倍を超える事業費になったことに対して、ここで歯止めをかけることの必要性及び国に強く意見を述べることの必要性に係る所見
- 2 幌延深地層研究計画について
- ・掘削延長があったとしても研究期間の延長はないと受け止めた判断根拠
  - ・研究期間順守を日本原子力研究開発機構に常に求め続けるべきだったとの考えに係る所見
  - ・日本原子力研究開発機構に研究終了までのコードマップを提示するよう求めるべきとの考えに係る所見
  - ・日本原子力研究開発機構が埋め戻し工程を示さないことに係る所見及び2019年度までに示すとしていた埋め戻しに関する工程の先送りを承認したか否か
  - ・さらなる研究期間の延長は認めないことを日本原子力研究開発機構に示す必要性に係る所見
- 3 道営住宅について
- ・同性パートナーの入居の問題における今後の検討課題及び取組

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、  
総括質疑を終結。

- ② 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことにして決定。
- ③ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第3号及び第4号については、意見の一致をみるに至らなかつた旨の報告の後、議案第3号及び第4号を問題とし、宮川潤委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することにして決定。  
次に、議案第2号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ④ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することにして決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

**資 料**

**第2回定例会において議決を経た条例の公布調**

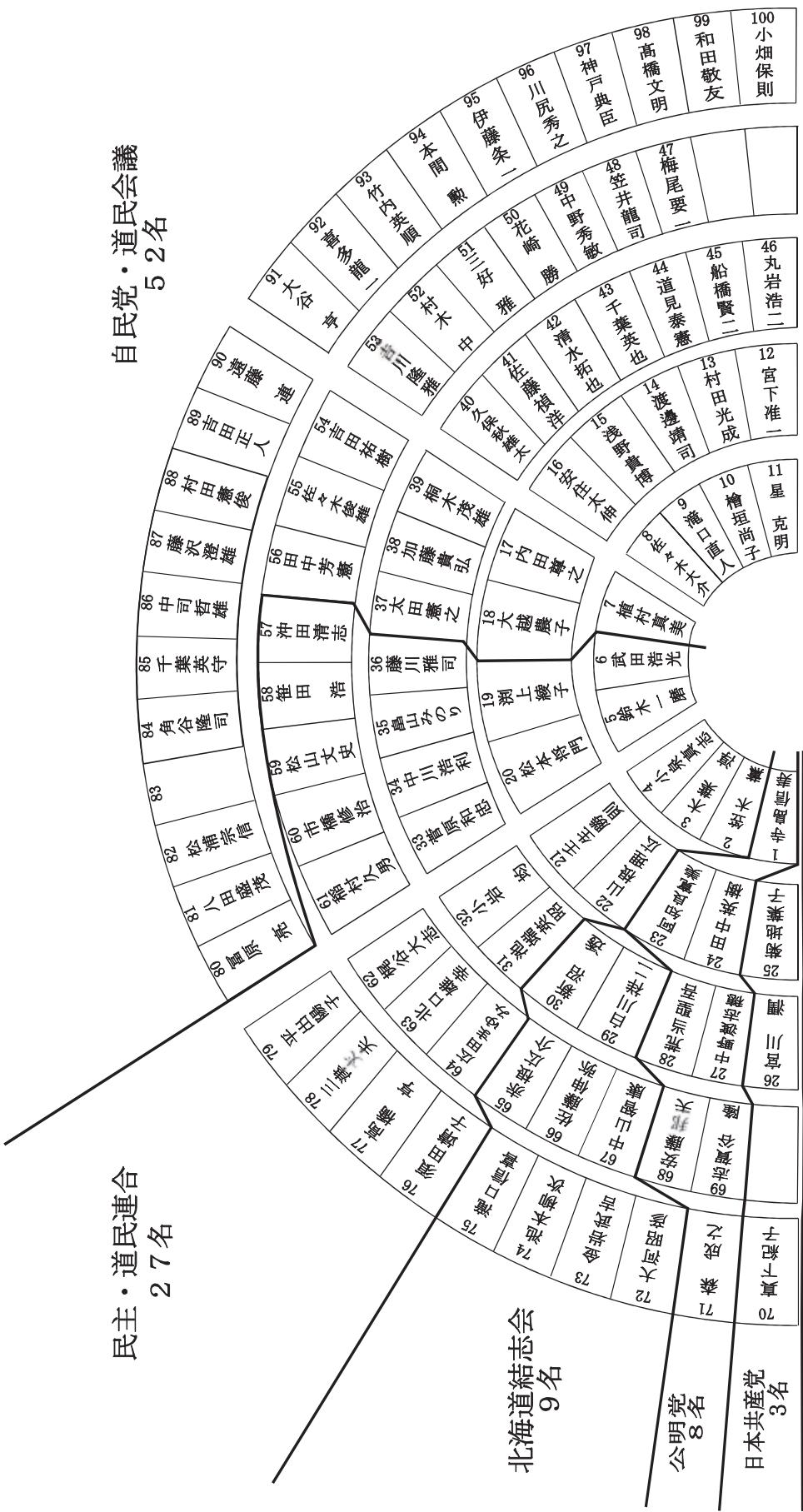
件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第22号
北海道税条例等の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第23号
特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第24号
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第25号
北海道保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第26号
北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第27号
北海道住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第28号
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第29号
北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第30号
北海道営住宅条例の一部を改正する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第31号
国立研究開発法人森林研究・整備機構営特定中山間保全整備事業等負担金等徴収条例を廃止する条例	R3. 7. 2	R3. 7. 14	北海道条例第32号

北海道議會議席表

令和3年6月

民主・道民連合  
27名

自民党・道民会議  
52名



## 4月の出来事

- 1日 ○道が新型コロナウイルス感染対策を徹底した「新しい旅のスタイル」の地域内旅行に助成するモデル事業の販売が、札幌市を除く登録宿泊施設で順次始まる。昨年7月の「どうみん割」販売時は即日完売する事業者が相次ぎ、予約できない利用者が多く出たため、道は完売した事業者に速やかに追加配分を検討するなど対応を強化する。
- 1日 ○JR日高線鵡川—様似間(116キロ)が廃止され、代替交通となる転換バス「日高地域広域公共バス」が運行を始めた。日高管内7町長は、新ひだか町の静内バスターミナルで、記念セレモニーを行い地域の足の永続を誓った。
- 2日 ○台湾東部・花蓮県の鉄道で、特急列車の一部が脱線した。列車はトンネル内の壁に衝突した。台湾の警察当局は心肺停止は36人となり、60人以上が重軽傷を負ったと明らかにした。台湾では、2日は死者を供養する祭日「清明節」の4連休の初日。関係する駅では事故の影響を受けた帰省客らで混乱となった。
- 5日 ○宮城、大阪、兵庫の3府県で新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」の適用が始まった。各府県は5月5日まで、感染が急拡大する仙台、大阪、神戸など6市の全飲食店に午後8時までの時短営業を要請、利用者にも「マスク会食」の徹底を求める。実施状況を確認するため、店舗の見回り調査も強化。地域や業種を絞った対策で感染の抑え込みを図る。
- 6日 ○室蘭工業大と大阪府立大が共同開発した超小型人工衛星「ひろがり」。最大ミッションだった、宇宙空間でのプラスチック板の展開が4日に成功したことを受け、関係者から喜びの声が上がった。室工大的教授や学生らの取り組みの成果は、宇宙太陽光発電に一步近づいただけでなく、地方の単科大でも航空宇宙分野で確かな存在感を示せることを証明した。
- 6日 ○日本原子力研究開発機構は、高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の地層処分技術を研究している幌延深地層研究センター(宗谷管内幌延町)の坑道施設について、現在より150メートル深い地下500メートルまで掘り進めることを、道と幌延町にそれぞれ伝えた。2025年末までに掘削と坑道の整備を行い、2028年度までとしている研究期間内に研究を終える見通しも示した。道と同町は機構の研究内容を点検する確認会議で協議し、実施を認めるかどうかを早期に判断する方針。
- 12日 ○新型コロナワクチンの65歳以上の高齢者への接種が全国の一部自治体で始まった。医療従事者を除く一般住民への接種は初めてで、道内では江別市の高齢者施設の入所者計120人が接種を受けた。
- 16日 ○スキージャンプ女子の高梨沙羅(クラレ)が持つワールドカップ(W杯)の表彰台通算109度の記録が、ギネス世界記録に認定された。2020—2021シーズンの表彰台は9度。3月26日の個人第12戦(ロシア)で2位に入り、男子のヤンネ・アホネン(フィンランド)の記録を更新し、男女を通じて歴代単独最多となった。
- 17日 ○菅義偉首相は16日午後(日本時間17日午前)、バイデン米大統領とホワイトハウスで初の対面での首脳会談を行い、会談後に共同声明を発表した。声明では、中国が軍事的圧力を強める台湾海峡について「平和と安定の重要性を強調し、両岸問題の平和的解決を促す」と明記し、約半世紀ぶりに「台湾」に言及。香港や新疆ウイグル自治区の人権問題では「深刻な懸念」を共有し、経済分野でも対中国を念頭に置いた連携を確認した。
- 30日 ○JR北海道が発表した2021年3月期連結決算は、本業のもうけを示す営業損益が805億9,400万円の赤字となった。赤字額は2020年3月期(426億4,100万円)を大幅に上回って7期連続で過去最大を更新した。

## 5月の出来事

- 2日 ○宇宙航空研究開発機構（JAXA）の野口聰一飛行士（56）は1日（日本時間2日）、約半年滞在した国際宇宙ステーションを米宇宙船クルードラゴン1号機で発し、2日午前3時ごろ（同午後4時ごろ）米南部フロリダ州沖のメキシコ湾に着水、地球に帰還した。クルードラゴンは民間初の有人宇宙船で、日本人としては野口さんが初めて搭乗した。
- 4日 ○先進7カ国（G7）外相会合が3日夜（日本時間4日未明）、ロンドンで始まった。初日は夕食会を兼ねて北朝鮮やイラン情勢を議論。茂木敏充外相は出席後、北朝鮮の核問題解決を目指し、国連安全保障理事会決議の完全な履行が必要との認識で一致したことを見た。5日までの会合では、バイデン米政権が「専制主義」と見なす中国やロシアに民主主義陣営が結束して対抗姿勢を示せるかどうかが焦点となる。
- 5日 ○東京五輪マラソンのテスト大会「北海道・札幌マラソンフェスティバル2021」が札幌市中心部の五輪コースで行われ、新型コロナウイルスの感染対策をはじめ警備や交通規制などについて、8月の本番に向けた運営の課題を検証し、五輪代表選手がコースを試走した。テスト大会では札幌チャレンジハーフマラソン2021と札幌チャレンジ10K 2021（10キロ）の2レースを実施。最長約6時間の交通規制や、海外選手の隔離策などを確認した。
- 9日 ○政府は新型コロナウイルスの感染者急増を受け、北海道と岐阜県、三重県に「まん延防止等重点措置」を適用した。期間は31日までの23日間。緊急事態宣言に準じた対策が市町村単位など範囲を絞って可能になり、北海道の対象は札幌市全域。感染状況が改善しなければ、北海道では昨年4～5月以来となる緊急事態宣言発令が視野に入り、対策の実効性が焦点になる。

- 10日 ○国内で新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け接種が本格化し、道内の医療機関や集団接種会場にも多くの高齢者が足を運んでいる。海外では既に感染者数の大幅減を達成した例もあり、政府は7月末までに対象3,600万人への実施を終えるとの目標を掲げるが、注射を担う医師ら医療人材の確保は不十分なまま。電話やインターネットによる予約手続きは各地で混乱が続き、医療関係者からは「目標達成は困難だ」との声が出始めている。
- 16日 ○新型コロナウイルスの感染拡大が続く北海道、岡山、広島の3道県で緊急事態宣言期間が始まった。各自治体では酒類を提供する飲食店に休業を要請。大型商業施設の営業時間短縮や土日の休業などを求めている。31日まで。宣言の対象は東京、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡を合わせて9都道府県となった。
- 18日 ○内閣府が発表した2021年1～3月期の国内総生産（GDP、季節調整値）速報値は、物価変動を除く実質で前期比1.3%減、このペースが1年間続くと仮定した年率換算は5.1%減となった。マイナス成長は昨年4～6月期以来3四半期ぶり。同時に発表した2020年度の実質GDPは前年度比4.6%減だった。マイナスは2年連続。
- 26日 ○文化庁は、政府が世界文化遺産に推薦する「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）が世界遺産への登録を勧告したと発表した。7月に開かれるユネスコ世界遺産委員会で正式決定される見通し。
- 26日 ○紋別港の北東約23キロの海上で紋別漁協所属の毛ガニ漁船「第8北幸丸（ほっこりまる）」9.7トン、吉岡照由（てるよし）船長（63）ら5人乗り組みとロシア・サハリン州籍の船舶「アムール」662トン、23人乗り組みが衝突し、漁船の乗組員3人が死亡した海難事故で、操業中だった漁船の側面にロシア船が衝突し、転覆させた可能性があることが分かった。同海保は業務上過失致死容疑などを視野に両船の関係者への聴取などを本格的に行う方針。

## 6月の出来事

- 1日 ○道は2020年国勢調査の速報値を発表した。昨年10月1日現在の道内総人口は522万8,885人で、2015年の前回調査の確定値より15万2,848人(2.8%)減った。減少数、減少率ともに1920年(大正9年)の調査開始以来、最大となった。札幌市の人囗は197万5,065人で全道に占める割合は37.8%と前回より1.5ポイント拡大した。札幌周辺と一部リゾート地などで人口が増える一方、残る多くの地域で減少が続いている。
- 3日 ○父親が育児のために休みを取得しやすくなる改正育児・介護休業法などが成立した。子どもが生まれて8週間以内に夫が計4週分の休みを取れる「出生時育児休業(男性版産休)」を新設。来年4月からは企業に対し、従業員が休みを取る意向があるかどうかを確認するよう義務付ける。夫婦が協力して家事や育児を担い、安心して子育てできる環境の整備を後押しし、少子化に歯止めをかける狙いがある。
- 5日 ○日米欧の先進7カ国(G7)の財務相会合は、最終日の討議を終えて共同声明を採択し閉幕した。国際課税の強化で各国共通の最低法人税率を少なくとも15%とすることで合意。巨大IT企業などの税逃れを防ぐ「デジタル課税」の導入でも一致した。地球温暖化など気候変動の経営への影響を開示するよう主要企業に求める。
- 6日 ○日本テレビの情報番組がアイヌ民族への差別表現を放送した問題を巡り、小杉善信社長が北海道アイヌ協会の会合で直接謝罪したことを受け、アイヌ民族の出席者らは「今後は差別問題の解消に向けた番組づくりに取り組んでほしい」と期待した。道アイヌ協会の中村吉雄副理事長(71)は「国民全体がアイヌ民族への正しい理解を持たなければ、差別表現はまたどこかで繰り返される。謝罪で今回の問題は水に流し、共に差別解消に向けた発信などに取り組んでいきたい」と話した。
- 6日 ○女子ゴルフの笹生(さそう)優花が、サンフランシスコのオリンピック・クラブで行われた全米女子オープン選手権で畠岡奈紗とのプレーを制して優勝した。女子最高峰の大会で、主催する米国ゴルフ協会によると日付まで同じ史上最多年少タイの19歳11カ月17日。第76回を数える舞台の歴史に、日本勢として初めて名を刻んだ。
- 14日 ○東京五輪の聖火リレーに代わる点火セレモニーが、胆振管内白老町のアイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間(ウポポイ)」と、札幌市中央区の北3条広場(アカプラ)で無観客で開かれた。ランナーの代表各1人が、青森県からリレーされた聖火をステージ上の聖火皿にともした。
- 21日 ○政府は新型コロナウイルス対策で10都道府県に発令していた緊急事態宣言を沖縄を除いて解除し、このうち北海道など7都道府県をまん延防止等重点措置に移行させた。道は重点措置の対象地域を札幌市とし、飲食店での酒類提供を感染対策実施を条件に午後7時まで認める。札幌を除く石狩管内、旭川市、小樽市の9市町村では、道独自の対策として飲食店での酒類提供を午後8時までとする。
- 23日 ○関西電力は運転開始から40年を超えた美浜原発3号機(福井県美浜町)の原子炉を起動し、再稼働させた。運転期間を「原則40年、最長で延長20年」とする現行ルール下で全国初。原発に義務付けられたテロ対策施設が未完成で設置期限前の10月23日に停止する予定のため、4カ月間の短期運転となる。
- 24日 ○米マイクロソフト(MS)は新しい基本ソフト(OS)「Windows11」を発表した。約6年ぶりの抜本的な刷新となる。スマートフォン用OSアンドロイド向けアプリが利用可能になるほか、ビデオ会議機能を強化して在宅勤務を支援する。
- 25日 ○総務省は国勢調査の速報値を発表した。2020年10月1日時点の外国人を含む日本の総人口は1億2,622万6,568人で、2015年の前回調査から約86万8千人減った。

## 7月の出来事

3日 ○梅雨前線の影響で東海や関東を中心に非常に激しい雨が降り、静岡県熱海市伊豆山で大規模な土石流が発生した。県や県警によると、家屋10棟以上が流され、約20人が安否不明。女性2人が心肺停止状態で見つかり、死亡が確認された。100～300世帯が被災したとみられ、約260人が避難した。

3日 ○十勝管内大樹町のベンチャー企業インダーステラテクノロジズ（IST、稻川貴大社長）が打ち上げた宇宙観測用小型ロケット「MOMO（モモ）」7号機は、2019年の3号機の宇宙空間到達後に相次いだ後続機の不具合を踏まえ、設計から製造までを全面的に見直した「改良版モモ」として初の打ち上げだった。

6日 ○東京五輪・パラリンピック組織委員会と道、札幌市などは、同市内で実務者会議を開き、8月5～8日に札幌市内で行われるマラソン・競歩について、人出の抑制による新型コロナウイルス感染リスクの低減が必要であることを確認し、沿道での観戦自粛を呼びかけることを決めた。

9日 ○12日で開業1年となる国のアイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間（ウポポイ）」（胆振管内白老町）を運営するアイヌ民族文化財団（札幌）は、来場者数が7日時点で25万5,100人になったと発表した。新型コロナウイルスの影響で一時休業や入場制限を行ったため、政府の来場者目標「年間100万人」の4分の1にとどまった。

9日 ○東京五輪・パラリンピック組織委員会は、五輪サッカー男女1次リーグの道内会場となる札幌ドームについて、全10試合を無観客とすると発表した。組織委は同日夕、「定員の50%以内で最大1万人」の上限で観客を入れるといったん発表していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大への懸念から、これまででも無観客を主張していた鈴木直道知事がその後、組織委に申し入れ、急転直下で「無観客開催」が決まった。

12日 ○政府が北海道に適用した新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が11日で解除された。重点措置の対象地域とされた札幌市内では12日、公立施設の多くが市民の利用を再開した。ただ、道は独自対策として市内の飲食店に対する時短要請を25日まで続け、全道的にも人の動きが活発になる夏休みを見据え、8月22日まで首都圏や札幌などとの不要不急の往来自粛を呼び掛ける。

13日 ○米大リーグのオールスター戦が、コロラド州デンバーのクアーズ・フィールドで開催され、エンゼルスの大谷翔平（27）がア・リーグの先発投手と「1番・指名打者（DH）」で史上初の投打の「二刀流」による先発出場を果たし、1回を無安打無失点で勝利投手になった。

23日 ○新型コロナウイルスの感染拡大で史上初めて1年延期された東京五輪は23日夜、主会場の国立競技場（東京都新宿区）で無観客の開会式を行い、8月8日まで17日間の幕を開けた。東京での五輪開催は1964年大会以来、57年ぶり2度目。緊急事態宣言下の東京、北海道を含む6都道県で競技が無観客となる異例づくめの大会が始まった。

24日 ○ロシアのプーチン大統領がミシュスチン首相にクリール諸島（北方領土と千島列島）視察を指示したことを受け、北方四島を事実上管轄するサハリン州政府関係者は、同氏が26～27日に同州を訪れ「抝捉島に入る予定だ」と明らかにした。プーチン氏は協議が滞る四島での日ロ共同経済活動に関して視察後に提案をまとめよう命じている。

27日 ○国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道、青森、岩手、秋田）を世界文化遺産に登録した。人類史上まれな農耕前の定住生活と、複雑な精神文化が1万年以上続いた縄文の独自性を高く評価した。道内の世界遺産は2005年に自然遺産に登録された知床に次ぎ2件目で、文化遺産は初めて。

# その先の、道へ。北海道

北海道議会時報  
第73巻 第2号

編集 北海道議会事務局政策調査課  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西6丁目  
TEL 011-204-5691  
E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp  
発行 令和3年（2021年）10月6日